

看護学専攻専門科目教育要項

Nursing Science, Syllabus of the Special Subjects

平成 2 6 年度

2014-2015 Prospectus

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University

保健衛生学科の教育理念

本学科は豊かな教養と高い倫理観に裏付けられた医療人としての感性を有し、自ら学び研究し、創意工夫することができる人間の形成を目指す。その視点に立ち看護学、検査技術学の2つの領域において、それぞれの専門的領域の知識、技術を教授することにとどまらず、学際的視野に立ち自ら問題を提起し、これを解決する能力を備えた医療人を養成する。

看護学専攻の教育目的

人々の健康状態を生活や環境との関係で的確に判断し、人々の主体性や価値観を尊重する質の高い看護実務者を養成する。併せて将来の研究者、教育者および指導者につながる知識・技術・態度を養う。

看護学専攻の教育目標

- 1 人々の健康・生活・環境を相互に関連づけて、人々の主体性・価値観を尊重し、全人的な生活者として理解し、健康に関わる生活援助の知識と技術を修得する。
- 2 看護の対象となる個人および集団の健康段階に応じた看護上の問題を発見し、解決するための問題解決思考能力を修得する。
- 3 保健・医療・福祉に関連する他の職種とチームを組み、看護職の専門的役割を有効に発揮できる基礎的能力を修得する。
- 4 自己の知識や技術の向上を目指す研究的姿勢および倫理観に基づく行動を身につけ、看護実践に諸科学の知識と技術を応用できる能力を修得する。

注)

本教育要項の授業計画は、今年度当初予定で立案されているものであり、今後の授業進行等で変更となる可能性があります。

最新の情報については、本学教育支援システム（DreamCampus 教務システム）内のシラバス情報、もしくは教員からの連絡によりご確認ください。

看護学専攻のカリキュラムの特色

保健衛生学科看護学専攻のカリキュラムは、保健衛生学科の教育理念、看護学専攻の教育目的、教育目標に沿って編成されており、以下の点を特色としている。

1) 第1学年では、豊かな教養と学際的な視野に立ち、自らの関心に沿って自己学習できる能力を身に付けるための基盤づくりに重点を置いている。したがって、教養部の教養科目と並行して、専門基礎分野の解剖学、看護学専門科目の基礎看護学Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ、看護心理学、看護の統合と実践Ⅰを開講し、看護学を学ぶ基盤づくりを行う。

2) 第2学年では、看護学の学習に関連の深い専門基礎科目として、人の形態・構造や機能を理解するとともに、看護の科学的根拠となる学際的な知識を学ぶ。専門基礎科目は、専門基礎分野と専門共通分野の科目によって構成する。専門基礎分野では、解剖学、生理学、生化学、薬理学Ⅰ・Ⅱ、病理学、微生物学、栄養学、病態学を開講する。また、専門基礎合同演習は、これらの科目について学ぶ上で基礎となる幅広い知識や技術の習得を目的とする科目であり、本学科の特徴を生かした実技中心の体験学習科目である。この他に、専門基礎分野では、第3学年に開講する必修科目の疫学と、第2、3学年必修、第4学年選択の英文購読Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ならびに専門共通分野に第4学年必須科目の国際保健看護学、第2、3学年に実践看護英語、国際保健福祉を選択科目に置くことで、語学力の向上のみならず広い視野から国際的に活躍できる人材の育成に力を注いでいる。また、専門共通分野では第2学年で必須科目の医療情報学、第2、3、4学年で保健福祉に関連する科目を開講する。

3) 看護学の専門科目は、すべて専門分野ごとに開講する。基礎看護学分野は第1学年から第2学年に基礎看護学科目を開講し、看護学に共通する基盤づくりを行う。第2学年から第3学年にかけては、成人看護学分野、精神看護学分野、小児看護学分野、在宅看護学分野で、より分野の専門に特化した講義、演習を行う。そして、母性看護学分野、および老年看護学分野の講義・演習は第3学年に集中的に開講する。それぞれの科目では、看護に必要な知識、技術、態度を涵養するとともに、自ら問題を提起し、解決する能力を備えた医療人養成を目指し、DVD等の視聴覚教材、グループワーク、討論、演習、e-learning等を効果的に活用する。また、看護を取り巻く社会システムを含む統合的な視点から看護を捉えられるよう、地域看護学を第3学年から、看護の統合と実践Ⅱを第4学年で開講している。

4) 保健師資格取得に必要な単位は、主に第2学年から第4学年に、地域保健看護学の講義・演習と、専門共通分野の保健統計学、産業保健学、保健医療福祉制度論、健康教育学演習を開講する。

5) 臨地実習は学習の段階に応じて、すべての学年で行う。第1学年は体験型実習の基礎看護学実習Ⅰ、第2学年は基礎看護学実習Ⅱを行う。また、第3学年では、成人看護学実習、精神看護学実習、小児看護学実習、母性看護学実習、老年看護学実習、在宅看護学実習を行ない、分野別に専門性の高い実践能力を養う。臨地実習では、看護職に求められる看護実践能力の習得にとって欠かせない看護技術項目チェックリストを活用し、学生自ら学習機会を創り、実践能力の向上に向けて努力する積極性が求められる。さらに、第4学年では、地域保健看護学実習と実践に即した修得を目指して、専門領域を越えた他学科・専攻との合同演習等を取り入れている。

6) 第3学年に開講する卒業論文Ⅰでは、具体的な研究方法論について学ぶ。続く第4学年の卒業論文Ⅱでは、看護学の学習を通して関心をもった領域やテーマについて、専門分野の教員から少人数制による指導を受けながら、卒業論文を作成し、発表する。この科目では、自己の知識や技術の向上を目指す研究的姿勢を身につけ、論理的思考とリテラシーの能力ならびに、それを表現する能力を自ら修得することを目指している。

目 次

平成26年度看護学専攻授業計画表	1
------------------	---

【第1学年】

平成26年度専門科目時間割（看護学専攻：第1学年）	3
解剖学Ⅰ	9
基礎看護学Ⅰ	10
基礎看護学実習Ⅰ	11
看護心理学	12
看護の統合と実践Ⅰ	14

【第2学年】

平成26年度時間割（看護学専攻：第2学年）	17
解剖学Ⅱ	23
生理学	24
生化学	26
薬理学Ⅰ	28
薬理学Ⅱ	29
病理学	30
微生物学	31
栄養学	32
病態学	34
英文講読Ⅰ	37
実践看護英語	38
専門基礎合同演習	39
医療情報学	40
保健医療福祉制度論	42
国際保健福祉	45
基礎看護学Ⅱ	46
基礎看護学Ⅲ	48
基礎看護学演習Ⅰ	49
基礎看護学演習Ⅱ	53
基礎看護学実習Ⅱ	55
成人看護学Ⅰ	57
成人看護学Ⅱ	59
精神看護学	60
小児看護学Ⅰ	62
小児看護学演習Ⅰ	63

在宅看護学Ⅰ	64
--------	----

【第3学年】

平成26年度時間割（看護学専攻：第3学年）	65
疫学	71
英文講読Ⅱ	72
実践看護英語（再掲）	73
卒業論文Ⅰ	74
国際保健福祉（再掲）	76
成人看護学Ⅲ	77
成人看護学演習	79
成人看護学実習	81
地域精神看護学	86
精神看護学演習	88
精神看護学実習	90
小児看護学Ⅱ	93
小児看護学演習Ⅱ	94
小児看護学実習	96
母性看護学Ⅰ	99
母性看護学Ⅱ	101
母性看護学Ⅲ	103
母性看護学演習	105
母性看護学実習	107
老年看護学	111
老年看護学演習	113
リハビリテーション看護学	114
老年看護学実習	116
地域保健看護学Ⅰ	120
地域保健看護学Ⅱ	122
在宅看護学Ⅱ	123
在宅看護学演習	124
在宅看護学実習	125

【第4学年】

平成26年度時間割（看護学専攻：第4学年）	129
英文講読Ⅲ	135
保健統計学	136
国際保健看護学	137
産業保健学	138
保健医療福祉制度論演習	140

卒 業 論 文 Ⅱ	142
国 際 保 健 福 祉（再掲）	145
地 域 看 護 学 Ⅲ	146
地 域 看 護 学 演 習	148
地 域 看 護 学 実 習	150
緩 和 ケ ア 看 護 学	163
看護の統合と実践 Ⅱ	164
看護の統合と実践実習	166
成人看護学実習 Ⅱ	168

学生周知事項	171
台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）	174
講義室一覧	191

【参 考】

東京医科歯科大学学則（抜粋）	193
東京医科歯科大学学部履修規則・進級要件、履修規則内規	204
保健衛生学科（看護学専攻）教育課程	217
東京医科歯科大学医学部試験規則、試験規則内規	220
看護学専攻第3学年における臨地実習履修要件	226
医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項	227
医学部保健衛生学科レポート書式（見本）	228

平成26年度授業計画表《看護学専攻》

第 2 学 年			第 3 学 年			第 4 学 年		
区 分	週 数	期 間	区 分	週 数	期 間	区 分	週 数	期 間
前期授業 ・補講	15週	平成26年 4月 7日(月)～ 7月 11日(金)	前期授業 ・補講	15週	平成26年 4月 7日(月)～ 7月 11日(金)	前期授業 ・補講	13週	平成26年 4月 7日(月)～ 7月 4日(金)
前期試験	3週	平成26年 7月 14日(月)～ 7月 29日(火)	前期試験	3週	平成26年 7月 14日(月)～ 7月 27日(火)	前期試験	1週	平成26年 7月 7日(月)～ 7月 9日(水)
			前期授業 (指定)	1週	平成26年 7月 28日(月)～ ※後習園実習(期日指定)	前期授業	4週	平成26年 7月 10日(木)～ ※看護の統合と実践実習
夏季休業	6週	平成26年 7月 30日(水)～ 9月 3日(水)	夏季休業	9週	平成26年 7月 30日(水)～ 9月 24日(水)	夏季休業	8週	平成26年 7月 29日(火)～ 9月 16日(火)
後期授業	16週	平成26年 9月 4日(木)～12月 22日(月) ※「10/14(火)～17(金)」は臨時休業 10/23(木)は解剖体追悼式出席のため休講	後期授業	13週	平成26年 9月 25日(木)～12月 22日(月)	後期授業	15週	平成26年 9月 17日(水)～12月 22日(月)
冬季休業	2週	平成26年 12月 24日(水) ～平成27年 1月 2日(金)	冬季休業	2週	平成26年 12月 24日(水) ～平成27年 1月 2日(金)	冬季休業	2週	平成26年 12月 24日(水) ～平成27年 1月 2日(金)
後期授業	3週	平成27年 1月 5日(月)～ 1月 23日(金)	後期授業	5週	平成27年 1月 5日(月)～ 2月 6日(金)	後期授業	2週	平成27年 1月 5日(月)～ 1月 16日(金)
後期試験	2週	平成27年 1月 26日(月)～ 2月 6日(金)	後期試験			後期試験	1週	平成27年 1月 19日(月)～ 1月 23日(金)
補講・再試験 期間	2週	平成27年 2月 9日(火)～ 2月 18日(水)	補講・再試験 期間	1週	平成27年 2月 9日(火)～ 2月 18日(水)	補講・再試験 期間	1週	平成27年 1月 26日(月)～ 1月 30日(金)
春季休業		平成27年 2月 19日(木)～	春季休業		平成27年 2月 19日(木)～	春季休業		平成27年 2月 2日(月)～

【行事】

平成26年 4月 4日(金)ガイダンス(2学年)
 平成26年 4月 7日(月)入学式(学部)
 平成26年 4月 8日(火)入学式(大学院)
 平成26年 4月 10日(木)～11日(金)校外研修

平成26年 5月 10日(土) 体育祭
 平成26年 10月 12日(日)創立記念日
 平成26年 10月 18日(土)・19日(日)お茶の水祭
 平成26年 10月 23日(木)解剖体追悼式 N2、MT2(築地本願寺)
 平成27年 3月 25日(水)卒業式

第 1 学年

平成26年度時間割(看護学専攻:第1学年)

(前期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
4/8	火										
9	水										
10	木										
11	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
4/14	月										
15	火					専攻ガイダンス 13:40～	4	基礎看護学 I (1)	4	基礎看護学 I (2)	4
16	水										
17	木										
18	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
4/21	月										
22	火					基礎看護学 I (3)	4	基礎看護学 I (4)	4		
23	水										
24	木										
25	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
4/28	金										
29	火	昭和の日									
30	水										
5/1	木										
2	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
5/5	月	子どもの日									
6	火	振替休日									
7	水										
8	木										
9	金										

平成26年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
5/12	月										
13	火					基礎看護学 I (5)	4	基礎看護学 I (6)	4		
14	水										
15	木										
16	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
5/19	月										
20	火					基礎看護学 I (7)	4	基礎看護学 I (8)	4		
21	水										
22	木										
23	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
5/26	月										
27	火										
28	水										
29	木										
30	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
6/2	月										
3	火										
4	水										
5	木										
6	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
6/9	月										
10	火										
11	水										
12	木										
13	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
6/16	月										
17	火										
18	水										
19	木										
20	金										

平成26年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
6/23	月										
24	火										
25	水										
26	木										
27	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
6/30	月										
7/1	火										
2	水										
3	木										
4	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
7/7	月										
8	火										
9	水										
10	木										
11	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
7/14	月										
15	火										
16	水										
17	木										
18	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
7/21	月	海の日									
22	火										
23	水										
24	木										
25	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
7/28	月										
29	火										
30	水										
31	木										
8/1	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
8/4	月	基礎看護学実習 I (8/4～8/7)【医学部・歯学部附属病院、3号館18階保健衛生学講義室1、3号館17階看護学実習室1・2・症例検討室】									
5	火										
6	水										
7	木										
8	金										

平成26年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
9/29	月										
30	火					解剖学 I (1)	1	解剖学 I (2)	1	看護心理学(1)	2
10/1	水										
2	木										
3	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/6	月										
7	火					解剖学 I (3)	1	解剖学 I (4)	1	看護心理学(2)	2
8	水										
9	木										
10	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/13	月	体育の日									
14	火					解剖学 I (5)	1	解剖学 I (6)	1	看護心理学(3)	2
15	水										
16	木										
17	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/20	月										
21	火					解剖学 I (7)	1	解剖学 I (8)	1	看護心理学(4)	2
22	水										
23	木										
24	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
10/27	月										
28	火					解剖学 I (9)	1	解剖学 I (10)	1	看護心理学(5)	2
29	水										
30	木										
31	金										

平成26年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/3	月	文化の日									
4	火					解剖学 I (11)	1	解剖学 I (12)	1	看護心理学(6)	2
5	水										
6	木										
7	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/10	月										
11	火					解剖学 I (13)	1	解剖学 I (14)	1	看護心理学(7)	2
12	水										
13	木										
14	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/17	月										
18	火					解剖学 I (15)	1	解剖学 I (16)	1	看護心理学(8)	2
19	水										
20	木										
21	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
11/24	月	振替休日									
25	火					看護の統合と実践 I (1)	2	看護の統合と実践 I (2)	2		
26	水										
27	木										
28	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
12/1	月										
2	火					看護の統合と実践 I (3)	2	看護の統合と実践 I (4)	2		
3	水										
4	木										
5	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
12/8	月										
9	火					看護の統合と実践 I (5)	4	看護の統合と実践 I (6)	4	←※講義室注意	
10	水										
11	木										
12	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
12/15	月										
16	火					看護の統合と実践 I (7)	2	看護の統合と実践 I (8)	2		
17	水										
18	木										
19	金										

平成26年度時間割(看護学専攻:第1学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/5	月										
6	火					看護の統合と実践 I (9)	2	看護の統合と実践 I (10)	2		
7	水										
8	木										
9	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/12	月	成人の日									
13	火					看護の統合と実践 I (11)	2	看護の統合と実践 I (12)	2		
14	水										
15	木										
16	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/19	月										
20	火					看護の統合と実践 I (13)	2	看護の統合と実践 I (14)	2		
21	水										
22	木										
23	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
1/26	月										
27	火					看護の統合と実践 I (15)	2	看護の統合と実践 I (16)	2		
28	水										
29	木										
30	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
2/2	月										
3	火										
4	水										
5	木										
6	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	12:50～14:20	講義室	14:30～16:00	講義室	16:20～17:50	講義室
2/9	月										
10	火										
11	水	建国記念日									
12	木										
13	金										

時間割番号	012005					
科目名	解剖学Ⅰ					
担当教員	星 治					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2	
英文名: Anatomy(Ⅰ)						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等 解剖学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で、医学の最も基礎的な領域である。						
授業の到達目標(SB0s) からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について、基本的な構造を理解することを目標とする。さらに、看護学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく、実物観察により理解を深めることも重視する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	9/30	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	総論	解剖学とは何か、人体の構成単位、器官と系統、細胞と組織、人体の方向用語	星 治
3-4	10/7	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	骨格系	骨組織、骨の発生、骨の連結、頭蓋、脊柱、胸郭、上肢の骨格、下肢の骨格	星 治
5-6	10/14	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	筋系	筋の形と構造、頭の筋、胸腹部の筋、上肢の筋、下肢の筋	星 治
7-8	10/21	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	脈管系	血管の構造、心臓の構造、刺激伝導系、肺循環と体循環、動脈系、静脈系、リンパ系	星 治
9-10	10/28	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	呼吸器系	鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺	星 治
11-12	11/4	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	消化器系	消化管の基本構造、口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓	星 治
13-14	11/11	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	内分泌系	下垂体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓	星 治
15-16	11/18	12:50-16:00	保健衛生学科講義室1	生殖器系(男性)	精巣と精巣上体、精管、精嚢と前立腺、精子	長 雄一郎
授業内容 人体を各系統に分け、それらを構成する各器官の形態と構造について講義し、基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。						
成績評価の方法 筆記試験を行う。一部、英文による出題もある。						
準備学習などについての具体的な指示 指定の教科書を事前に読み込むこと。特に、講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。						
他科目との関連 人体の様々な病態を理解するためには、からだの構造の基本的な知識が必要である。このため、解剖学は他の多くの科目と関連している。特に、生理学、病理学、病態学とは密接な関連がある。						
履修上の注意事項 時間数が限られているので、予習、復習することが必要である。						
連絡先 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp						
オフィスアワー オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階						

時間割番号	012003					
科目名	基礎看護学Ⅰ					
担当教員	齋藤 やよい					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1	
英文名: Fundamental NursingⅠ						
主な講義場所 保健衛生学講義室4(3号館7階)						
授業の目的、概要等 基礎看護学では看護学専門科目に共通する知識と技術を学ぶ。基礎看護学Ⅰは、看護学概論として、看護の本質となる「看護」「健康」「人間」「環境」の概念を理解し、看護の機能と役割、対象の全人的理解のための基礎的知識を養う。						
授業の到達目標(SBOs) 看護の共通基盤となる看護の理論、概念・目的や、看護実践能力の基礎となる人間観、生活観、社会観、健康観、自然観とそれらの関連性について総合的に理解する。また、看護独自の機能と、保健医療チームの中での看護の役割と連携について理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	オリエンテーション	看護と看護学	齋藤 やよい
2	4/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	看護の概念	看護の概念と対象の理解	齋藤 やよい
3	4/22	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	看護ニーズ	看護の諸理論	齋藤 やよい
4	4/22	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	看護技術	看護技術の定義、看護技術の定義と構成する要素と内容	齋藤 やよい
5	5/13	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	看護の歴史	看護の歴史と今後の展望	齋藤 やよい
6	5/13	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	看護の歴史	看護の歴史と今後の展望	齋藤 やよい
7	5/20	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	保健医療の概念	保健医療の概念と看護活動-看護の実践の場	齋藤 やよい
8	5/20	14:30-16:00	保健衛生学科講義室4	看護倫理	倫理と専門職としての看護	齋藤 やよい
授業方 * 日時及び内容は変更する場合がある。						
成績評価の方法 単元ごとのミニレポート、課題レポート、および出席状況により評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 該当範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。						
他科目との関連 看護学の独自性や看護の専門機能を理解するために、学習の基礎となる教養の自然科学系、社会学系の科目、特に人間科学、社会学、心理学、哲学などの学習が望ましい。						
履修上の注意事項 看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために、柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験、社会体験を踏まえ、幅広い分野の書物に触れ、社会情勢にも関心を持つことが望ましい。						
連絡先 ysaito.fnls@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週火曜日 AM.10:00-PM.1:00 3号館18階看護ケア技術開発学教授室						

時間割番号	012001					
科目名	基礎看護学実習 I					
担当教員	齋藤 やよい					
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1	
英文名:Early Exposure Practice						
主な講義場所						
保健衛生学講義室1(3号館18階)、看護実習室1および2(3号館17階)医学部附属病院および歯学部附属病院、症例検討室						
授業の目的、概要等						
専門科目の学習の初期において、医療の現場を知り、健康障害をもった人々と直接関わることを通して、看護の機能と役割を理解する。 また、本実習を通して、今後の学習への動機づけとする。						
授業の到達目標(SB0s)						
1)大学病院の概要と機能について知る。 2)医学部、および歯学部附属病院の理念と病院 組織の概要を知る。 3)看護部の理念と基本方針を知る。 4)病院の機能からみた構造上の特徴と、病院内での各部門の配置を知る。 5)療養環境としての病棟・病室環境の特徴を知る。 6)看護活動の場と看護の実際を知る。 7)入院患者の特徴を知る。 8)専門職の役割・連携を知る。 9)学生間で体験を共有する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	8/4	08:50-17:50	保健衛生学科講義室1, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習 I	詳細については 実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
2	8/5	08:50-17:50	保健衛生学科講義室1, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習 I	詳細については 実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
3	8/6	08:50-17:50	保健衛生学科講義室1, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習 I	詳細については 実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
4	8/7	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1, 看護学実習室1, 看護学実習室2	基礎看護学実習 I	詳細については 実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
5	8/7	13:00-17:50	症例検討室	基礎看護学実習 I	詳細については 実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
授業方法						
〔実習期間〕 :8月4日(月) ~ 8月7日(木)						
授業内容						
(詳細については、後日配布する実習要項に提示)						
成績評価の方法						
1)単位認定は、実習時間の3/4以上の出席をもって行う。 2)遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2回で1日の欠席とする。						
成績評価の基準						
実習記録、出席状況および実習態度などにより総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
基礎看護学 I の講義内容を復習の上、実習に臨むこと。						
連絡先						
ysaito.frls@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週火曜日 AM.10:00-PM.1:00 3号館 18 階看護ケア技術開発学教授室						

時間割番号	012002					
科目名	看護心理学					
担当教員	田上 美千佳					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
英文名:Nursing psychology						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等						
心の健康と精神的援助の全容を概観し、看護実践における心理学的な基礎を築く。						
授業の到達目標(SB0s)						
心のしくみと働きについて理解を深めると共に、健康上の問題を抱える人々に精神的な援助を提供する上で欠くことのできない基本的な知識、技術、態度を養うことを学習の目標とする。そこでまず、人格診断、心理測定、自己分析の方法を自分自身に適用してみる。さらに、日常的に体験しているストレスや生活習慣について吟味し、自分自身の心と身体を素材にして健康と不健康、適応と不適応を区別できる判断力を磨く。また、リラクゼーション技法、呼吸法等、心の健康の回復・維持・増進に有効と考えられる方法の一端を体験し、精神的な健康をめぐる援助について視野を広げる。こうした学習を通じて、セルフケア支援としての看護について基本的な考え方を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	心のしくみと心の健康	心のしくみと働き、心の健康とは、人格の構造、人格と精神状態の評価方法(心理測定法)、人間と環境との相互作用(応答的な環境)、対人関係とコミュニケーション	田上 美千佳
2	10/7	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	心の健康・身体 の健康	心の健康と身体 の健康、心理的ストレスの発生、ストレス対処の過程と類型、病気という体験	美濃 由紀子
3	10/14	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	心と人格の発達	エリクソンの発達図式、母子相互作用と乳幼児期の発達、青年期の挫折とアイデンティティ形成、中高年の危機と生涯発達	田上 美千佳
4	10/21	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	環境への適応と不適応 (1)	心的外傷(トラウマ)の発生、生活習慣と嗜癖行動(アディクション)、暴力的な対人関係(虐待、いじめ、DV)、精神疾患と脆弱性	上岡 陽江
5	10/28	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	体験としての病	病気という体験ががん患者とその家族を中心に、当事者同士の支え合い、病気の受容、病と共に生きるということ	澁谷 裕
6	11/4	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	ストレス・マネジメント	代替療法と統合医療(ホリスティックメディスン)、リラクゼーション技法(呼吸法、漸進的筋弛緩法)	渡邊 敦子
7	11/11	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	環境への適応と不適応 (2)	セルフヘルプグループの機能、12ステップ・グループの特徴、看護職によるセルフヘルプグループの支援	渡邊 敦子
8	11/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	心の健康の維持と支援	援助関係の発展、カウンセリングと自己一致、問題の明確化、意思決定支援	田上 美千佳
授業方法						
講義						
授業内容						
授業計画参照						

成績評価の方法 講義への出席および参加態度、人間理解、自己理解、援助関係等のテーマに関するレポートによって評価する。
成績評価の基準 講義への出席 20% 参加態度 10% レポート 70%
準備学習などについての具体的な指示 患者や家族など援助の必要な対象者の闘病記や手記などを読み、対象者の心理に関心をよせることを心がける。 対象の苦痛や苦悩を理解して支援する姿勢をもって臨む。
他科目との関連 基礎看護学、精神看護学、精神看護学演習等の科目と関連する。
履修上の注意事項 自分自身の心と身体を学習素材とした体験学習を通じて、自己の内面に生じてくる反応に気づき、“やさしく”受け入れてみることを糸口にして、看護職、医療職に求められる姿勢を築いて欲しい。
連絡先 田上美千佳: tanoue.pn@tmd.ac.jp
オフィスアワー 話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。 ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。 3号館 18 階精神保健看護学教授室

時間割番号	012004						
科目名	看護の統合と実践Ⅰ						
担当教員	深堀 浩樹						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2		
英文名: Integration of acquaintances for Nursing PracticeⅠ							
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)、情報検索室(M&Dタワー4階)							
授業の目的、概要等 看護学の各分野で学ぶ内容の基礎として、様々な領域の看護学およびさまざまな場面における看護実践を知り、広い視野に基づき看護を学んでいくための基本的な態度を身につける。							
授業の到達目標(SB0s) 1) 様々な場面における看護について知る。 2) 生涯に渡り看護に携わっていくための態度を養う。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/25	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	オリエンテーション / 様々な領域の看護学①	深堀 浩樹	保健衛生学研究科教員
2	11/25	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	様々な領域の看護学②、③		保健衛生学研究科教員
3	12/2	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	様々な領域の看護学④、⑤		保健衛生学研究科教員
4	12/2	14:30-16:00	情報検索室	看護の統合と実践Ⅰ	看護学における資料・文献の探し方①		図書館メディア推進課
5	12/9	12:50-14:20	保健衛生学科講義室4	看護の統合と実践Ⅰ	様々な領域の看護学⑥、⑦		保健衛生学研究科教員、 ※講義室に注意
6	12/9	14:30-16:00	情報検索室	看護の統合と実践Ⅰ	看護学における資料・文献の探し方②	深堀 浩樹	
7	12/16	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	様々な領域の看護学⑧、⑨		保健衛生学研究科教員
8	12/16	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	部門見学・インタビュー内容の検討(グループワーク)	深堀 浩樹	
9	1/6	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	国際看護	小黒 道子	
10	1/6	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	災害看護	石田 千絵	
11	1/13	12:50-14:20	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	起業した看護職	川添 高志	
12	1/13	14:30-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	看護職への部門見学・インタビュー(グループ別)	深堀 浩樹	
13-14	1/20	12:50-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	発表資料作成(グループワーク)	深堀 浩樹	
15-16	1/27	12:50-16:00	保健衛生学科講義室2	看護の統合と実践Ⅰ	プレゼンテーション	深堀 浩樹	
成績評価の方法 レポート、出席により評価する予定である。							

準備学習などについての具体的な指示 準備学習は必要としないが、自身の関心のある領域の看護実践や研究については積極的に情報収集することが望ましい。
他科目との関連 「看護の統合と実践」は、他の看護の専門分野と密接なかかわりを持つ。今回学んだ内容は、今後学習予定の看護学の各科目と、将来的に関連付けられていくことが望ましい。
履修上の注意事項 内容・日時・場所については変更が生じうるので連絡・掲示で確認すること。
備考 注)保健衛生学科教員とは各講座(地域保健看護学、在宅ケア看護学、リプロダクティブヘルス看護学、精神保健看護学、小児・家族発達看護学、先端侵襲緩和ケア看護学、高齢者看護・ケアシステム開発学、健康教育学、国際看護開発学)の教員のことを示す。
連絡先 hfukahorikanr@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週金曜日 AM.10:00-12:00 3号館 15階 看護システムマネジメント学分野 教員室 事前連絡してから訪問すること。

第 2 学年

平成26年度時間割(看護学専攻:第2学年)

(前期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/4	金					13:45～学年ガイダンス(3号館18階 保健衛生学講義室1) 終了後専攻別ガイダンス(3号館8階 保健衛生学講義室2)					
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/7	月										
8	火										
9	水	解剖学Ⅱ(1)	1	病理学(1)	1	英文講読Ⅰ(1)	4			国際保健福祉	1
10	木	病理学(2)	1	解剖学Ⅱ(2)	1	基礎看護学Ⅱ(1)	4	基礎看護学演習Ⅰ(1)	4	基礎看護学演習Ⅰ(2)	4
11	金	生化学(1)	1	成人看護学Ⅰ(1)	4	基礎看護学演習Ⅰ(3)	4	基礎看護学演習Ⅰ(4)	4	基礎看護学演習Ⅰ(5)	4
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/14	月			生化学(2)	1	生化学(3)	1	微生物学(1)	1	病態学(1)	1
15	火	解剖学Ⅱ(3)	1	解剖学Ⅱ(4)	1						
16	水	解剖学Ⅱ(5)	1	病理学(3)	1	英文講読Ⅰ(2)	4	病態学(2)	4	病態学(3)	4
17	木	病理学(4)	1	解剖学Ⅱ(6)	1	基礎看護学演習Ⅰ(6)	4	基礎看護学演習Ⅰ(7)	4	基礎看護学演習Ⅰ(8)	4
18	金	生化学(4)	1	成人看護学Ⅰ(2)	4	基礎看護学Ⅱ(2)	4	基礎看護学Ⅱ(3)	4	基礎看護学Ⅱ(4)	4
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/21	月			生化学(5)	1	生化学(6)	1	微生物学(2)	1	病態学(4)	1
22	火	解剖学Ⅱ(7)	1	解剖学Ⅱ(8)	1	病態学(5)	2 (講義室 注意)				
23	水	生理学(1)	1	病理学(5)	1	英文講読Ⅰ(3)	4	病態学(6)	4	病態学(7)	4
24	木	病理学(6)	1	生理学(2)	1	基礎看護学演習Ⅰ(9)	4	基礎看護学演習Ⅰ(10)	4		
25	金	生化学(7)	1	成人看護学Ⅰ(3)	4						
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/28	月			生化学(8)	1	生化学(9)	1	微生物学(3)	1	病態学(8)	1
29	火	昭和の日									
30	水	生理学(3)	1	病理学(7)	1	英文講読Ⅰ(4)	4	病態学(9)	4	病態学(10)	4
5/1	木	病理学(8)	1	生理学(4)	1	基礎看護学Ⅱ(5)	4	基礎看護学演習Ⅰ(11)	4	基礎看護学演習Ⅰ(12)	4
2	金	生化学(10)	1	成人看護学Ⅰ(4)	4	病態学(11)	4	病態学(12)	4		
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/5	月	子どもの日									
6	火	振替休日									
7	水	実践看護英語(1)	2			英文講読Ⅰ(5)	4				
8	木	生理学(5)	1	生理学(6)	1	基礎看護学Ⅱ(6)	4	基礎看護学演習Ⅰ(13)	4	基礎看護学演習Ⅰ(14)	
9	金	生化学(11)	1	成人看護学Ⅰ(5)	4	基礎看護学演習Ⅰ(15)	4	基礎看護学演習Ⅰ(16)	4		

平成26年度時間割(看護学専攻:第2学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/12	月			生化学(12)	1	生化学(13)	1	英文講読 I (6) TOEFL/ITP	4	英文講読 I (7) TOEFL/ITP	4
13	火	生理学(7)	1	生理学(8)	1	専門基礎合同演習(1)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(2)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(3)	7 F 実習室
14	水	実践看護英語(2)	2			英文講読 I (8)	4	病態学(13)	4	病態学(14)	4
15	木	生理学(9)	1	生理学(10)	1	基礎看護学Ⅱ(7)	4	基礎看護学Ⅲ(1)	4	基礎看護学Ⅲ(2)	4
16	金	生化学(14)	1	成人看護学Ⅰ(6)	4	基礎看護学演習Ⅰ(17)	4	基礎看護学演習Ⅰ(18)	4	基礎看護学演習Ⅰ(19)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/19	月					生化学(15)	1	微生物学(4)	1	病態学(15)	1
20	火	生理学(11)	1	生理学(12)	1	専門基礎合同演習(4)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(5)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(6)	7 F 実習室
21	水	実践看護英語(3)	2			英文講読 I (9)	4	病態学(16)	4	病態学(17)	4
22	木	生理学(13)	1	生理学(14)	1	基礎看護学演習Ⅰ(20)	4	基礎看護学演習Ⅰ(21)	4	基礎看護学演習Ⅰ(22)	4
23	金			成人看護学Ⅰ(7)	4	基礎看護学Ⅲ(3)	4	基礎看護学Ⅲ(4)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/26	月							微生物学(5)	1	病態学(18)	1
27	火			生理学(15)	1	専門基礎合同演習(7)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(8)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(9)	7 F 実習室
28	水	実践看護英語(4)	2			英文講読 I (10)	4	病態学(19)	4	病態学(20)	4
29	木			生理学(16)	1	基礎看護学Ⅱ(8)	4	基礎看護学演習Ⅰ(23)	4	基礎看護学演習Ⅰ(24)	4
30	金					小児看護学Ⅰ(1)	4	小児看護学Ⅰ(2)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/2	月									病態学(21)	1
3	火			生理学(17)	1	専門基礎合同演習(10)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(11)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(12)	7 F 実習室
4	水	実践看護英語(5)	2			英文講読 I (11)	4	病態学(22)	4	病態学(23)	4
5	木			生理学(18)	1	基礎看護学Ⅲ(5)	4	基礎看護学Ⅲ(6)	4		
6	金	成人看護学Ⅰ(8)	4	成人看護学Ⅰ(9)	4	小児看護学Ⅰ(3)	4	小児看護学Ⅰ(4)	4	小児看護学Ⅰ(5)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/9	月							微生物学(6)	1	病態学(24)	1
10	火			生理学(19)	1	専門基礎合同演習(13)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(14)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(15)	7 F 実習室
11	水	実践看護英語(6)	2			英文講読 I (12)	4	病態学(25)	4	病態学(26)	4
12	木			生理学(20)	1	基礎看護学演習Ⅰ(25)	4	基礎看護学演習Ⅰ(26)	4	基礎看護学演習Ⅰ(27)	4
13	金	成人看護学Ⅰ(10)	4	成人看護学Ⅰ(11)	4	小児看護学Ⅰ(6)	4	小児看護学Ⅰ(7)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/16	月							微生物学(7)	1		
17	火			生理学(21)	1						
18	水	実践看護英語(7)	2			英文講読 I (13)	4	病態学(27)	4	病態学(28)	4
19	木			生理学(22)	1	基礎看護学演習Ⅰ(28)	4	基礎看護学演習Ⅰ(29)	4	基礎看護学演習Ⅰ(30)	4
20	金	成人看護学Ⅰ(12)	4			小児看護学Ⅰ(8)	4	小児看護学Ⅰ(9)	4		

平成26年度時間割(看護学専攻:第2学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/23	月	成人看護学 I (13)	4	成人看護学 I (14)	4	病態学(29)	1	微生物学(8)	1	病態学(30)	1
24	火			生理学(23)	1	専門基礎合同演習(16)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(17)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(18)	7 F 実習室
25	水	実践看護英語(8)	2			英文講読 I (14)	4				
26	木										
27	金			成人看護学 I (15)	4	基礎看護学演習 I (31)	4	基礎看護学演習 I (32)	4	基礎看護学演習 I (33)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/30	月										
7/1	火			生理学(24)	1	専門基礎合同演習(19)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(20)	7 F 実習室	専門基礎合同演習(21)	7 F 実習室
2	水	実践看護英語(9)	2			英文講読 I (15)	4				
3	木										
4	金			病態学(31)	4	基礎看護学演習 I (34)	4	基礎看護学演習 I (35)	4	基礎看護学演習 I (36)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/7	月										
8	火										
9	水	実践看護英語(10)	2	英文講読 I (16)	4	英文講読 I (17)	4				
10	木										
11	金					基礎看護学演習 I (37)	4	基礎看護学演習 I (38)	4	基礎看護学演習 I (39)	4

7/14	月	前期定期試験									
15	火	前期定期試験									
16	水	前期定期試験									
17	木	前期定期試験									
18	金	前期定期試験									

7/21	月	海の日									
22	火	前期定期試験									
23	水	前期定期試験									
24	木	前期定期試験									
25	金	前期定期試験									

7/28	月	前期定期試験									
29	火	前期定期試験									

夏季休業 7/30(水)～

平成26年度時間割(看護学専攻:第2学年)

(後期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/4	木	基礎看護学演習Ⅰ(40)	4	基礎看護学演習Ⅰ(41)	4	基礎看護学実習Ⅱ					4
5	金	基礎看護学実習Ⅱ									4
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/8	月	基礎看護学実習Ⅱ									4
9	火	基礎看護学実習Ⅱ									4
10	水	基礎看護学実習Ⅱ									4
11	木	基礎看護学実習Ⅱ									4
12	金	基礎看護学実習Ⅱ									4
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/15	月	敬老の日									
16	火	基礎看護学実習Ⅱ									4
17	水	基礎看護学実習Ⅱ									4
18	木	基礎看護学実習Ⅱ			症例検討室	基礎看護学Ⅲ(7)	4	基礎看護学Ⅲ(8)	4		
19	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/22	月										
23	火	秋分の日									
24	水										
25	木										
26	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/29	月			病態学(32)	4			病態学(33)	4		
30	火			成人看護学Ⅱ(1)	4						
10/1	水					保健医療福祉制度論(1)	4	保健医療福祉制度論(2)	4		
2	木					精神看護学(1)	4	精神看護学(2)	4		
3	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/6	月					病態学(34)	4	病態学(35)	4	病態学(36)	4
7	火			成人看護学Ⅱ(2)	4	小児看護学演習Ⅰ(1)	4	小児看護学演習Ⅰ(2)	4		
8	水					保健医療福祉制度論(3)	4	保健医療福祉制度論(4)	4		
9	木										
10	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/13	月	体育の日									
14	火	臨時休業									
15	水	臨時休業									
16	木	臨時休業									
17	金	臨時休業									
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/20	月			在宅看護学Ⅰ(1)	4	病態学(37)	4	病態学(38)	4		
21	火			成人看護学Ⅱ(3)	4	小児看護学演習Ⅰ(3)	4	小児看護学演習Ⅰ(4)	4		
22	水	薬理学Ⅰ(1)	1	薬理学Ⅰ(2)	1	保健医療福祉制度論(5)	4	保健医療福祉制度論(6)	4		
23	木					医療情報学(1)	情報検索室	医療情報学(2)	情報検索室		
24	金					医療情報学(3)	情報検索室	医療情報学(4)	情報検索室		
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/27	月			在宅看護学Ⅰ(2)	4	病態学(39)	4	病態学(40)	4		
28	火			成人看護学Ⅱ(4)	4	小児看護学演習Ⅰ(5)	4	小児看護学演習Ⅰ(6)	4		
29	水	薬理学Ⅰ(3)	1	薬理学Ⅰ(4)	1	保健医療福祉制度論(7)	4	保健医療福祉制度論(8)	4		
30	木					医療情報学(5)	情報検索室	医療情報学(6)	情報検索室		
31	金	栄養学(1)	4	成人看護学Ⅱ(5)	4	基礎看護学演習Ⅱ(1)	4	基礎看護学演習Ⅱ(2)	4	基礎看護学演習Ⅱ(3)	4

平成26年度時間割(看護学専攻:第2学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/3	月	文化の日									
4	火			成人看護学Ⅱ(6)	4	小児看護学演習Ⅰ(7)	4	小児看護学演習Ⅰ(8)	4		
5	水	薬理学Ⅰ(5)	1	薬理学Ⅰ(6)	1	保健医療福祉制度論(9)	4	保健医療福祉制度論(10)	4		
6	木					医療情報学(7)	情報検索室	医療情報学(8)	情報検索室		
7	金	栄養学(2)	4	成人看護学Ⅱ(7)	4	基礎看護学演習Ⅱ(4)	4	基礎看護学演習Ⅱ(5)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/10	月			在宅看護学Ⅰ(3)	4	病態学(41)	4	病態学(42)	4		
11	火					小児看護学演習Ⅰ(9)	4	小児看護学演習Ⅰ(10)	4		
12	水	薬理学Ⅰ(7)	1	薬理学Ⅰ(8)	1	保健医療福祉制度論(11)	4	保健医療福祉制度論(12)	4		
13	木					精神看護学(3)	4	精神看護学(4)	4		
14	金	栄養学(3)	4	成人看護学Ⅱ(8)	4	基礎看護学演習Ⅱ(6)	4	基礎看護学演習Ⅱ(7)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/17	月			在宅看護学Ⅰ(4)	4	病態学(43)	4	病態学(44)	4		
18	火					小児看護学演習Ⅰ(11)	4	小児看護学演習Ⅰ(12)	4		
19	水	薬理学Ⅱ(1)	1	薬理学Ⅱ(2)	1	保健医療福祉制度論(13)	4	保健医療福祉制度論(14)	4		
20	木					精神看護学(5)	4	精神看護学(6)	4		
21	金			栄養学(4)	4	基礎看護学演習Ⅱ(8)	4	基礎看護学演習Ⅱ(9)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/24	月	振替休日									
25	火			成人看護学Ⅱ(9)	4	小児看護学演習Ⅰ(13)	4	小児看護学演習Ⅰ(14)	4		
26	水	薬理学Ⅱ(3)	1	薬理学Ⅱ(4)	1	保健医療福祉制度論(15)	4	保健医療福祉制度論(16)	4		
27	木					精神看護学(7)	4	精神看護学(8)	4		
28	金	栄養学(5)	4	成人看護学Ⅱ(10)	4						

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/1	月			在宅看護学Ⅰ(5)	4						
2	火	成人看護学Ⅱ(11)	4	成人看護学Ⅱ(12)	4	小児看護学演習Ⅰ(15)	4	小児看護学演習Ⅰ(16)	4		
3	水	薬理学Ⅱ(5)	1	薬理学Ⅱ(6)	1						
4	木			栄養学(6)	4	精神看護学(9)	4	精神看護学(10)	4		
5	金					基礎看護学演習Ⅱ(10)	4	基礎看護学演習Ⅱ(11)	4		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/8	月			在宅看護学Ⅰ(6)	4	病態学(45)	4	病態学(46)	4	病態学(47)	4
9	火										
10	水										
11	木	在宅看護学Ⅰ(7)	4	在宅看護学Ⅰ(8)	4	精神看護学(11)	4	精神看護学(12)	4		
12	金							基礎看護学演習Ⅱ(12)	4	基礎看護学演習Ⅱ(13)	4

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/15	月					病態学(48)	4	病態学(49)	4	病態学(50)	4
16	火										
17	水	薬理学Ⅱ(7)	1	薬理学Ⅱ(8)	1						
18	木	栄養学(7)	4	成人看護学Ⅱ(13)	4	精神看護学(13)	4	精神看護学(14)	4		
19	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
12/22	月										

冬季休業 12/24(水)～

平成26年度時間割(看護学専攻:第2学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/5	月										
6	火										
7	水										
8	木					精神看護学(15)	4	精神看護学(16)	4		
9	金			成人看護学Ⅱ(14)	4						

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/12	月	成人の日									
13	火										
14	水										
15	木			栄養学(8)	4	基礎看護学演習Ⅱ(14)	4	基礎看護学演習Ⅱ(15)	4		
16	金			成人看護学Ⅱ(15)	4						

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/19	月										
20	火										
21	水										
22	木					基礎看護学演習Ⅱ(16)	4	基礎看護学演習Ⅱ(17)	4		
23	金										

1/26	月	後期定期試験									
27	火	後期定期試験									
28	水	後期定期試験									
29	木	後期定期試験									
30	金	後期定期試験									

2/2	月	後期定期試験									
3	火	後期定期試験									
4	水	後期定期試験									
5	木	後期定期試験									
6	金	後期定期試験									

2/9	月	補講・再試									
10	火	補講・再試									
11	水	建国記念の日									
12	木	補講・再試									
13	金	補講・再試									

2/16	月	補講・再試									
17	火	補講・再試									
18	水	補講・再試									

春季休業 2/19(木)～

時間割番号	012006					
科目名	解剖学Ⅱ					
担当教員	星 治					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
英文名: Anatomy(Ⅱ)						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等 解剖学は正常なからだの形態と構造を細胞から器官レベルまで研究する学問で、医学の最も基礎的な領域である。						
授業の到達目標(SB0s) からだを構成している細胞から器官にいたる各単位について、基本的な構造を理解することを目標とする。さらに、看護学を学ぶためにあたって必要な内容を講義するだけでなく、実物観察により理解を深めることも重視する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	生殖器系(女性)	卵巣、卵管、子宮、膣	星 治
2	4/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	泌尿器系	腎臓、尿管、膀胱、尿道	星 治
3-4	4/15	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	神経系(中枢神経系)	神経系の構成、脊髄、延髄と橋、小脳、大脳、間脳、脳室と脳脊髄膜	星 治
5	4/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	神経系(末梢神経系)	脳神経、脊髄神経、自律神経、伝導路	星 治
6	4/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	感覚器系	眼球とその付属器、平衡聴覚器、嗅覚器、味覚器、皮膚	長 雄一郎
7-8	4/22	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	発生学	ヒトの発生、受精から出生までのあらまし	長 雄一郎
授業内容 人体を各系統に分け、それらを構成する各器官の形態と構造について講義し、基礎的な人体解剖学の概念を修得できるように努める。						
成績評価の方法 筆記試験を行う。一部英文による出題もある。						
準備学習などについての具体的な指示 指定の教科書を事前に読み込むこと。特に、講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。						
他科目との関連 人体の様々な病態を理解するためには、からだの構造の基本的な知識が必要である。このため解剖学は他の多くの科目と関連している。特に生理学、病理学、病態学とは密接な関連がある。						
履修上の注意事項 時間数が限られているので、講義に関連した領域については自習する。						
連絡先 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp						
オフィスアワー オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階						

時間割番号	012007					
科目名	生理学					
担当教員	星 治					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	3	
英文名: Physiology						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等 生理学は人体の各構成要素の機能がどのようなメカニズムで発現し、全体として統合されているかを追求する学問である。						
授業の到達目標(SB0s) 人体の各構成要素の機能の基本的事項を、解剖学の知識を基盤に理解することを目標とする。正常な人体の機能を理解することは、疾病による人体の機能の変化を理解する上でも、看護学を修得する上でも重要なことである。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/23	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	総論	生理学の概念、意義	星 治
2	4/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	体液	体液とその調節	星 治
3	4/30	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	血液と生体防御	血液とその成分、血液型、リンパ液、組織液、生体防御	星 治
4	5/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	循環の生理	心臓の機能、循環の調節のしくみ、循環器系の基本検査	星 治
5-6	5/8	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	呼吸の生理	呼吸器の機能、呼吸の調節、呼吸気系の検査	星 治
7-8	5/13	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	消化と吸収	消化液のその作用、栄養吸収と水分吸収、腸管運動、肝臓のはたらき	星 治
9-10	5/15	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	栄養と代謝	糖質代謝、脂質代謝、蛋白質代謝、エネルギー代謝、基礎代謝	星 治
11-12	5/20	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	尿の生成と排泄	腎臓の機能と尿の生成	星 治
13-14	5/22	08:50-12:00	保健衛生学科講義室1	体温調節	体温、熱の産生、放熱、発汗のしくみ	星 治
15	5/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	内分泌の機能	内分泌器官、各種ホルモンの作用	星 治
16	5/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	生殖機能(1)	男性生殖機能(精子形成)	星 治
17	6/3	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	生殖機能(2)	女性生殖機能(排卵、受精、着床)、妊娠と分娩	星 治
18	6/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	神経、シナプス	神経生理の基礎、活動電位、神経線維の種類、興奮の伝達、シナプス	星 治
19	6/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	神経系の機能(1)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
20	6/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	神経系の機能(2)	大脳、間脳、脳幹(延髄、橋、中脳)、小脳、脊髄、体性神経系、自律神経、神経系の検査	星 治
21	6/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	感覚の生理(1)	感覚の一般的性質、視覚	星 治、長 雄一郎
22	6/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	感覚の生理(2)	聴覚、平衡感覚、味覚	星 治、長 雄一郎
23	6/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	筋肉の機能(1)	筋肉の分類とその機能	星 治
24	7/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	筋肉の機能(2)	骨格筋収縮のしくみ	星 治

授業内容 生体の機能は基本的機能と高次機能に大別される。基本的機能は動物と植物の両者に共通に認められる機能で、呼吸、血液循環、消化と吸収、代謝、排泄、内分泌等の生体の維持に関する機能がこれに属する。一方、高次機能は動物において発達、特殊化した機能を意味し、運動、神経、感覚等がこれに属する。これらの生体の機能について順次、要点を講義する。
成績評価の方法 講義：前期の試験期間に筆記試験を行う。一部、英文による出題もある。
準備学習などについての具体的な指示 指定の教科書を事前に読むこと。特に、講義当日の内容に該当する項目のところは十分に押さえておく。
教科書 シンプル生理学／貴邑富久子、根来英雄 共著、：南江堂、2008
他科目との関連 人体の構造を理解した上で、それらのさまざまな機能を理解するのが生理学である。生理学は、解剖学と表裏一体をなすとともに、薬理学、生化学、栄養学、病態学等と密接な関係がある
履修上の注意事項 時間数が限られているため、講義に関連した領域について自習することが必要である。
連絡先 o-hoshi.aps@tmd.ac.jp
オフィスアワー オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階

時間割番号	012008					
科目名	生化学					
担当教員	赤澤 智宏					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2	
英文名: Biochemistry						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等 生化学は生体の機能と構造を分子レベルで理解することを目標としている。すなわち、生体を構成している物質(生分子)がどのような化学構造や性質を持ち、どのような相互作用を通して生理機能を果たしているか、またそれらがどのようにして合成され、分解されていくのかを理解することです。また、生化学では食物からどのようにして生体に必要なエネルギーや生体構成成分の原料を取り出すかも学びます。						
授業の到達目標(SB0s) 生化学の近年の進歩は目覚しく、生体の各種の現象が生分子の分子構造やその変化の過程としてかなり具体的に把握できるようになってきている。講義はこのような最新の知識を基に進めますが、生命現象の本質的な部分については体系的に学べるようにしています。その上で、医療において特に必要な生化学的知識を身につけることを目指す。またこのような勉強を通して生命への畏敬の念を育んでほしい。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	序論:細胞の基本構造、細胞内小器官、細胞骨格、生分子、水	赤澤 智宏
2-3	4/14	10:30-14:30	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	アミノ酸・タンパク質:アミノ酸、立体異性体、ペプチド結合、タンパク質、生体高分子;酵素:触媒、酵素、酵素反応速度論、補酵素、ビタミン、活性調節	赤澤 智宏
4	4/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	糖質の化学と代謝:単糖類、二糖類、オリゴ糖類、多糖類、不斉炭素、異性体	赤澤 智宏
5-6	4/21	10:30-14:30	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	脂質の化学:脂質の定義・分類、脂肪酸、中性脂肪、複合脂質、ステロイド、プロスタグランジン;核酸の化学:ヌクレオチド、ヌクレオシド、DNA、RNA、クロマチン、遺伝情報	赤澤 智宏
7	4/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	代謝学入門:代謝学総論、ホメオスタシス、代謝調節、代謝異常	赤澤 智宏
8-9	4/28	10:30-14:30	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	糖質代謝:解糖系、ペントースリン酸回路、グリコーゲン代謝、糖質代謝異常症;脂質代謝:脂肪酸のβ酸化と生合成、コレステロール代謝、ケトン体、リポタンパク質代謝、脂質代謝異常	赤澤 智宏
10	5/2	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	生体酸化:トリカルボン酸回路、呼吸鎖、ATP 合成	赤澤 智宏
11	5/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	アミノ酸代謝:アミノ酸の異化、尿素回路、糖新生、生体アミン、必須アミノ酸、臓器相関	赤澤 智宏
12-13	5/12	10:30-14:30	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	代謝の統合・栄養学:代謝経路の切り換え、代謝間の繋がり、コリン回路、飢餓、肥満;タンパク質合成:複製、転写とプロセッシング、翻訳、翻訳後修飾	赤澤 智宏
14	5/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	遺伝生化学:遺伝子と染色体、遺伝子の構造と機能、遺伝と疾患	赤澤 智宏
15	5/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	生化学講義	病態生化学:代謝異常症、肝疾患、腎疾患	赤澤 智宏
授業内容 糖質、脂質、アミノ酸、タンパク質、核酸などの主要な生分子の基本性質と代謝における意義について学ぶ。とくに、ATP を中心とする生体でのエネルギー変換過程の理解が重要である。また、核酸の塩基配列に組み込まれた情報にしたがって、特定の場所に特定の量の特定の配列をもつタンパク質が作られ、それが働くことによって細胞の機能が発揮され、われわれの身体が維持されることを学ぶ。また						

主要な疾患の病態生化学を理解する。
成績評価の方法 試験期間に筆記試験を行い評価する。
準備学習などについての具体的な指示
他科目との関連 生化学の対象は広く、ほとんど全部の科目と関連しているが、特に関連の深い科目として、栄養学、生理学、薬理学がある。
履修上の注意事項 時間数が限られているので、講義で触れられなかった領域は教科書を利用して必ず学習をすること。

時間割番号	012009					
科目名	薬理学Ⅰ					
担当教員	安原 真人, 大久保 功子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
英文名: PharmacologyⅠ						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等 薬理学は、薬物の吸収・分布・代謝・排泄といった薬物動態と薬物が生体に及ぼす作用を、個体レベルから、臓器・組織レベル、細胞レベル、さらには分子レベルで研究する学問である。医療において、薬物治療は重要な位置を占めており、薬物に関する正しい知識を身につけることは適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。						
授業の到達目標(SB0s) 薬理学の学習はたくさんの薬物名の暗記に終始しがちである。最近の薬理学の進歩は速く、次々に新薬が作られており、覚えるべき薬物の数も増加する一方である。しかし、より良い薬物療法を目指すには、まず、薬物療法の基礎となる原理を正確に理解する必要がある。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室Ⅰ	【薬理学Ⅰ】総論	薬理学の構成、薬物とは何か、薬物と法律、薬理作用と作用機序、薬物の反応に影響を与える因子	安原 真人
2	10/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室Ⅰ	薬物動態(1)	薬物の投与経路、吸収、分布	安原 真人
3	10/29	08:50-10:20	保健衛生学科講義室Ⅰ	薬物動態(2)	薬物の代謝、排泄、薬物相互作用	安原 真人
4	10/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室Ⅰ	自律神経(1)	コリン作動薬、コリン作動性効果遮断薬	安原 真人
5	11/5	08:50-10:20	保健衛生学科講義室Ⅰ	自律神経(2)	アドレナリン作動薬、アドレナリン作動性効果遮断薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬	安原 真人
6	11/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室Ⅰ	中枢神経(1)	全身麻酔薬、鎮静催眠薬、麻薬性鎮痛薬	安原 真人
7	11/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室Ⅰ	中枢神経(2)	抗てんかん薬、抗パーキンソン病薬	安原 真人
8	11/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室Ⅰ	中枢神経(3)・薬物依存	抗精神病薬、抗うつ薬、薬物依存	安原 真人
成績評価の方法 筆記試験を行い、評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 有機化学の構造式に関する基礎知識があると理解が深まる。						
教科書 シンプル薬理学／野村隆英, 石川直久 編: 南江堂, 2008						
他科目との関連 薬理学は基礎医学と臨床医学の中間に位置する。すなわち、薬理学は主に生化学および生理学的手法を用いて研究がなされることから、薬理学を理解するには生化学、生理学、細菌学などの基礎知識が必要である。一方で、薬理学で得た知識は、内科学をはじめとする臨床での薬物療法の基礎となる。						
履修上の注意事項 時間数は限られているので、講義で触れられなかった領域のことなどを各自自習する必要がある。						
連絡先 安原 真人: yasuhara.mpha@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 安原 真人: 毎週月曜日 10:00～14:00 M&D タワー16 階薬物動態学研究室						

時間割番号	012010					
科目名	薬理学Ⅱ					
担当教員	安原 真人, 大久保 功子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
英文名: Pharmacology II						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等 薬理学は、薬物の吸収・分布・代謝・排泄といった薬物動態と薬物が生体に及ぼす作用を、個体レベルから、臓器・組織レベル、細胞レベル、さらには分子レベルで研究する学問である。医療において、薬物治療は重要な位置を占めており、薬物に関する正しい知識を身につけることは適正な薬物療法を行うために必要不可欠である。						
授業の到達目標(SB0s) 薬理学の学習はたくさんの薬物名の暗記に終始しがちである。最近の薬理学の進歩は速く、次々に新薬が作られており、覚えるべき薬物の数も増加する一方である。しかし、より良い薬物療法を目指すには、まず、薬物療法の基礎となる原理を正確に理解する必要がある。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	【薬理学Ⅱ】ホルモン	脳下垂体、甲状腺、インスリン、カルシウム代謝	安原 真人
2	11/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	抗炎症薬、免疫抑制薬	ステロイド、抗炎症薬、免疫抑制薬	安原 真人
3	11/26	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	心・血管系	強心薬、抗狭心症薬、抗不整脈薬、降圧薬	安原 真人
4	11/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	腎臓、呼吸器系、消化器系	利尿薬、鎮咳薬、喘息治療薬、潰瘍治療薬、下剤、貧血治療薬、止血薬、抗凝固薬	安原 真人
5	12/3	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	抗感染症薬	抗菌薬、抗ウイルス薬	安原 真人
6	12/3	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	抗悪性腫瘍薬	抗悪性腫瘍薬	安原 真人
7	12/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	薬物の安全性	ヘルシンキ宣言、治験、GCP	安原 真人
8	12/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	薬害	副作用と薬害、薬害被害者による講演(教育委員会主催)	安原 真人
成績評価の方法 筆記試験を行い、評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 有機化学の構造式に関する基礎知識があると理解が深まる。						
他科目との関連 薬理学は基礎医学と臨床医学の中間に位置する。すなわち、薬理学は主に生化学および生理学的手法を用いて研究がなされることから、薬理学を理解するには生化学、生理学、細菌学などの基礎知識が必要である。一方で、薬理学で得た知識は、内科学をはじめとする臨床での薬物療法の基礎となる。						
履修上の注意事項 時間数は限られているので、講義で触れられなかった領域のことなどを各自自習する必要がある。						
連絡先 安原 真人 yasuhara.mpha@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 安原 真人:毎週月曜日 10:00～14:00 M&D タワー16 階薬物動態学研究室						

時間割番号	012011					
科目名	病理学					
担当教員	沢辺 元司, 副島 友莉恵					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
英文名: Pathology						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等 病理学は疾病の本態を解明する学問であり、基礎と臨床との両者にまたがった医学・医療の基本となる分野である。従って、病理学的知識・思考は専門課程2学年から4学年に至る間、何らかの形で常に教授される。						
授業の到達目標(SB0s) 病理学では、疾病病変の共通の変化を論じ、病態の本質、その成因を系統的に把握、理解する。病理学の学習を通して疾病の本態を理解し、医学・医療の基本的知識・思考が習得することを目標とする。また期末試験の約 10%に英語を出題するので、教科書に英語も併記してある基本的用語は読み書きできるようにしておくこと。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	病理学・病因論	序論・病理学・病因	沢辺 元司, 副島 友莉恵
2	4/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	進行性病変ほか	進行性病変・退行性病変・代謝障害	沢辺 元司, 副島 友莉恵
3	4/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	循環障害	循環障害	沢辺 元司, 副島 友莉恵
4	4/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	炎症・感染症	炎症・感染症	沢辺 元司, 副島 友莉恵
5	4/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	免疫	免疫・自己免疫疾患	沢辺 元司, 副島 友莉恵
6	4/24	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	腫瘍	腫瘍総論	沢辺 元司, 副島 友莉恵
7	4/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室1	腫瘍	腫瘍各論	沢辺 元司, 副島 友莉恵
8	5/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室1	老化ほか	老化・先天異常・放射線障害	沢辺 元司, 副島 友莉恵
成績評価の方法 筆記試験(小試験、定期試験)によって評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 授業の前に講義内容について、下記の教科書を用いて事前学習すること						
教科書 スタンダード病理学／河原栄、滝澤登一郎 編大西俊造、梶原博毅、神山隆一 監修:文光堂、2009 Robbins Basic Pathology: with STUDENT CONSULT Online Access, 9e／Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster: Saunders, 2012						
他科目との関連 病理学は医学・医療の基本をなす分野であり、基礎(特に解剖・組織学、生理学、生化学)ならびに臨床科目とは密接に関連している。						
履修上の注意事項 自ら進んで学習し、医学・医療の基本である病理学を習得して欲しい。						
参照ホームページ 授業で用いた資料の多くは WebClass で公開するので自学自習に役立てること						
連絡先 沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 沢辺 元司オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3 号館 16 階						

時間割番号	012012					
科目名	微生物学					
担当教員	齋藤 良一、加藤 優子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
英文名:Medical microbiology						
主な講義場所						
保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等						
感染症の原因である微生物および微生物とその宿主(特に人間)との相互関係に関する学問である医学微生物学について学ぶ。また人間をとりまく環境中の微生物についても学習する。						
授業の到達目標(SBOs)						
微生物の示す生命現象および感染症を中心とした医学微生物の基礎的な事項について学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	微生物学総論(1)	微生物学の概念と歴史, 微生物細胞の形態と構造	齋藤 良一
2	4/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	微生物学総論(2)	微生物の分類・命名, 細菌の代謝, 細菌の培養	齋藤 良一
3	4/28	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	微生物学総論(3)	細菌の増殖・生残・死滅, 滅菌と消毒	齋藤 良一
4	5/19	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	微生物学総論(4)	微生物の遺伝, 環境と微生物	齋藤 良一
5	5/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	免疫	免疫, 微生物の病原因子, 宿主の感染に対する抵抗性	加藤 優子
6	6/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	化学療法薬	化学療法, 感染症の予防とコントロール	齋藤 良一
7	6/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	感染症学総論(1)	主な病原微生物(細菌と真菌)と感染症	齋藤 良一
8	6/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	感染症学総論(2)	主な病原微生物(ウイルス)と感染症	齋藤 良一
授業内容						
医学微生物学全般(細菌学, ウイルス学, 真菌学, 免疫学)にわたる基礎的な事項について講義を行う。感染症に関してもその概略を述べる。						
成績評価の方法						
出席状況、授業態度、定期試験により総括的評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示						
講義内容について予め教科書等で予習すること。						
他科目との関連						
生化学, 病理学, 公衆衛生学, 臨床医学(感染症学)などの科目と密接な関係を持っている。						
履修上の注意事項						
微生物学の範囲は広く, 講義時間数は限られているので, 講義内容の復習, 講義で詳しくふれなかった事項も個人学習すること。						
連絡先						
r-saito.mi@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
随時(必ず事前に連絡を入れること)						

時間割番号	012013						
科目名	栄養学						
担当教員	大久保 功子, 腰本 さおり						
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1		
英文名:Nutritional Sciences 担当教員:看護学専攻主任							
主な講義場所 保健衛生学講義室4(3号館7階)							
授業の目的、概要等 栄養学の基礎および臨床応用について講義する。							
授業の到達目標(SBOs) 人間は外部からエネルギーを取り入れ、体内で利用して活動している。この過程を解明する学問分野が栄養学である。個々の代謝は生化学、消化吸収は生理学の対象でもあるが、ここでは栄養素がどのようにして体内に入り利用されているのかという観点から学習する。健康人における栄養のあり方を学ぶことは疾病予防の上で重要であり、また一方で病気における栄養のあり方(病態栄養学という)を学ぶことも重要である。栄養学の目的はこれらを総合的に理解することである。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/31	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	栄養学: 栄養素の消化吸収	炭水化物・タンパク質・資質の消化吸収	本田 彰子	担当: 腰本さおり (前非常勤講師)
2	11/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	栄養学: 栄養素の意義	ビタミンミネラルの過剰症と欠乏症	本田 彰子	担当: 腰本さおり (前非常勤講師)
3	11/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	栄養学: 応用栄養学	ライフステージ別(乳児期～高齢期)の栄養	本田 彰子	担当: 腰本さおり (前非常勤講師)
4	11/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	栄養学: 病態栄養・臨床栄養	疾患別の栄養療法の基礎	本田 彰子	担当: 腰本さおり (前非常勤講師)
5	11/28	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	栄養学: 公衆栄養	国民栄養調査から見た我が国の現状	本田 彰子	担当: 腰本さおり (前非常勤講師)
6	12/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	栄養学: 栄養状態の判定	食事摂取基準	本田 彰子	担当: 腰本さおり (前非常勤講師)
7	12/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	栄養学: 栄養計算	一日の栄養摂取量の分析	本田 彰子	担当: 腰本さおり (前非常勤講師)
8	1/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	栄養学: 治療食作成	栄養指導と実地演習	本田 彰子	担当: 腰本さおり (前非常勤講師)
授業内容 中心的になるものは消化・吸収、食品と栄養価、栄養過剰・欠乏の問題などである。また糖尿病の栄養管理は栄養学の知識を十分に応用している代表的なものである。実際の治療については病態学で学ぶので、ここでは基本的な考え方を提示する。							
成績評価の方法 試験と演習のレポートで評価する予定。							
準備学習などについての具体的な指示 炭水化物、タンパク質、脂質の代謝に関係する消化酵素やホルモンについて復習をしておくこと。また自己の食事をもとに栄養価計算を行うので、自分の食生活の問題点を考察しておくこと。さらに、近年の食に関する社会的問題に関心を持って臨むこと。							
教科書 実践！臨床栄養：「治る力」を引き出す／東口 高志／編:医学書院, 2010 エッセンシャル臨床栄養学／佐藤和人, 本間健, 小松龍史 編:医歯薬出版, 2012							
参考書 食品成分表：便利な2分冊／香川芳子 監修:女子栄養大学出版部, 2013 食品 80 キロカロリーガイドブック：五訂増補見て覚える食品の栄養価／香川芳子 編:女子栄養大学出版部, 2007 糖尿病患者のための食品交換表／日本糖尿病学会編:文光堂							

他科目との関連

生理学, 生化学の知識を応用するものであり, それらの知識を整理しておく必要がある。また疾患とも密接に関連しており, 病態学と関連づけながら学ぶ必要がある。

履修上の注意事項

特になし。

時間割番号	012014					
科目名	病態学					
担当教員	大久保 功子					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	5	
英文名: Clinical Medicine						
主な講義場所						
保健衛生学講義室1(3号館18階)および保健衛生学講義室4(3号館7階)						
授業の目的、概要等						
看護学では様々な健康障害をもつ人々に対する看護支援の方法を習得する。それを実現するためには、そのような健康障害をもたらす病態・疾病についての基礎知識を有することが必須である。病態学では、主として成人期における臓器・器官別の様々な病態について、その発症機序と症候・診断・治療の概要を学ぶ。成人期に照準を合わせたこの病態学の基礎知識は、異なる発達段階にある人々の病態を学ぶ上でも基本となるものである。						
授業の到達目標(SB0s)						
講義は内科学的、外科学的立場から、保健衛生学科教官の他、内科系、外科系関連教員により行われる。それらの講義を通じて医学分化の趨勢に触れるとともに、器官系統別に主要な病態について内科学的、外科学的視点を統合して発症機序と症候に対する理解を深め、患者の身体を統合的に把握する上での看護の役割の重要性を理解する。						
講義時間が少ないので自学実習により理解を確実にする態度を身に付けることが重要である。その経験を通して、他の発達段階にある場合の病態を理解する基盤とするとともに、臨地実習において講義を受けていない疾患の患者を受け持つ場合にも対応できるようにする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/14	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	病態学総論 内科総論	・病態学の考え方と看護における意義 ・内科学的概要および内科的診断・治療の基本的考え方	窪田 哲朗
2-3	4/16	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	呼吸器内科①②	・呼吸器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	立石 知也
4	4/21	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	膠原病内科①	・膠原病の病態と症候・機序、診断法と治療	窪田 哲朗
5	4/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室2	膠原病内科②	・膠原病の病態と症候・機序、診断法と治療	窪田 哲朗
6-7	4/23	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	腎臓内科①②	・腎疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療、透析療法	油井 直史
8	4/28	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	放射線①	・放射線による画像診断の意義と方法	大橋 勇
9-10	4/30	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	血液内科①②	・血液疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	小山 高敏
11-12	5/2	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	神経内科①②	・神経系疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	石川 欽也
13-14	5/14	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	循環器内科①②	・循環器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	笹野 哲郎
15	5/19	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	内分泌・代謝①	・内分泌疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	
16	5/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	消化器内科①②	・消化器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	井津井 康浩
17	5/21	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	消化器内科①②	・消化器疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	和田 祥城
18	5/26	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	内分泌・代謝②	・代謝疾患の病態とその症候・機序、診断法と治療	吉本 貴宣
19-20	5/28	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	外科総論①②	・外科学的概要および相互の関係	佐藤 健次
21	6/2	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	麻酔①	・手術麻酔	田中 直文
22-23	6/4	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	外科総論③④	・腫瘍総論・各論、診断・手術術式	佐藤 健次

24	6/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	心臓血管外科	・心臓疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	水野 友裕
25-26	6/11	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	外科総論⑤⑥	・潰瘍総論・各論、診断、手術術式 ・手術補助療法、臓器移植、医療過誤	佐藤 健次
27-28	6/18	14:40-17:50	保健衛生学科講義室4	泌尿器科①②	・男性生殖器と尿路疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	吉田 宗一郎
29	6/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	呼吸器外科	・肺疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	藤原 直之
30	6/23	16:20-17:50	保健衛生学科講義室1	予備		
31	7/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	放射線②	・放射線による治療の意義と方法	林 敬二
32	9/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	乳腺外科	・乳房疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	中川 剛士
33	9/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	上部消化管外科①	・胃疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	藤森 喜毅
34	10/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	肝胆膵外科	・肝・胆・膵疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	工藤 篤
35	10/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	下部消化管外科	・下部消化管疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	小林 宏寿
36	10/6	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	上部消化管外科②	・食道疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	川田 研郎
37-38	10/20	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	皮膚科①②	・皮膚疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	高山 かおる
39-40	10/27	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	婦人科①②	・婦人科疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	若林 晶
41-42	11/10	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	耳鼻咽喉科①②	・耳鼻咽喉科領域疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	高橋 正時
43	11/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	整形外科①②	・脊椎疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	川端 茂徳
44	11/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	整形外科①②	・四肢骨・関節疾患、外傷の病態と症候、機序、診断法、手術療法	神野 哲也
45	12/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	眼科	・眼球疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	堀江 真太郎
46	12/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	血管外科	・血管疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	工藤 敏文
47	12/8	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	麻酔②	・ペインクリニック	舩田 昭夫
48-49	12/15	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	脳外科①②	・中枢神経系疾患の病態とその症候・機序、診断法、手術療法	稲次 基希
50	12/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4	予備		

授業方法

(注) 予定担当者は昨年度実績であり、講師の異動や救急業務に伴い講師名および講義日の変更が生じる場合がある。

授業内容

- (1) 内科的診断・治療の基本的考え方について理解する。
- (2) 内科的治療を要する主要疾患について、器官系統別の自然経過、病態、検査・診断および治療の概要を理解する。
- (3) 外科的治療を要する疾患について、共通する病態および基本的処置・管理について理解する。
- (4) 外科的治療を要する疾患について、器官系統別の自然経過、病態、検査・診断、手術・治療、および術前・術後管理の概要を理解する。

成績評価の方法

学期末筆記試験により評価する。

各講師より出題されるので、全ての総合知識が要求される(内科・外科各100問以上出題)。

準備学習などについての具体的な指示 教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。
他科目との関連 看護の対象となる人々の疾患や障害を理解するためには、解剖学、生理学、病理学の知識を基盤にして病態を理解する必要がある。病態学では、単なる知識の集積にとどまらず、これら専門基礎科目で学習した事柄を関連づけて考えることが重要である。
履修上の注意事項 教科書・参考書の該当箇所について予習をして臨むこと。

割番号	012015					
科目名	英文講読Ⅰ					
担当教員	稲田 俊一郎					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
英文名:English for NursingⅠ						
担当教員:看護学専攻主任						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)						
授業の目的、概要等						
指定した教科書を用い、医療上の様々な問題を扱った文章を講読する。						
授業の到達目標(SBOs)						
医療に関する基本的な英語を学ぶ。まずは、医療全般についての話題を扱った英文に慣れることが重要である。これまで身につけた英語の基礎能力と医療知識を活用しながら、さらに分野ごとに仔細に提供される情報を読み取り、正確に全体の内容を理解できることが授業の目標である。一文ずつ丁寧に読みながら英語の文法事項を確認することはもちろん、文章の構成にも着目し、読むコツを学ぶ。また、医療に関する語彙も着実に増やしていきたい。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	ガイダンス	稲田 俊一郎
2	4/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	Listening/Speaking 指導	稲田 俊一郎
3	4/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第1課	稲田 俊一郎
4	4/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第2課	稲田 俊一郎
5	5/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第3課	稲田 俊一郎
6	5/12	14:40-17:50	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	TOEFL/ITP	稲田 俊一郎
7	5/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第4課	稲田 俊一郎
8	5/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第5課	稲田 俊一郎
9	5/28	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第6課	稲田 俊一郎
10	6/4	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第7課	稲田 俊一郎
11	6/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第8課	稲田 俊一郎
12	6/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第9課	稲田 俊一郎
13	6/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第10課	稲田 俊一郎
14	7/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	テキスト第11課	稲田 俊一郎
15	7/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	総復習	稲田 俊一郎
16	7/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	英文講読Ⅰ	期末テスト	稲田 俊一郎
授業内容						
医療現場で働くさまざまな医療系技術者を目指す学生のために編まれたテキストを用います。“The Problems of the Japanese Healthcare”や“Why Is Team Medical Treatment Necessary?”といった一般的なトピックから“Physical Therapy”や“Speech-Language Therapy as a Vocation”といった医療系特有のトピックを、英文を通して学習していきます。基本的に1週で1 Unit 読み進め、文章を精読するほか、内容理解についての問題演習やエクササイズを行います。また、補助教材(リスニングCDやビデオなど)を随時用いて、学習した重要な単語や英語表現を利用した簡単なリスニングの練習を行う予定です。						
成績評価の方法						
出席点、平常点(小テストの点数および授業への参加度)、学期期末試験、TOEFL/ITP の結果。以上を総合的に評価する。パーセンテージなどの詳細は授業で明らかにする。						
準備学習などについての具体的な指示						
予習を前提として授業を行う。辞書で単語を調べる際は必ず用例も合わせて参照し、文章を「自分で理解できる(＝普段使っている自分の言葉・自然な日本語で内容を他人に説明できる)」まで読んでくることが大事である。また、辞書を必ず持参すること。						
他科目との関連						
英語に触れる可能性のある他のすべての科目と関連があると言える。						
履修上の注意事項 5月12日実施のTOEFL/ITPの受験は必須である。また、TOEFLのスコアは海外研修派遣等の応募の際に必要であり、選抜にはスコアの基準があることを理解して受験の準備をすること。						

時間割番号	012030					
科目名	実践看護英語					
担当教員	丸 光恵					
開講時期	前期	対象年次	2～3	単位数	1	
英文名:Practicum of English for Nursing						
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等 看護・医療職を必要とする国際組織や海外の医療・研究・教育機関における研修・留学を行うにあたって、看護学生に求められる英文読解と英作文、および英語によるコミュニケーション能力を養う						
授業の到達目標(SB0s) 国際組織や海外の医療・教育・研究機関において日常的に用いられる看護および医療専門用語の語彙力および情報収集・分析能力を習得する。講義および演習をすべて英語で行い、国際社会で必要とされるプレゼンテーション能力を含めた総合的コミュニケーション能力を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	国際社会における看護職看護職の役割	丸 光恵
2	5/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 1	Janelle Renee Moross
3	5/21	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 2	Janelle Renee Moross
4	5/28	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 3	Janelle Renee Moross
5	6/4	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 4	Janelle Renee Moross
6	6/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 5	Janelle Renee Moross
7	6/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 6	Janelle Renee Moross
8	6/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 7	Janelle Renee Moross
9	7/2	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	看護学生による英語プレゼンテーションとディスカッションテーマ「看護国際人としての自分:将来展望と課題」	丸 光恵
10	7/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	看護学生による英語プレゼンテーションとディスカッションテーマ「看護国際人としての自分:将来展望と課題」	丸 光恵
授業方法 *6月27日はプレゼンテーション準備のための自己学習・個別指導日とする。						
成績評価の方法 ・出席および学生プレゼンテーション						
準備学習などについての具体的な指示						
履修上の注意事項 ・2年生および3年生の中から選抜20-30名とする。応募者が多数の場合は直近のTOEFLスコアを参考とし、3年生を優先して選抜する。 ・本科目は卒業要件の単位には含まれない。 ・海外研修選考に際し、本科目の受講受状況や成績を参考資料とする場合がある。 ・講師の都合等により日時が変更となる場合があるので注意すること。						

時間割番号	012016					
科目名	専門基礎合同演習					
担当教員	沢辺 元司, 星 治					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
英文名: Practice of Medical Sciences						
主な講義場所 保健衛生学実習室3(3号館7階)						
授業の目的、概要等 本学科の特徴をいかすべく、平成 11 年度から発足した大綱化カリキュラムに必修科目として組み入れられた新科目で、看護学専攻の専門基礎科目についての実習を統合し、専門基礎合同演習として 8 回の実習を行う。						
授業の到達目標(SBOs) 専門基礎科目の解剖学、生理学、生化学、薬理学、病理学、微生物学の各担当科目について演習を行い、専門基礎科目を学んでいく上で基礎となる幅広い知識や技術を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/13	13:00-17:50	保健衛生学実習室	解剖学	骨学	星 治, 長 雄一郎
4-6	5/20	13:00-17:50	保健衛生学実習室	生化学	核酸の化学(DNA の抽出と精製)	鈴木 喜晴
7-9	5/27	13:00-17:50	保健衛生学実習室	生理学	心電図	笹野 哲郎
10-12	6/3	13:00-17:50	保健衛生学実習室	解剖学	解剖体実習見学	星 治, 長 雄一郎
13-15	6/10	13:00-17:50	保健衛生学実習室	病理学	病理解剖体肉眼観察	沢辺 元司, 副島 友莉恵
16-18	6/24	13:00-17:50	保健衛生学実習室	微生物学	細菌の培養	齋藤 良一
19-21	7/1	13:00-17:50	保健衛生学実習室	微生物学	細菌の染色	齋藤 良一
成績評価の方法 各演習科目において、試験、提出レポート、標本スケッチ等により、担当教員が個々に成績評価をおこなった後、生体検査科学専攻主任が総合的に判定をおこなう。						
準備学習などについての具体的な指示 随時、各担当教員より指示する。						
他科目との関連 基礎ならびに専門の看護学に関係する全ての科目に関連している。						
履修上の注意事項 全演習の出席を原則とする。演習に関しての詳細は各担当教員に確認すること。実習は白衣着用のこと。						
連絡先 沢辺 元司:m.sawabe.mp@tmd.ac.jp 星 治:o-hoshi.aps@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 沢辺 元司:オフィスアワーは特に定めないが、事前にメールなどで連絡してから訪問すること 湯島キャンパス 3 号館 16 階 星 治:オフィスアワーは特に定めない。事前にメールで連絡を。 湯島キャンパス3号館16階						

時間割番号	012017					
科目名	医療情報学					
担当教員	大久保 功子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
英文名:Medical Informatics 担当教員:看護学専攻主任						
主な講義場所 情報検索室(M&Dタワー4階)						
授業の目的、概要等 今日の医療の発展には、高度な情報科学の進歩が寄与しているといっても過言ではない。よって、医療の現場においても、情報科学がもたらした成果を十分理解し、それを十分活用できるように心がけておくべきである。よって、本学では教養部から一貫したシラバスに基づく情報教育を目指している。 本科目では、看護分野における医療情報の関わりを中心に、より基礎的な応用ソフトウェアの実習から最先端の生命情報学までレクチャーし、また実習を行う。						
授業の到達目標(SB0s) 日々進歩の激しい情報化社会の中で、看護分野における医療情報を、早く正確に入手して理解し、活用できる基礎能力を修得できる事を目標とする。またパソコンの応用ソフトの実習を通して、情報化社会において基本的な情報リテラシーを修得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/23	13:00-14:30	情報検索室	医療情報学概論 病院情報システム	医療情報学の基礎を学ぶ。医療にどのように情報システムが取り入れられていったか、流行の医療ICTやクラウドなどについて、実例を通じて学ぶ。	大橋 渉
2	10/23	14:40-16:10	情報検索室	情報リテラシー 実習1	プレゼンテーションソフトの基礎的な操作実習を行う。	大橋 渉
3	10/24	13:00-14:30	情報検索室	生命情報学	プレゼンテーションソフトを利用して、実際のプレゼンテーションの方法を学ぶ。卒業研究や修士・博士論文、学会など研究の場面では必須である。	大橋 渉
4	10/24	14:40-16:10	情報検索室	情報リテラシー実習2	インターネットを利用した情報入手方法の実習を行う。また、情報発信についても学ぶ。	大橋 渉
5	10/30	13:00-14:30	情報検索室	遠隔医療	遠隔医療の歴史と現状を紹介し、なぜこのような医療が必要なのかを講義する。	大橋 渉
6	10/30	14:40-16:10	情報検索室	情報化社会のセキュリティ	インターネットを中心とするセキュリティ問題(コンピュータウィルス・盗聴等)について説明し、情報化社会の中での医療における安全性への配慮・データ保護にも触れる。また、情報発信(ツイッターやブログ、SNSサービスなど)の倫理についても学習する	大橋 渉
7	11/6	13:00-14:30	情報検索室	医療文献の読み方と、検索方法	医療文献の意義や、読み方について学習する。また、医療文献の検索方法について学ぶ。	大橋 渉
8	11/6	14:40-16:10	情報検索室	情報リテラシー実習3	医療文献を実際に検索する実習を行う。	大橋 渉
成績評価の基準 1.出席点、2.発表の内容、3.試験の順番に総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 新聞・テレビなどマスメディア等で、先端的な事例が報告されることもあるので、日頃からこれらに関心を持つことが望ましい。特に情報発信については、ブログやツイッター、Facebook などの利用に関する倫理等について学ぶ予定なので、常日頃から情報発信時には問題意識を持っていること。また、プレゼンテーション用のソフトウェアである Power Point による実習が前半に実施されるので、簡単な取り扱い方法などを理解しておくことが望ましい。 実習では、実際にあるテーマについてプレゼンテーションを行ってもらう。						
参考書 電子カルテとIT 医療：これからの医療と病院運営のキーワードを解く／田中博 著.;エム・イー振興協会, 2007						

他科目との関連

情報科学(1年), 保健統計学(4年)などに関連が深い。

備考**その他**

医療情報学の土台である情報科学を理解するためには, コンピュータの基礎的な理解が必要である。そのためには, 実際にコンピュータに触ってみることが何よりも重要であろう。

本学では, 情報検索室(M&D タワー4階)や, 歯学部視聴覚研修室(歯科校舎棟6階)を, どの学部学生にも開放している。これらに設置されているパソコンを利用するなどして, 日頃からスキルアップを図ることが望まれる。

時間割番号	012018						
科目名	保健医療福祉制度論						
担当教員	森田 久美子						
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2		
英文名:Health and welfare System							
主な講義場所							
保健衛生学講義室4(3号館7階)							
授業の目的、概要等							
保健医療福祉制度は、関連する制度も含めると「社会保障制度」になる。社会保障とは、5つの社会保険(年金・医療・介護・雇用・労災)、福祉(児童・障害者・高齢者・女性などの社会的弱者対象)、生活保護、公衆衛生、医療体制と、大変幅広い分野からなる多種多様で複雑難解な制度である。しかし知識がないと申請できないという根本的な問題を抱えるため、社会保障教育が重要となる。 日本是世界一の超少子高齢社会になり、家族・地域の支えあい機能も低下して、個人の努力範囲を超える人生のリスクは高まっている。さらに世界大不況の影響で生活は不安定になり、雇用保険、生活保護などの受給者も増加している。老後や失業に備えて貧困を予防する社会保険加入が重要となるが、非正規社員の増加により社会保険のあり方も見直しを迫られている。 家族に代わる社会支援の割合が増しているが、長寿化で支援を受ける人が増加し、少子化で税金・社会保険料を負担して社会保障を支える現役世代は減少するという、財源的に厳しい時代に入った。このような受給バランスが崩れた社会において、社会保障制度を安定維持するには、あらゆる年齢の国民が健康寿命を意識し、生涯安定した収入を得ながら自立した生活ができる社会支援が必要になっている。 社会保障制度は、国民の人生・生活を安定させることで社会を安定・発展させる、車の両輪の役割を持っている。経済発展と社会保障教育で自立した国民を増やし、利用者のモラルを高めながら社会保障制度をより効果的に実施する「良い循環」をもたらす施策が求められる。							
授業の到達目標(SB0s)							
保健医療福祉に携わる専門職の対象は「人」であり、傷病・要介護・障害・失業・貧困など様々な複合リスクとニーズを抱えている。それを的確に把握して、尊厳も大切にしながら信頼関係を築き、多様な社会サービスにつなげることで、利用者主体の自立を支援する重要な職種である。またチーム医療の時代に入り、他の医療職や福祉職・ボランティアとの連携も重要になっており、地域福祉も含めた社会保障制度の知識とコミュニケーション能力が求められる。 ネットワークの中で、社会的弱者の実態把握、必要な自立支援を検討することにより総合的・効果的な支援ができる医療職を目指す。また患者・要介護者あつての医療職であることを忘れず、知識・技術の研鑽を積み続けると同時に「支援させていただく」という意識も大切にしたい。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1～2	10/1	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「総論・健康と公衆衛生」 社会・家族の変化、人口動態、人口静態、超少子高齢化の現状と社会保障の重要性・今後の課題、感染対策、地球環境の保護 他	森田 久美子	
3～4	10/8	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「公的年金制度」障害年金・遺族年金・老齢年金、公的年金の課題、各種年金基金他	内田 厚子	
5～6	10/22	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「公的医療保険制度・医療体制の整備」日本の医療保険の特徴、歴史、職業別の健康保険制度、保険料と国庫負担、高額療養費制度、診療報酬、長寿医療制度、傷病・出	内田 厚子	

					産手当、医療体制、過剰病床問題。医師・看護師の不足・偏在、医療事故。医薬品と副作用被害救済他			
7～8	10/29	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「児童福祉制度・障害者福祉制度」児童福祉の歴史、少子化対策、保育所・学童保育の整備、社会的養護の種類、児童虐待、1人親家族の支援、障害者の自立支援サービスの種類と利用負担、共生社会の実現、就労支援、各優遇制度他	内田 厚子		
9～10	11/5	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「公的介護保険制度」公的介護保険が必要な背景、介護保険の目的・仕組み・現状、制度改正の変遷、介護認定、介護予防・介護給付の違い、介護の専門職種、保険料の地域格差、利用負担、低所得者の負担軽減、高額介護サービス費、介護報酬 他	森田 久美子		
11～12	11/12	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「高齢者福祉制度・生活保護制度・低所得者対策」介護保険以外の生活支援、入所施設の種類の、自治体独自の制度、虐待の現状、低所得者の負担軽減、社会福祉協議会、民生委員、成年後見制度 他	内田 厚子		
13～14	11/19	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「雇用保険・労災」雇用状況、労働力・失業率の動向、雇用保険のしくみ、業務災害補償制度、労災保険の対象者・保険料、労災の認定基準 他	内田 厚子		
15～16	11/26	13:00-16:10	保健衛生学科講義室4	保健医療福祉制度論	「海外の社会保障制度・まとめ」先進諸国の年金・医療・雇用・労災・介護・子育て支援を比較することで、日本の制度を見直す視点にする。国民性・歴史・為替変動を考慮する。	内田 厚子、 森田 久美子		

成績評価の方法 学期末筆答試験、レポートなどにより評価する。
準備学習などについての具体的な指示 保健医療福祉制度に関連するニュース、新聞記事などには必ず目を通し、最新の情報を得るように努めること。
他科目との関連 地域看護学、地域精神看護学、老年看護学、保健統計学、看護管理学・看護経済論などの分野と一部内容が重複するが、各制度の全体像を体系的に把握して整理しておくことが医療職として重要である。
履修上の注意事項 保健医療福祉制度は頻繁に改正されるため、常に最新情報を収集できるよう関心を持ち続け、幅広い相談に乗れる医療専門職をめざす。就職後の自分の人生にも役立つ。
連絡先 morita.phn@tmd.ac.jp

時間割番号	012070					
科目名	国際保健福祉					
担当教員	大久保 功子					
開講時期	通年	対象年次	2～4	単位数	1	
英文名: Global Health and welfare						
授業の目的、概要等						
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性、および国際感覚を養う。						
授業の到達目標(SB0s)						
研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告会で適切に説明することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	本田 彰子
授業方法						
海外研修						
授業内容						
希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等。						
成績評価の方法						
研修前の準備						
研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況						
研修報告会における発表状況						
研修報告書						
準備学習などについての具体的な指示						
研修で困らない語学力を身に付けておくこと						
TOEFL による語学評価を受けておくこと						
グローバル人材推進事業による海外派遣前教育プログラムが提供される場合は必ず参加すること						
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等々の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること。						
他科目との関連						
国際保健看護学						
履修上の注意事項						
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと。 4月9日(水)16時20分～合同オリエンテーションに参加すること。						

時間割番号	012019					
科目名	基礎看護学Ⅱ					
担当教員	齋藤 やよい					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
英文名: Fundamental Nursing II						
主な講義場所 保健衛生学講義室4(3号館7階)および看護実習室1および2(3号館17階)						
授業の目的、概要等 看護学専門科目に共通する基本技術を学ぶ。						
授業の到達目標(SB0s) 日常生活行動の援助を中心に、技術の科学的根拠となる基礎的知識と具体的な方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	環境	入院患者の病床環境について学ぶ。	齋藤 やよい、 大黒 理恵
2	4/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	看護と人間工学	ボディメカニクスと看護活動。身体の機能的・効率的な活用の仕方の基盤となる知識を人間工学的に学習し、看護ケアの中で活用する能力を養う。	齋藤 真
3	4/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	看護と人間工学	ボディメカニクスと看護活動。身体の機能的・効率的な活用の仕方の基盤となる知識を人間工学的に学習し、看護ケアの中で活用する能力を養う。	齋藤 真
4	4/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	看護と人間工学	ボディメカニクスと看護活動。身体の機能的・効率的な活用の仕方の基盤となる知識を人間工学的に学習し、看護ケアの中で活用する能力を養う。	齋藤 真
5	5/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	衣生活	入院患者における衣服の意義、寝床環境を理解し、適切な衣服や寝床環境の選択方法を学ぶ。	齋藤 やよい、 大黒 理恵
6	5/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	身体の清潔	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい、 大黒 理恵
7	5/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	安全	医療事故の現状と患者の権利と責務を理解し、安全や安楽を確保するための基礎能力を養う。	齋藤 やよい、 大黒 理恵
8	5/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	感染看護	感染予防の実際。Infection Control の実際を学び、事故を防止し、安全を確保するための基礎能力を養う。	齋藤 やよい、 大黒 理恵
授業内容 * 日時および内容は変更する場合がある。 4/10(木)に配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。						
成績評価の方法 単元毎の課題レポート、学期末筆記試験、および出席状況により評価 学期末試験の約10%に英語を出題するので、教科書に英語も併記してある基本的用語は書けるようにしておくこと。						
準備学習などについての具体的な指示 講義日程を確認し、該当範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。						

他科目との関連 基礎看護学Ⅰ，基礎看護学演習Ⅰの他に，学習の基礎となる教養の自然科学系，社会学系の科目，特に人間科学，社会学，心理学，哲学などを学習しておく。
履修上の注意事項 看護学の基礎となる理論や概念を学ぶために，柔軟な思考力が必要となる。これまでの学習経験や生活体験，社会体験を踏まえ，幅広い分野の書物に触れ，社会情勢にも関心を持つことが望ましい。
連絡先 ysaito.frls@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週火曜日 AM.10:00-PM.1:00 3号館18階看護ケア技術開発学教授室

時間割番号	012020					
科目名	基礎看護学Ⅲ					
担当教員	齋藤 やよい					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1	
英文名: Fundamental NursingⅢ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)ほか						
授業の目的、概要等						
看護学専門科目に共通する問題解決の思考プロセスとして、看護過程を概念と展開の方法を学ぶ。						
授業の到達目標(SB0s)						
1)看護過程の役割と意義を理解する。						
2)看護過程のステップを理解する。						
3)看護実践における看護過程の展開方法を理解する。						
4)ビデオ事例を通した看護過程展開の実際を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	看護過程の定義	看護過程とはなにか、背景と特徴 看護過程と問題解決方法(POS)との関係	齋藤 やよい
2	5/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	看護過程の構成要素	看護過程の5つの構成要素とその課題	齋藤 やよい
3	5/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	看護過程の展開(1)	看護の観察と分析 看護診断と看護診断名	齋藤 やよい
4	5/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	看護過程の展開(2)	目標(成果)と計画立案 調整、実施、記録(目的と種類) 問題の達成評価	齋藤 やよい
5	6/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	看護過程の展開(3)	看護診断	齋藤 やよい
6	6/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	看護過程の展開(4)	看護診断	齋藤 やよい
7	9/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	事例による展開(1)	受け持ち患者の看護過程(グループワーク)	齋藤 やよい、 大黒 理恵
8	9/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	事例による展開(2)	受け持ち患者の看護過程(グループワーク)	齋藤 やよい、 大黒 理恵
授業内容						
＊日時および内容は変更する場合がある。4/10(木)に配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。						
成績評価の方法						
出席状況および基礎看護学実習Ⅱの受け持ち患者の実習記録用紙Ⅱ-1、2、3、4により評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
1)講義日程を確認し、当該範囲のテキストを読み、講義に臨むこと。						
2)事例による演習は、個人での看護展開をもとに進めるため、指定日までに各自で看護展開を行うこと。						
他科目との関連						
既習の専門知識と技術を看護実践の一連のプロセスの中に活かせるよう、これまで学習したすべての看護専門科目をよく理解しておくこと。						
履修上の注意事項						
講義と事例による演習を並行して行う。受け持ち患者の看護体験をもとに、個々の看護過程を振り返る。あらゆる看護実践の基盤となる思考プロセスの学習であり、グループワークに積極的に参加することで、理解を深めること。						
連絡先						
ysaito.frls@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
毎週火曜日 AM.10:00-PM.1:00 3号館 18 階看護ケア技術開発学教授室						

時間割番号	012021					
科目名	基礎看護学演習Ⅰ					
担当教員	齋藤 やよい					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2	
英文名:Seminar of Fundamental NursingⅠ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)および看護実習室1および2(3号館17階)ほか						
授業の目的、概要等						
全ての人に共通する看護実践の基礎的知識と技術を学習する科目である。ここでは日常生活行動の援助を中心に、看護技術を構成する知識、技能、態度の3要素を、演習を通して身につける。						
授業の到達目標(SBOs)						
基礎看護学Ⅰ・Ⅱで学んだ、看護の概念や看護ケアの方法を、実際のケアに活かせるよう演習する。演習はグループ単位に行い、看護を必要とする人々の生活理解に基づき、ニーズをアセスメントし必要なケアを計画、実施する。また、援助の科学的根拠を追求する姿勢を養い、知識を活用して、考えながら行動するための基本的な技能と態度を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	ベッドメイキング・環境整備	入院患者の病床環境の調整を行なうための方法と、ベッドメイキングの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
2	4/10	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	ベッドメイキング・環境整備	入院患者の病床環境の調整を行なうための方法と、ベッドメイキングの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
3	4/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	身体の観察Ⅰ	生命の徴候を客観的に観察し、情報を収集する方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
4	4/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	バイタルサインの観察	呼吸・体温・血圧・脈拍測定の方法を学び、測定値の示す意味とその変動条件について理解する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
5	4/11	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	バイタルサインの観察	呼吸・体温・血圧・脈拍測定の方法を学び、測定値の示す意味とその変動条件について理解する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
6	4/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	運動	入院患者における運動の意義を理解し、身体各部の構造に合わせた運動への援助方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
7	4/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	体位変換	基本的な安楽な体位の保持、体位変換、移動(移送)の方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
8	4/17	16:20-17:50	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	移送・移動	基本的な安楽な体位の保持、体位変換、移動(移送)の方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
9	4/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	看護とコミュニケーションⅠ	コミュニケーションの理論と看護技術としてのコミュニケーション方法を学ぶ。	江龍 伸子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
10	4/24	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	看護とコミュニケーションⅠ	コミュニケーションの理論と看護技術としてのコミュニケーション方法を学ぶ。	江龍 伸子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
11	5/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4, 看護学実習室1, 看護学実習室2	寝衣交換	適切な衣服選択と衣服着脱の援助方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵

12	5/1	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	シーツ交換	適切な就床患者のシーツ交換の方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
13	5/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	清潔ケア(全身清拭)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
14	5/8	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	清潔ケア(陰部洗浄・おむつ交換)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
15	5/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	清潔ケア(洗髪)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
16	5/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	清潔ケア(手・足浴)	入院患者における清潔の意義を理解し、身体各部位の構造・機能に基づいた清潔ケアの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
17	5/16	13:00-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術試験 I	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
18	5/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術試験 I	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
19	5/16	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術試験 I	習得した技術の到達レベルを評価する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
20	5/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	食生活	入院患者における食事の意義と栄養補給、健康について理解し、食事援助方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
21	5/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	食事介助・口腔ケア	食事援助方法と口腔の清潔を保持する方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
22	5/22	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	食事介助・口腔ケア	食事援助方法と口腔の清潔を保持する方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
23	5/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	無菌操作・手洗い・ガウンテクニック	手洗い、滅菌手袋の装着、ガウンテクニック、滅菌物の取り扱いの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
24	5/29	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	無菌操作・手洗い・ガウンテクニック	手洗い、滅菌手袋の装着、ガウンテクニック、滅菌物の取り扱いの方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
25	6/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	グループワーク	前期を通じて学んだ看護技術について、グループワークを行う	齋藤 やよい, 大黒 理恵
26	6/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	グループワーク	前期を通じて学んだ看護技術について、グループワークを行う	齋藤 やよい, 大黒 理恵
27	6/12	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	グループワーク	前期を通じて学んだ看護技術について、グループワークを行う	齋藤 やよい, 大黒 理恵

28	6/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	身体の観察Ⅲ	看護活動に必要な全身の系統的な 観察方法とアセスメント方法を学 ぶ。	千明 政好, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
29	6/19	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	クリティカルケア・危険予知	看護活動に必要な全身の系統的な 観察方法とアセスメント方法を学 ぶ。	千明 政好, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
30	6/19	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	クリティカルケア・危険予知	看護活動に必要な全身の系統的な 観察方法とアセスメント方法を学 ぶ。	千明 政好, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
31	6/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価 する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
32	6/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価 する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
33	6/27	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価 する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
34	7/4	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	身体の観察Ⅱ	看護活動に必要な全身の系統的な 観察方法とアセスメント方法を学 ぶ。	中山 栄純 齋藤 やよい, 大黒 理恵
35	7/4	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	フィジカルアセスメント	看護活動に必要な全身の系統的な 観察方法とアセスメント方法を学 ぶ。	中山 栄純 齋 藤 やよい, 大 黒 理恵
36	7/4	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	フィジカルアセスメント	看護活動に必要な全身の系統的な 観察方法とアセスメント方法を学 ぶ。	中山 栄純 齋藤 やよい, 大黒 理恵
37	7/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価 する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
38	7/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価 する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
39	7/11	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	技術試験Ⅱ	習得した技術の到達レベルを評価 する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
40	9/4	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	看護とコミュニケーションⅡ	看護技術としてのコミュニケーショ ン方法を学ぶ。	江龍 伸子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
41	9/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	看護とコミュニケーションⅡ	看護技術としてのコミュニケーショ ン方法を学ぶ。	江龍 伸子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
授業内容 * 日時および内容は変更する場合がある。 4/10(木)に配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。						
成績評価の方法 演習の事前・事後レポート、実技試験、筆記試験、出席状況と演習参加の姿勢、身だしなみにより総合的に評価する。 筆記試験の約10%に英語を出題するので、教科書に英語も併記してある基本的用語は書けるようにしておくこと。						

準備学習などについての具体的な指示

- 1) 演習の事前レポートを期日までにすること。
- 2) 講義日程を確認し、該当範囲のテキストを読み、演習に臨むこと。
- 3) DVD 教材を視聴し、技術実施時の準備物品や実施手順、実施目的等を確認すること。

他科目との関連

既習の基礎看護学Ⅰ・Ⅱ、解剖学、生理学、薬理学、微生物学、生化学、栄養学などの科目との関連性が高い。また、これから開講されるすべての看護専門科目で学ぶ看護技術の基礎となる。

履修上の注意事項

- 1) 演習には指定されたユニフォームを着用し、身だしなみを調べてから参加する。
- 2) 未熟な技術は医療事故の大きな原因となる。看護技術は1回の演習で習得できるものではなく、繰り返しの学習や実践での応用によって身につくものである。したがって、1つ1つの技術の熟達度を高めるよう自助努力が必要である。視聴覚教材の活用や、実習室での自己・グループ学習に、積極的に参加すること。申し出があれば、必要に応じて実習室での自習も許可する。
- 3) すべての演習は、目的に応じた物品の準備と環境の調整から、実施、後かたづけ、評価の一連のプロセスで構成する。実習室内の環境を整備し、使用後の物品を放置することのないよう、常に現状復帰を心がける。
- 4) 出席を重視する。欠席などで未履修の単元は、友人の協力を得て自主的に学習すること。必要があれば、申し出により補習指導を受けることもできる。

連絡先

ysaito.fnls@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週火曜日 AM.10:00-PM.1:00 3号館 18階看護ケア技術開発学教授室

時間割番号	012022					
科目名	基礎看護学演習Ⅱ					
担当教員	齋藤 やよい					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1	
英文名:Seminar of Fundamental NursingⅡ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)および看護実習室1および2(3号館17階)ほか						
授業の目的、概要等						
健康障害をもった人々に対して行われる診療に伴う看護の方法を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
薬物療法に伴う看護, 検査に伴う看護を中心に診療に伴う看護の方法を身につける。演習はグループ単位に行う。対象の症状や病態, 心理的反応の理解に基づいたニーズのアセスメントを行い、必要な看護ケアをシミュレーターで実施する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/31	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	排泄	健康および生命維持における排泄の意義を理解し, 排泄に関する観察方法と, ニーズに応じた援助方法を学ぶ。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
2	10/31	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	尿器・便器の取り扱い 導尿・浣腸	排泄障害に伴う導尿と浣腸の方法を習得し、実施に伴う効果の評価方法や、副作用を理解する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
3	10/31	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	尿器・便器の取り扱い 導尿・浣腸	排泄障害に伴う導尿と浣腸の方法を習得し、実施に伴う効果の評価方法や、副作用を理解する。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
4	11/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	薬物療法と看護	薬物を取り扱う際の法的責任について知る。また、薬物の正しい管理や取り扱い、正しい与薬を実施するための知識を学ぶ。	後藤 孝子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
5	11/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	検査と看護	検査の種類、検査における看護師の役割を知り、適切な援助方法を学ぶ。	後藤 孝子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
6	11/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	注射法・経口与薬	各種与薬方法の特徴を理解し、適切な援助方法を学ぶ。	後藤 孝子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
7	11/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	注射法・経口与薬	各種与薬方法の特徴を理解し、適切な援助方法を学ぶ。	後藤 孝子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
8	11/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	採血	検査の実際として血液検査を取り上げ、血液検体の採取技術を学ぶ。	後藤 孝子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
9	11/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	採血	検査の実際として血液検査を取り上げ、血液検体の採取技術を学ぶ。	後藤 孝子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
10	12/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	グリーフケア	死を迎える対象および周囲の人々への理解を深める。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
11	12/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	グループワークⅠ	患者および療養環境における安全について、グループワークを行う。	齋藤 やよい, 大黒 理恵

12	12/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	看護とセクシュアリティ	セクシュアリティに関する理解を深め、看護実践の中で、対象と看護者のセクシュアリティを尊重した看護を考える。	大谷 真千子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
13	12/12	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	看護とセクシュアリティ	セクシュアリティに関する理解を深め、看護実践の中で、対象と看護者のセクシュアリティを尊重した看護を考える。	大谷 真千子, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
14	1/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	人間の尊厳	看護における人間理解について、生命の本質と看護との関わりについて学ぶ。	丹木 博一, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
15	1/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	人間の尊厳	看護における人間理解について、生命の本質と看護との関わりについて学ぶ。	丹木 博一, 齋藤 やよい, 大黒 理恵
16	1/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	グループワークⅡ	1年を通じて学習してきた看護技術について、グループワークを行う。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
17	1/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	グループワークⅡ	1年を通じて学習してきた看護技術について、グループワークを行う。	齋藤 やよい, 大黒 理恵
授業内容 * 日時および内容は変更する場合がある。 4/10(木)に配布する基礎看護学開講科目日程表を参照のこと。						
成績評価の方法 演習の事前・事後レポート、筆記試験、出席状況と演習参加の姿勢により総合的に評価する。 筆記試験の約 10%に英語を出題するので、教科書に英語も併記してある基本的用語は書けるようにしておくこと。						
準備学習などについての具体的な指示 1) 演習の事前レポートを期日までに行うこと。 2) 講義日程を確認し、該当範囲のテキストを読み、演習に臨むこと。 3) DVD 教材を視聴し、技術実施時の準備物品や実施手順、実施目的等を確認すること。						
他科目との関連 基礎看護学関連科目、応用看護学の概論、解剖学、生理学、薬理学、微生物学、生化学、栄養学などの科目との関連性が高い。						
履修上の注意事項 生体への侵襲を伴う技術であり、技術の未熟さが直接医療事故に結びつく。学生単独ではなく、必ず教員の指導の下で演習すること。その他、演習上の注意は基礎看護学演習Ⅰと同じ。						
連絡先 ysaito.fnls@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週火曜日 AM.10:00-PM.1:00 3号館 18階看護ケア技術開発学教授室						

時間割番号	012023					
科目名	基礎看護学実習Ⅱ					
担当教員	齋藤 やよい					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2	
英文名:Practice of Fundamental NursingⅡ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)、看護実習室1(3号館17階)医学部附属病院および歯学部附属病院、症例検討室						
授業の目的、概要等						
既習の知識・技術を統合し、対象の個別性を考慮した看護を実践するための方法を学ぶ。さらに、看護の実践を通して、看護の責務と態度について考える機会とする。						
この実習は、看護に共通する方法や技術を学習することを目的とし、続いて行われる領域別看護実習へ展開させる基礎となる。						
授業の到達目標(SB0s)						
1)受持患者の生活援助を中心とした看護過程を展開し、基礎的な看護技術を実施する。						
(1)対象を看護の視点でアセスメントする方法を学ぶ。						
(2)対象の個別性を重視した看護の方法を学ぶ。						
(3)日常生活上のニーズをとらえ、基礎的な看護技術を実施する。						
2)専門援助的な人間関係をつくる。						
(1)患者との関係を予測し、援助者としての自分を調える。						
(2)目標に向かって相互協力関係を成立させる。						
3)臨床場面における看護師としての責務と姿勢・態度を学ぶ。						
(1)事故を予防し安全を促進する責任を学ぶ。						
(2)感染防止の実践を学ぶ。						
(3)生命の尊厳とプライバシーの保護の方法と重要性を学ぶ。						
4)学生としての適切な態度・行動をとる。						
(1)患者・家族との適切なコミュニケーションをとる。						
(2)看護チームとの連携をとる。						
(3)他者からの評価を受け入れ、次の行動に活かす。						
(4)カンファレンスに積極的に参加する。						
(5)適切な言葉遣いをする。						
(6)身だしなみがよく、清潔感がある。						
(7)記録が適切であり、期限内に提出する。						
(8)収集した医療看護情報を、適切な時期に報告・伝達する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/4	13:00-17:50	保健衛生学科講義室4、看護学実習室1、看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい、大黒 理恵
4-8	9/5	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4、看護学実習室1、看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい、大黒 理恵
9-13	9/8	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4、看護学実習室1、看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい、大黒 理恵
14-18	9/9	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4、看護学実習室1、看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい、大黒 理恵
19-23	9/10	08:50-17:50	保健衛生学科講義室4、看護学実習室1、看護学実習室2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい、大黒 理恵

24-28	9/11	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
29-33	9/12	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
34-38	9/16	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
39-43	9/17	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 4, 看護学実習室 1, 看護学実習室 2	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
44-45	9/18	08:50-12:00	症例検討室	基礎看護学実習Ⅱ	詳細は実習要項参照	齋藤 やよい, 大黒 理恵
授業方法 〔実習対象〕 基礎看護学Ⅰ、基礎看護学Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰの単位を修得した者 〔実習期間〕 9月4日(木)～9月18日(木)						
授業内容 詳細については、後日配布する実習要項に提示する。						
成績評価の方法 1) 単位認定は、実習時間3/4以上の出席をもって行う。 2) 遅刻および早退は時間の長さに関わらず、2回で1日の欠席とみなす。						
成績評価の基準 病棟実習評価表、実習記録、出席状況および実習態度などにより総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 1) 基礎看護学実習の実習要項を読み、基礎看護学実習Ⅱの目的・目標を理解し、自身の目標を立てること。 2) 基礎看護学Ⅱおよび基礎看護学演習Ⅰで学習した看護および看護技術について、復讐をすること。 3) 夏休み期間中の看護学実習室の使用を認める(要申請)ので、各自で十分に練習を行うこと。						
連絡先 ysaito.fnls@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 毎週火曜日 AM.10:00-PM.1:00 3号館 18階看護ケア技術開発学教授室						

時間割番号	012024					
科目名	成人看護学Ⅰ					
担当教員	井上 智子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2	
英文名:Adult Health NursingⅠ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)ほか						
授業の目的、概要等						
成人看護学は、Ⅰ～Ⅲで構成している。そのうち、Ⅰは成人期にある人々の特徴を理解し、外科的治療および内科的治療を必要とする患者の急性期から回復期、および慢性期にいたる疾病段階にある人々に対して必要な看護の原則について講義を通して学ぶ。これを通して、健康障害のある患者の看護を身体系統別に理解する上での基礎的知識を養う。						
授業の到達目標(SBOs)						
1)成人期にある人々の特徴を理解できる。						
2)成人期の健康問題とその影響、必要な看護ケアを理解できる。						
3)外科的・内科的治療を必要とする患者の看護ケアを理解できる。						
4)回復期、慢性期、退院に関する看護ケアを理解できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	成人看護学概論(1)	オリエンテーション・成人期の特徴と成人各期の理解	井上 智子
2	4/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	成人看護学概論(2)	成人の健康問題と健康生活を促す看護	井上 智子
3	4/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(1) (術前の看護①)	手術を受ける患者の身体および心理的特徴の理解	矢富 有見子
4	5/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(2) (術前の看護②)	術前における看護に実際 (術前指導・検査看護ほか)	矢富 有見子
5	5/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(3) (術中の看護)	手術室看護師の役割と看護の実際	矢富 有見子
6	5/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(4)(術後の看護①)	術後急性期における看護 (観察、全人的アセスメント、合併症予防、回復促進のためのケアについて)	川本 祐子
7	5/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	手術患者の看護(5)(術後の看護②)	術後回復期における看護 (後障害への適応に向けた看護の役割と家族支援について)	川本 祐子
8	6/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	慢性病患者の看護(1)	慢性病の動向、慢性病患者の特徴の理解	内堀 真弓
9	6/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	慢性病患者の看護(2)	慢性病患者の生活支援方法とQOLについて	内堀 真弓
10	6/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	救急看護	本邦における救急医療システムと看護の役割	佐々木 吉子
11	6/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	がん看護(1)	がん患者を取り巻く諸問題と看護の展望	亀田 真美
12	6/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	がん看護(2)	がんの治療の特徴(特に化学療法と放射線療法)と治療の伴うさまざまな問題、看護支援について	小澤 桂子

13	6/23	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	退院支援(1)	退院調整活動の理解	吉田 千文
14	6/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	退院支援(2)	退院調整活動の実際	吉田 千文
15	6/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	災害看護	災害サイクルにおける看護の役割	佐々木 吉子
成績評価の方法 学期末筆記試験、および課題レポートにより評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
履修上の注意事項 解剖・生理学、病態学を習得のこと。						
備考 その他 授業日程、内容は変更することがある。						

時間割番号	012025					
科目名	成人看護学Ⅱ					
担当教員	井上 智子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2	
英文名:Adult Health NursingⅡ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)						
授業の目的、概要等						
既習の病態学および成人看護学Ⅰをもとに、身体系統別の健康障害を有する成人期にある人々を理解し,それらの人々に対しての具体的な看護支援方法を学ぶ。						
授業の到達目標(SB0s)						
アセスメント, 一般的看護問題とその成因および看護活動が理解できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	呼吸器系障害患者の看護(1)	「基礎編」	矢富 有見子
2	10/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	呼吸器系障害患者の看護(2)	「実践編」	矢富 有見子
3	10/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	循環器系障害患者の看護(1)		三浦 美恵
4	10/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	循環器系障害患者の看護(2)		三浦 美恵
5	10/31	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	腎障害患者の看護		斉藤 しのぶ
6	11/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	泌尿器系障害患者の看護		三村 昭美
7	11/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	女性生殖器系障害患者の看護		川本 祐子
8	11/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	感覚器系障害患者の看護		花出 正美
9	11/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	内分泌・代謝系障害患者の看護		内堀 真弓
10	11/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	運動器系障害患者の看護		佐々木 吉子
11	12/2	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	消化器系障害患者の看護(1)	「肝胆脾編」	小池 智子
12	12/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	消化器系障害患者の看護(2)	「管腔臓器編」	川本 祐子
13	12/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	膠原病・難病患者の看護		川瀬 祥子
14	1/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	脳神経系障害患者の看護(1)	「急性期看護」	矢富 有見子
15	1/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	脳神経系障害患者の看護(2)	「回復期・慢性期看護」	矢富 有見子
成績評価の方法						
学期末筆記試験, および課題レポートにより評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
他科目との関連						
前期での成人看護学Ⅰ(概論)および解剖・生理学, 病態学の授業内容をよく理解しておくこと。						
履修上の注意事項						
解剖学, 生理学, 病態学, 薬理学との知識を統合させながら, 講義内容の理解に努めること。						
備考						
その他						
授業日程, 内容は変更することがある。						

時間割番号	012026					
科目名	精神看護学					
担当教員	田上 美千佳					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2	
英文名:Psychiatric Nursing						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)ほか						
授業の目的、概要等						
精神看護学の前提となる精神科診断学、治療学等の精神医学的な知識をと共に、精神科リハビリテーション、リエゾン精神医学、司法精神医療等、精神医療の関連領域におけるアセスメントとセラピーの方法とその理論的背景について学ぶ。併せてそれらの内容を看護学の視点から吟味し、再構成を図る。						
授業の到達目標(SBOs)						
精神的な機能の障害を精神医学的な疾患論、病理学、障害学、診断学に基づいて評価する方法や、薬物療法、精神療法、芸術療法などによって回復をもたらす方法について学ぶ。また、精神医療システムの中で看護職が保健医療チームの一員として、それらの知識や方法を看護的援助に生かしながら、どのような役割をとっていく必要があるかについて考察を深める。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	精神障害の成因と分類	精神的機能の障害と精神病理、精神疾患の分類と国際障害分類 ライフサイクルと精神保健	田上 美千佳
2	10/2	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	器質性精神病の診断と治療	意識障害と精神症状、せん妄、健忘その他の認知障害、身体疾患による精神症状	竹内 崇
3	11/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	統合失調症の診断と治療	統合失調症の概念、病型(解体型、緊張型、妄想型等)、症状、診断、経過、治療	山本 直樹
4	11/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	気分障害の診断と治療	気分障害の概念、うつ状態と躁状態、気分障害の治療	上里 彰仁
5	11/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	てんかんの診断と治療	てんかんの発作と分類、てんかん性精神障害、脳波検査法	原 恵子
6	11/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	生物学的精神医学の到達点	脳科学、分子生物学の進歩による精神科治療の発展とその可能性	西川 徹
7	11/27	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	精神科の薬物療法	向精神薬の薬理作用と副作用、抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬	車地 暁生
8	11/27	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	神経症と人格障害の診断と治療	神経症の概念、不安障害、強迫性障害、転換性障害、心気症／人格障害の概念、類型、経過、人格障害の患者との治療的接触	大島 一成
9	12/4	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	小児期に発症する行動・情緒障害の診断と治療	発達障害・素行障害の概念、診断、治療・支援	鈴木 俊介
10	12/4	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	アディクションの診断と治療 精神医学と精神看護学(1)	精神作用物質使用による障害と治療・援助 治療共同体と集団精神療法	渡邊 敦子
11	12/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	精神医学と精神看護学(2)	精神疾患患者への支援(精神療法、心理教育、セルフケア支援、家族支援、家族心理教育、認知行動療法、治療共同体と集団精神療法)	田上 美千佳

12	12/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	精神医学と精神看護学(3)	精神看護学サブスペシャリティ、精神科身体合併症看護、司法に関連する精神看護学	美濃 由紀子
13	12/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	絵画療法の実際(1)	キミ子方式による絵画療法の理論と実際(1)	松本 一郎
14	12/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	絵画療法の実際(2)	キミ子方式による絵画療法の理論と実際(2)	松本 一郎
15	1/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	リエゾン精神医学	リエゾン精神医学の歴史と概念、身体疾患患者の持つ精神的な問題、リエゾン精神科医の役割	松島 英介
16	1/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	精神療法と芸術療法	個人精神療法と絵画療法	前田 健二郎
授業方法						
講義						
授業内容						
授業計画参照						
成績評価の方法						
講義への出席および参加態度、学期末の筆記試験によって行う。						
成績評価の基準						
講義への出席 20%						
参加態度 10%						
学期末の筆記試験 70%						
準備学習などについての具体的な指示						
原則として講義資料を配布するので、十分に理解すること。 対象を理解し、対象にかかわることを重視するため欠席・遅刻・早退・中抜けをしないで授業に参加すること。						
他科目との関連						
看護心理学、地域精神看護学、精神看護学演習等の科目と関連する。						
履修上の注意事項						
様々な精神障害の特徴について国際的な分類基準に沿って学ぶと共に、精神医学の見方と精神障害を持つ人の体験や看護の視点との関連についても考えて欲しい。						
連絡先						
田上美千佳: tanoue.pn@tmd.ac.jp						
オフィスアワー						
話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。 ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。 3号館 18 階精神保健看護学教授室						

時間割番号	012027					
科目名	小児看護学Ⅰ					
担当教員	廣瀬 たい子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
英文名:Pediatric NursingⅠ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)ほか						
授業の目的、概要等						
小児は成長発達する存在であり、大人とは質的に異なる面がある。小児の特徴を生涯発達の視点から理解する。また、学校保健の視点から成長期にある幼児、児童、生徒、学生の健康の保持増進をはかるための、学校教育および学校保健管理活動を理解する。						
授業の到達目標(SBOs)						
小児は生理的、認知的、情緒的、生活能力の面で未熟な部分を保有しながら出生し、環境と相互作用しながら成長・発達する。個体と環境との力動関係を理解しながら、小児の発達について学習することを目標とする。加えて、学校教育の場で成長発達の途上にある小児の生活・健康について、学校保健活動を通して理解する。また、学校保健行政施策を含めて、様々な専門領域から小児看護学および、学校看護を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	小児看護学Ⅰ	子どもとは 小児の健康 子ども観の変遷 小児保健統計・ヘルスプロモーション	廣瀬 たい子
2	5/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	小児看護学Ⅰ	乳児期の発育 乳児期の形態・機能発育	廣瀬 たい子
3	6/6	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	小児看護学Ⅰ	乳児期の成長発達 乳児期の精神・運動発達	廣瀬 たい子
4	6/6	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	小児看護学Ⅰ	幼児期の成長発達 幼児期の精神・運動発達と生活の特徴	岡光 基子
5	6/6	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	小児看護学Ⅰ	学童期の成長発達 学童期の精神・運動発達と生活の特徴	廣瀬 たい子
6	6/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	小児看護学Ⅰ	学校保健総論 学校保健の目的、対象、内容、方法、学校保健法	小出 由紀子
7	6/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	小児看護学Ⅰ	学校保健管理の実際 健康診断・相談、生活・環境管理、学校安全	小出 由紀子
8	6/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	小児看護学Ⅰ	学校保健管理の実際 学校給食・栄養教育	井上 幸子
9	6/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	小児看護学Ⅰ	思春期の成長発達 思春期の精神・運動発達と生活の特徴	廣瀬 たい子
授業内容						
子どもの成長発達の理解、子どもをとりまく環境と生活の理解と支援を学ぶために、また、学校保健の理念と実践、技法を学ぶため、以下の講義内容を編成する。						
成績評価の方法						
期末試験、小テスト、レポート						
準備学習などについての具体的な指示						
初回の授業で課題を提示する。教科書を読んで事前学習しておくこと。						

時間割番号	012028					
科目名	小児看護学演習Ⅰ					
担当教員	廣瀬 たい子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
英文名:Seminar of Pediatric NursingⅠ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室4(3号館7階)						
授業の目的、概要等						
多様化しつつある子どもの環境および生活の中で、小児看護は発達と健康を支援するための知識・技術が幅広く求められている。小児特有の疾患を理解し、必要なケアと技術を学習する。						
授業の到達目標(SBOs)						
常に成長・発達を続ける小児に見られる特有な疾患の特徴を理解し、必要なケア及び態度・技術を学習する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	小児看護の対象と役割 小児看護とは(小児と医療システム) 小児を取り巻く環境 病気・入院による子どもと家族の反応	廣瀬 たい子
2	10/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:血液・腫瘍性疾患、アレルギー、免疫	大川 洋二
3	10/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:内分泌・代謝性疾患	鹿島田 健一
4	10/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:循環器	土井 庄三郎
5	10/28	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	急性疾患をもつ小児の看護 小児の急性期の主要症状と看護	岡光 基子
6	10/28	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:神経、運動器疾患	荒木 聡
7	11/4	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:呼吸器、川崎病、膠原病	土井 庄三郎
8	11/4	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:感染症、予防接種	土井 庄三郎
9	11/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児と家族の看護(小児がん)	廣瀬 たい子
10	11/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児と家族の看護(腎疾患)	廣瀬 たい子
11	11/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:小児外科	川嶋 寛
12	11/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:小児外科	川嶋 寛
13	11/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	疾患論:消化器、腎疾患	元吉 八重子
14	11/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	ターミナル期にある小児の看護	井桁 洋子
15	12/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	慢性疾患をもつ小児と家族の看護(内分泌)	廣瀬 たい子
16	12/2	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	小児看護学演習Ⅰ	周手術期にある小児と家族の看護(外科系疾患)	岩崎 美和
授業内容						
小児特有の疾患を理解し、看護実践に必要な知識とスキルを習得するための学習をする。						
成績評価の方法						
期末試験、小テスト						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書を読んで事前学習しておくこと。						
他科目との関連						
小児看護学Ⅰで学んだ健康な小児の理解を基に、小児の疾患、小児看護の各論について学習する。解剖学、生理学で学んだ小児の特徴について知識を習得していることが必要である。						

時間割番号	012029					
科目名	在宅看護学Ⅰ					
担当教員	本田 彰子					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
英文名:Home Care NursingⅠ						
主な講義場所 保健衛生学講義室4(3号館7階)						
授業の目的、概要等 保健医療福祉の中での在宅看護、特に訪問看護の役割機能を学ぶとともに、制度の中で展開される看護実践について理解する。						
授業の到達目標(SB0s) 保健医療福祉の領域で、特に地域で生活する人々、自宅で療養生活を送る人々に対して、実際の看護提供の仕組みを理解した上で、看護の役割と実際を学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	在宅看護の概念・訪問看護の仕組み	本田 彰子
2	10/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の特徴とケアの実際	本田 彰子
3	11/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	在宅看護がみる家族	川上 千春
4	11/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 高齢療養者	川上 千春
5	12/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 終末期療養者	川上 千春
6	12/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 難病療養者	本田 彰子
7	12/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 精神疾患療養者	前田 昌紀
8	12/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室4	在宅看護学Ⅰ	訪問看護の実際 精神疾患療養者	前田 昌紀
成績評価の方法 出席、および定期試験						
準備学習などについての具体的な指示 受講前に、教科書の該当箇所を読んでおくこと。特に、介護保険等の法制度については、巻末資料編にも目を通しておくこと。						
他科目との関連 3年次に学習する在宅看護学Ⅱ、在宅看護学演習、在宅看護学実習の基礎となる科目であるので、2年次に履修および単位取得していることが進級に必要である。						

第 3 学年

平成26年度時間割(看護学専攻:第3学年)

(前期) ※3年次実習の詳細については、別途連絡する。

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/7	月	老年看護学(1)	2	老年看護学(2)	2	精神看護学演習(1)	2	精神看護学演習(2)	2		
8	火	母性看護学Ⅰ(1)	2	母性看護学Ⅰ(2)	2	老年看護学演習(1)	実習室1	老年看護学演習(2)	実習室1	老年看護学演習(3)	実習室1
9	水					英文講読Ⅱ(1)	2			国際保健福祉	1
10	木					小児看護学Ⅱ(1)	2	小児看護学演習Ⅱ(1)	実習室2	小児看護学演習Ⅱ(2)	実習室2
11	金	地域保健看護学Ⅰ(1)	2	地域保健看護学Ⅰ(2)	2	地域精神看護学(1)	2				

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/14	月	老年看護学(3)	2	老年看護学(4)	2	精神看護学演習(3)	2	精神看護学演習(4)	2		
15	火	母性看護学Ⅱ(1)	2	母性看護学Ⅰ(3)	2	成人看護学演習(1)	2	成人看護学演習(2)	2		
16	水					英文講読Ⅱ(2)	2				
17	木			成人看護学Ⅲ(1)	2	母性看護学Ⅲ(1)	2	母性看護学演習(1)	実習室2	母性看護学演習(2)	実習室2
18	金	地域保健看護学Ⅰ(3)	2	地域保健看護学Ⅰ(4)	2	地域精神看護学(2)	2				

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/21	月	老年看護学(5)	2	老年看護学(6)	2	精神看護学演習(5)	2	精神看護学演習(6)	2		
22	火	母性看護学Ⅲ(2)	2	母性看護学Ⅱ(2)	2	老年看護学演習(4)	実習室1	老年看護学演習(5)	実習室1	老年看護学演習(6)	実習室1
23	水					英文講読Ⅱ(3)	2				
24	木			成人看護学Ⅲ(2)	2	小児看護学Ⅱ(2)	2	小児看護学Ⅱ(3)	実習室2	小児看護学Ⅱ(4)	2
25	金	地域保健看護学Ⅰ(5)	2	地域保健看護学Ⅰ(6)	2	地域精神看護学(3)	2	母性看護学Ⅱ(3)	2	母性看護学演習(3)	2

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/28	月										
29	火	昭和の日									
30	水					英文講読Ⅱ(4)	2				
5/1	木										
2	金	地域保健看護学Ⅰ(7)	2	地域保健看護学Ⅰ(8)	2	地域精神看護学(4)	2				

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/5	月	子どもの日									
6	火	振替休日									
7	水	実践看護英語(1)	2			英文講読Ⅱ(5)	2	英文講読Ⅱ(6)	2		
8	木	小児看護学演習Ⅱ(3)	2	成人看護学Ⅲ(3)	2	母性看護学Ⅲ(3)	2	母性看護学Ⅱ(4)	2	母性看護学演習(4)	実習室2
9	金	地域保健看護学Ⅱ(1)	2	地域保健看護学Ⅱ(2)	2	地域精神看護学(5)	2	在宅看護学演習(1)	2	在宅看護学演習(2)	2

平成26年度時間割(看護学専攻:第3学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/12	月	老年看護学(7)	2	老年看護学(8)	2	精神看護学演習(7)	2	英文講読Ⅱ(7) TOEFL/ITP	2	英文講読Ⅱ(8) TOEFL/ITP	2
13	火	母性看護学Ⅱ(5)	2	母性看護学Ⅲ(4)	2	老年看護学演習(7)	実習室1	老年看護学演習(8)	実習室1	老年看護学演習(9)	実習室1
14	水	実践看護英語(2)	2			英文講読Ⅱ(9)	2				
15	木			成人看護学Ⅲ(4)	2	小児看護学Ⅱ(5)	2	小児看護学演習Ⅱ(4)	2	小児看護学演習Ⅱ(5)	2
16	金	地域保健看護学Ⅱ(3)	2	地域保健看護学Ⅱ(4)	2	地域精神看護学(6)	2	在宅看護学演習(3)	1	在宅看護学演習(4)	1

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/19	月	老年看護学(9)	2	老年看護学(10)	2	精神看護学演習(8)	2	リハビリテーション看護学(1)	2		
20	火	母性看護学Ⅰ(4)	2	母性看護学Ⅰ(5)	2	成人看護学演習(3)	2	成人看護学演習(4)	2	成人看護学演習(5)	2
21	水	実践看護英語(3)	2			英文講読Ⅱ(10)	2				
22	木	小児看護学演習Ⅱ(6)	2	成人看護学Ⅲ(5)	2	母性看護学Ⅱ(6)	2	母性看護学Ⅱ(7)	2	母性看護学Ⅱ(8)	2
23	金	地域保健看護学Ⅱ(5)	2	地域保健看護学Ⅱ(6)	2	地域精神看護学(7)	2	在宅看護学演習(5)	2	在宅看護学演習(6)	実習室1

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/26	月	老年看護学(11)	2	老年看護学(12)	2	精神看護学演習(9)	2	リハビリテーション看護学(2)	2		
27	火					老年看護学演習(10)	実習室1	老年看護学演習(11)	実習室1	老年看護学演習(12)	実習室1
28	水	実践看護英語(4)	2	英文講読Ⅱ(11)	2	疫学(1)	2	疫学(2)	2		
29	木			成人看護学Ⅲ(6)	2	小児看護学Ⅱ(6)	2	小児看護学演習Ⅱ(7)	2	小児看護学演習Ⅱ(8)	2
30	金	地域保健看護学Ⅱ(7)	2	地域保健看護学Ⅱ(8)	2	地域精神看護学(8)	2	在宅看護学演習(7)	2	在宅看護学演習(8)	実習室2

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/2	月	老年看護学(13)	2	老年看護学(14)	2	精神看護学演習(10)	2	リハビリテーション看護学(3)	2		
3	火					成人看護学演習(6)	2	成人看護学演習(7)	2	成人看護学演習(8)	2
4	水	実践看護英語(5)	2	英文講読Ⅱ(12)	2						
5	木	小児看護学演習Ⅱ(9)	2	成人看護学Ⅲ(7)	2	母性看護学Ⅰ(6)	2	母性看護学Ⅰ(7)	2	母性看護学演習(5)	2
6	金	在宅看護学Ⅱ(1)	2	在宅看護学Ⅱ(2)	2	在宅看護学演習(9)	実習室2	在宅看護学演習(10)	実習室2		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/9	月	老年看護学(15)	2	老年看護学(16)	2	精神看護学演習(11)	2	リハビリテーション看護学(4)	2		
10	火	母性看護学Ⅲ(5)	2	母性看護学Ⅲ(6)	2	老年看護学演習(13)	実習室1	老年看護学演習(14)	実習室1	老年看護学演習(15)	実習室1
11	水	実践看護英語(6)	2	英文講読Ⅱ(13)	2	疫学(3)	2	疫学(4)	2		
12	木			成人看護学Ⅲ(8)	2	小児看護学演習Ⅱ(10)	2	小児看護学演習Ⅱ(11)	2	小児看護学Ⅱ(7)	2
13	金	在宅看護学Ⅱ(3)	2	在宅看護学Ⅱ(4)	2	在宅看護学演習(11)	2	在宅看護学演習(12)	2		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/16	月	老年看護学(17)	2	老年看護学(18)	2	精神看護学演習(12)	2	リハビリテーション看護学(5)	2		
17	火	母性看護学Ⅲ(7)	2	母性看護学Ⅲ(8)	2	成人看護学演習(9)	2	成人看護学演習(10)	2		
18	水	実践看護英語(7)	2	英文講読Ⅱ(14)	2	疫学(5)	2	疫学(6)	2		
19	木					母性看護学演習(6)	2	母性看護学演習(7)	2	母性看護学演習(8)	2
20	金	在宅看護学Ⅱ(5)	2	在宅看護学Ⅱ(6)	2	在宅看護学演習(13)	2	在宅看護学演習(14)	2		

平成26年度時間割(看護学専攻:第3学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/23	月	老年看護学(19)	2	老年看護学(20)	2	精神看護学演習(13)	2	リハビリテーション看護学(6)	実習室1	リハビリテーション看護学(7)	実習室1
24	火					母性看護学演習(9)	実習室1,2	母性看護学演習(10)	実習室1,2		
25	水	実践看護英語(8)	2			英文講読Ⅱ(15)	2	疫学(7)	2	疫学(8)	2
26	木	母性看護学演習(11)	実習室1,2	母性看護学演習(12)	実習室1,2	小児看護学演習Ⅱ(12)	2	小児看護学演習Ⅱ(13)	2	小児看護学Ⅱ(8)	2
27	金	在宅看護学Ⅱ(7)	2	在宅看護学Ⅱ(8)	2	在宅看護学演習(15)	実習室2	在宅看護学演習(16)	実習室2		

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/30	月	老年看護学(21)	2	老年看護学(22)	2	精神看護学演習(14)	2	リハビリテーション看護学(8)	2		
7/1	火	母性看護学Ⅰ(8)	2	母性看護学演習(13)	2	成人看護学演習(11)	2	成人看護学演習(12)	2	成人看護学演習(13)	2
2	水	実践看護英語(9)	2			英文講読Ⅱ(16)	2				
3	木	小児看護学演習Ⅱ(14)	2	小児看護学演習Ⅱ(15)	2	母性看護学演習(14)	実習室2	母性看護学演習(15)	実習室2		
4	金	小児看護学演習Ⅱ(16)	2	保育園実習オリエンテーション(各園)							

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/7	月	老年看護学(23)	2	老年看護学(24)	2	精神看護学演習(15)	2	精神看護学演習(16)	2	母性看護学演習(16)	2
8	火	保育園実習オリエンテーション(各園)									
9	水	実践看護英語(10)	2			英文講読Ⅱ(17)	2				
10	木					成人看護学演習(14)	2	成人看護学演習(15)	2	成人看護学演習(16)	2
11	金										

7/14	月	海の日									
15	火	前期定期試験									
16	水	前期定期試験									
17	木	前期定期試験									
18	金	前期定期試験									

7/21	月	前期定期試験									
22	火	前期定期試験									
23	水	前期定期試験									

7/24	木	前期定期試験									
7/25	金	前期定期試験									

※授業											
7/28	月	保育園実習									
29	火	保育園実習									

夏季休業 7/30(水)～

平成26年度時間割(看護学専攻:第3学年)

(後期)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/25	木	在宅看護学実習オリエンテーション(保健衛生学講義室2)									
26	金	実習オリエンテーション(保健衛生学講義室2)									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/29	月	臨地実習									
30	火										
10/1	水	卒業論文 I (1)	2	卒業論文 I (2)	2						
2	木	臨地実習									
3	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/6	月	臨地実習									
7	火										
8	水			卒業論文 I (3)	2						
9	木	臨地実習									
10	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/13	月	体育の日									
14	火	臨地実習									
15	水			卒業論文 I (4)	2						
16	木	臨地実習									
17	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/20	月	臨地実習									
21	火										
22	水			卒業論文 I (5)	2						
23	木	臨地実習									
24	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
10/27	月	臨地実習									
28	火										
29	水			卒業論文 I (6)	2						
30	木	臨地実習									
31	金										

平成26年度時間割(看護学専攻:第3学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/3	月	文化の日									
4	火	臨地実習									
5	水			卒業論文 I (7)	2						
6	木	臨地実習									
7	金										
11/10	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11	火	臨地実習									
12	水	卒業論文 I (8)	2	卒業論文 I (9)	2 情報検査室						
13	木	臨地実習									
14	金										
11/17	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
18	火	臨地実習									
19	水										
20	木	臨地実習									
21	金										
11/24	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
	月	振替休日									
25	火	臨地実習									
26	水										
27	木	臨地実習									
28	金										
12/1	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
2	火	臨地実習									
3	水										
4	木	臨地実習									
5	金										
12/8	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9	火	臨地実習									
10	水			卒業論文 I (10)	1・2	卒業論文 I (11)	1・2	卒業論文 I (12)	1・2		
11	木	臨地実習									
12	金										
12/15	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
16	火	臨地実習									
17	水			卒業論文 I (13)	2						
18	木	臨地実習									
19	金										
12/22	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
	月										

冬季休業 12/24(水)～

平成26年度時間割(看護学専攻:第3学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/5	月	臨地実習									
6	火										
7	水										
8	木	臨地実習									
9	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/12	月	成人の日									
13	火	臨地実習									
14	水										
15	木	臨地実習									
16	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/19	月	臨地実習									
20	火										
21	水			卒業論文 I (15)	2						
22	木	臨地実習									
23	金										
		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/26	月	臨地実習									
27	火										
28	水			卒業論文 I (16)	2						
29	木	臨地実習									
30	金										
				10:30～12:00	講義室	13:00～14:30		14:40～16:10			
2/2	木	臨地実習									
3	金										
4	水										
5	木	臨地実習									
6	金										
2/9	月	補講・再試		学内進路説明会	2	在宅看護学実習報告会			2		
10	火	補講・再試			老年看護学実習振り返り学習				2		
11	水	建国記念の日									
12	木	補講・再試									
13	金	補講・再試									
2/16	月	補講・再試									
17	火	補講・再試									
18	水	補講・再試									

春季休業 2/19(木)～

時間割番号	012031					
科目名	疫学					
担当教員	大久保 功子, 横山 徹爾					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名 : Epidemiology						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)ほか						
授業の目的、概要等						
疫学は、人間集団を対象にして、疾病、異常、傷害、さらに、健康の頻度(率)の分布を記述し、これらの状態を規定している因子を研究する学問である。一言でいうと、集団レベルで、原因不明の疾病の原因を追求する学問である。						
授業の到達目標(SBOs)						
疫学の原理と方法を学ぶことによって、疾病の予防、健康増進を目的とした保健活動を科学的に行えるようにする知識、技術を習得する。看護の場では、科学的根拠に基づいて、妥当性の高いケアを実践できるようにする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/28	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	総論 1	疫学の概要、疾病頻度の測定	横山 徹爾
2	5/28	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	総論 2	記述疫学、疫学的仮説の設定	横山 徹爾
3	6/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	総論 3	症例・対照研究とコホート研究、介入研究	横山 徹爾
4	6/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	総論 4	因果関係の推理、交絡変数の調整	横山 徹爾
5	6/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	各論 1	循環器疾患の疫学	横山 徹爾
6	6/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	各論 2	がんの疫学	横山 徹爾
7	6/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	各論 3	環境問題と疫学	横山 徹爾
8	6/25	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	演習	健康問題の解決	横山 徹爾
授業内容						
総論では、疫学の原理と方法に関する基礎的知識を学習する。各論では、歴史的イベント等を材料にして、疫学方法論の知識を深める。演習では、具体的な事例を題材にして、健康問題の発見、当該健康問題の原因追及、予防対策の樹立、予防対策の実施、予防対策の評価をシミュレーションし、疫学の応用あるいは公衆衛生活動のあり方を学習する。						
成績評価の方法						
筆記試験、課題レポートにより評価する予定。						
準備学習などについての具体的な指示						
感染症, common diseases などの定義, 症状, 診断手技, 治療の概要を知っておくことが大切である。統計学の入門レベル, 例えば, 平均値, 標準偏差, 平均値の差の検定, 率の差の検定, 相関係数の算出とその意義ぐらいを習得しておくことは必須である。						
教科書						
疫学入門演習：原理と方法／田中平三 著, : 南山堂, 1998						
参考書						
はじめて学ぶやさしい疫学：疫学への招待／日本疫学会 監修, 田中平三, 秋葉澄伯 総編集, : 南江堂, 2010						
他科目との関連						
衛生学・公衆衛生学の基礎的学問である。保健統計学は、疫学的研究の手段として利用される。疫学の考え方, 疫学で使われる手法は卒業論文, 学位論文などの研究にも密接に結びついている。						

間割番号	012032					
科目名	英文講読Ⅱ					
担当教員	木下 裕太					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名: English for NursingⅡ						
担当教員: 看護学専攻主任						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等						
医療に関する文章を英語で読み、医学英語の知識を深める。						
授業の到達目標(SBOs)						
医学英語に用いられる語彙や表現に親しみ、医療に関する英文テキストの内容を把握することを目的とする。併せて音声・DVD 教材なども用いて、総合的な英語力を高める。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	ガイダンス	木下 裕太
2	4/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 2	木下 裕太
3	4/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 3	木下 裕太
4	4/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 4	木下 裕太
5	5/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 5	木下 裕太
6	5/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	小テスト / DVD 教材	木下 裕太
7	5/12	14:40-17:50	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	TOEFL/ITP	木下 裕太
8	5/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 6	木下 裕太
9	5/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 7	木下 裕太
10	5/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 8	木下 裕太
11	6/4	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 9	木下 裕太
12	6/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 10	木下 裕太
13	6/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 11	木下 裕太
14	6/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	Understanding Health Care Unit 12	木下 裕太
15	7/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	総復習	木下 裕太
16	7/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅱ	期末試験	木下 裕太
授業内容						
テキスト Understanding Health Care を使用し、医療に関する英文の精読や内容の要約を行う。また医療に関する海外ドラマ・映画等を副教材として、医学英語の音声に慣れる。						
成績評価の方法						
出席日数は、全授業回数の 3 分の 2 が必要。ただし、遅刻は欠席と同じ扱いとする。その上で、期末試験と小テストの成績、TOEFL/ITP の結果、授業への参加度を総合して評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
テキストの予習は必須。前もって該当箇所に目を通し、知らない単語があれば辞書で調べ、できる限り文章の内容を把握した状態で授業に臨むこと。						
教科書						
医療の世界：基本情報と表現演習／西村月満, デビッド・L. ブルクス, 関口章子, 市山陽子 編著, 朝日出版社, 2011						
他科目との関連						
英語に触れる他のすべての科目。						
履修上の注意事項						
テキストの予習は必須。前もって該当箇所に目を通し、知らない単語があれば辞書で調べ、できる限り文章の内容を把握した状態で授業に臨むこと。5月12日実施の TOEFL/ITP の受験は必須である。また、TOEFL のスコアは海外研修派遣等の応募の際に必要であり、選抜にはスコアの基準があることを理解して受験の準備をすること。						

時間割番号	012030					
科目名	実践看護英語					
担当教員	丸 光恵					
開講時期	前期	対象年次	2～3	単位数	1	
英文名:Practicum of English for Nursing						
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等 看護・医療職を必要とする国際組織や海外の医療・研究・教育機関における研修・留学を行うにあたって、看護学生に求められる英文読解と英作文、および英語によるコミュニケーション能力を養う						
授業の到達目標(SB0s) 国際組織や海外の医療・教育・研究機関において日常的に用いられる看護および医療専門用語の語彙力および情報収集・分析能力を習得する。講義および演習をすべて英語で行い、国際社会で必要とされるプレゼンテーション能力を含めた総合的コミュニケーション能力を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	国際社会における看護職看護職の役割	丸 光恵
2	5/14	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 1	Janelle Renee Moross
3	5/21	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 2	Janelle Renee Moross
4	5/28	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 3	Janelle Renee Moross
5	6/4	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 4	Janelle Renee Moross
6	6/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 5	Janelle Renee Moross
7	6/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 6	Janelle Renee Moross
8	6/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	実践看護英語 7	Janelle Renee Moross
9	7/2	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	看護学生による英語プレゼンテーションとディスカッションテーマ「看護国際人としての自分:将来展望と課題」	丸 光恵
10	7/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	実践看護英語	看護学生による英語プレゼンテーションとディスカッションテーマ「看護国際人としての自分:将来展望と課題」	丸 光恵
授業方法 *6 月 27 日はプレゼンテーション準備のための自己学習・個別指導日とする。						
成績評価の方法 ・出席および学生プレゼンテーション						
準備学習などについての具体的な指示						
履修上の注意事項 ・2 年生および 3 年生の中から選抜 20-30 名とする。応募者が多数の場合は直近の TOEFL スコアを参考とし、3 年生を優先して選抜する。 ・本科目は卒業要件の単位には含まれない。 ・海外研修選考に際し、本科目の受講状況や成績を参考資料とする場合がある。 ・講師の都合等により日時が変更となる場合があるので注意すること。						

時間割番号	012033						
科目名	卒業論文Ⅰ						
担当教員	大久保 功子, 丸 光恵						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1		
英文名: ThesisⅠ							
担当教員: 看護学専攻主任							
主な講義場所							
保健衛生学講義室2(3号館8階)、文献検索は情報検索室(M&Dタワー4階)							
授業の目的、概要等							
各分野の専門性について理解し、卒論Ⅱにおいて指導教員のもとで研究を行い、論文をまとめるために必要な研究の基礎知識を学ぶ。							
授業の到達目標(SBOs)							
看護・保健に関するさまざまな研究の分野・方法について知り、卒業論文Ⅱにおいて各自が実際に研究論文を書く際の基本を学ぶ。							
1. 看護・保健専門職における研究の意義を理解する。							
2. 研究の進め方の概要と、さまざまな研究方法論・技法を知る。							
3. 卒業論文指導の責任者となる各教員の研究の専門領域および方法論・技法を知る。							
4. 研究領域申請書による希望領域の相互調整と決定を行う。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/1	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	看護研究序論	研究概説、量研究の基礎について	丸 光恵 三隅 順子	
3	10/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	研究の倫理	研究倫理について	小笹 由香, 三隅 順子	
4	10/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	分野紹介①	看護ケア技術・地域保健・地域健康増進	齋藤 やよい, 佐々木 明子, 森田 久美子, 三隅 順子	
5	10/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	分野紹介②	先端侵襲・精神保健・小児家族	井上 智子, 田上 美千佳, 廣瀬 たい子, 三隅 順子	
6	10/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	分野紹介③	リプロダクティブヘルス・在宅ケア・がんエンドオブライフ	大久保 功子, 本田 彰子, 三隅 順子	
7	11/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	分野紹介④	国際看護・看護システム・高齢社会看護	丸 光恵, 深堀 浩樹, 緒方 泰子, 三隅 順子	
8-9	11/12	08:50-12:00	保健衛生学科講義室2	外国語文献検索	図書館司書による講義演習	三隅 順子	石井保志、図書館情報演習室に移動
10-12	12/10	10:30-16:10		卒論発表会聴講	卒論発表会聴講	三隅 順子	卒論発表会場各受付にて出欠確認
13	12/17	10:30-12:00		文献検索演習	レポート作成(自己学習)	三隅 順子	図書館等(レポート提出によって出席とする)
14	1/14	10:30-12:00		文献検索演習	レポート作成(自己学習)	三隅 順子	図書館等(レポート提出によって出席とする)

15	1/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	希望分野の検討	研究室訪問	三隅 順子	
16	1/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	希望分野の調整	最終希望票提出、調整	三隅 順子	
授業方法							
講義、外国文献検索演習、オムニバス形式の分野紹介を取り混ぜて行う。また、看護4年生の卒論発表会への参加も含む。							
授業内容							
・選択するテーマの希望を指示された期限までに提出する。							
成績評価の方法							
外国文献レポートの内容と全体の出席状況を評価し、専攻主任が認定する。ただし、講義への出席が3分の2に満たない者は単位を認定しない。							
準備学習などについての具体的な指示							
3年前期までの全ての看護学にかかわる講義／演習等の中で、学問的根拠を明確にするために文献に触れることがあるが、その機会を有効に活用し、和文の文献検索については習得しておくこと。そして、文献に多数当たること論文の構成などについては理解しておくこと。また、過去の卒業論文集(図書館蔵書)にも当たり、興味ある分野の研究の動向を把握しておくこと。							
参考書							
よくわかる質的研究の進め方・まとめ方：看護研究のエキスパートをめざして／グレッグ美鈴、麻原きよみ、横山美江 編著、:医歯薬出版、2007							
よくわかる看護研究の進め方・まとめ方：量的研究のエキスパートをめざして／横山美江 編、:医歯薬出版、2011							
APA 論文作成マニュアル／アメリカ心理学会 (APA) 著、前田樹海、江藤裕之、田中建彦 訳、:医学書院、2011							
他科目との関連							
全ての科目で学んだことを応用するので、全ての科目と関連する。							
履修上の注意事項							
(参考) ・卒業論文Ⅱは、保健衛生学科看護学各分野の教授、准教授、講師、助教が指導教員(研究指導の責任者)となる。 ・最終的な分野の決定は、学生から提出された研究領域希望申請書(希望領域とテーマと方法を第2希望まで明記したもの)を基にしながら学生間で適宜調整し、各分野の確認を得て決定する。 ・外国文献レポートは、関心のある領域・研究課題に関する主に英文による論文を検索し、それを読む経験を積む目的で実施する。レポートの内容・規定については後日説明する。							

時間割番号	012070					
科目名	国際保健福祉					
担当教員	大久保 功子					
開講時期	通年	対象年次	2～4	単位数	1	
英文名: Global Health and welfare						
授業の目的、概要等						
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性、および国際感覚を養う。						
授業の到達目標(SBOs)						
研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告会で適切に説明することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	本田 彰子
授業方法						
海外研修						
授業内容						
希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等。						
成績評価の方法						
研修前の準備						
研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況						
研修報告会における発表状況						
研修報告書						
準備学習などについての具体的な指示						
研修で困らない語学力を身に付けておくこと						
TOEFL による語学評価を受けておくこと						
グローバル人材推進事業による海外派遣前教育プログラムが提供される場合は必ず参加すること						
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等々の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること。						
他科目との関連						
国際保健看護学						
履修上の注意事項						
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと。 4月9日(水)16時20分～合同オリエンテーションに参加すること。						

時間割番号	012034					
科目名	成人看護学Ⅲ					
担当教員	井上 智子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Adult Health NursingⅢ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等						
成人看護学を取り巻く最近注目されている話題についての概要を講義を通して学ぶ。これにより国内外での社会の動きに目を向ける意識をより高めることと、社会的ニーズの変化に対応すべく看護の役割を果たしている第一線の看護の専門家の努力や開拓の困難さを学ぶ。また、今後の動向についての、学会等の学問的方向性についても情報を得る。						
授業の到達目標(SB0s)						
1)各話題について、注目される社会的背景を理解する。 2)各話題についての概要を理解する。 3)各話題についての開拓者としての努力や困難さを理解する。 4)各話題について、質疑ができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	オリエンテーション、先端医療と看護の役割	高度医療・先端医療に果たす役割	井上 智子
2	4/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	HIV/AIDS コーディネーターナースの役割	めざましく発展するエイズ治療の現状をふまえたHIV/AIDS 患者の看護ケア	杉野 祐子
3	5/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	口腔外科疾患患者の看護と口腔ケア	摂食・構音機能障害を中心としたアセスメントと看護、状態に応じた口腔ケア	青木 春恵
4	5/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	臨床研究コーディネーターの役割	治験に関する看護の役割	宋 菜緒子
5	5/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	ストマケア	ストマ管理方法とオストメイトの生活支援	徳永 恵子
6	5/29	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	遺伝と看護	遺伝子診断、遺伝子治療、遺伝病患者に関する看護の役割・倫理的配慮	武田 祐子
7	6/5	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	CNS の活動	CNS(Clinical Nurse Specialist)の役割と活動内容	荒井 知子
8	6/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	看護過程	事例発表準備	井上 智子
授業内容						
各講義は、5～10分間の質疑応答時間を設けるので、積極的な質疑を行うこと。						
授業日程、内容は変更することがある。						
成績評価の方法						
授業出席状況・参加状況およびレポートにより評価する。レポートは、全講義終了後、成人看護学Ⅲを受講しての学びを原稿用紙(横書き)4枚または1,600字以内にまとめ提出する。						

準備学習などについての具体的な指示
他科目との関連 成人看護学Ⅰ，Ⅱを習得しておくこと。
履修上の注意事項 医療関係の時事的話題をとりあげた新聞やテレビ番組からも情報を得ることも心がけること。

時間割番号	012035						
科目名	成人看護学演習						
担当教員	井上 智子						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1		
英文名:Seminar of Adult Health Nursing							
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室(3号館17階)							
授業の目的、概要等 成人看護学の一部として3年次に、既習の病態および成人看護学の講義内容と関連づけて、成人期にあり、急性、慢性に経過する健康障害を有する人々に適用される看護の問題解決の思考過程および手技的技術を、患者体験を含めて段階的に修得する。							
授業の到達目標(SBOs) 2年での学習を基礎に、上記内容を習得し、臨地実習が円滑に展開できるようにする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/15	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2	看護過程概論	オリエンテーション、成人患者の看護過程の具体的方法論、成人期にある事例について、グループワークを通しての看護アセスメント・看護計画立案	井上 智子、 矢富 有見子、 川本 祐子	
3-5	5/20	13:00-17:50	看護学実習室 1、 看護学実習室 2	技術演習・看護過程演習	体液管理の基礎	井上 智子、 矢富 有見子、 川本 祐子、 三村 昭美	蜂谷 麻美
6-8	6/3	13:00-17:50	看護学実習室 1、 看護学実習室 2	技術演習・看護過程演習	手術患者・重症患者の観察と合併症予防	井上 智子、 矢富 有見子、 川本 祐子、 三村 昭美	
9-10	6/17	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2	看護過程演習	看護過程演習発表	井上 智子、 矢富 有見子、 川本 祐子	
11-13	7/1	13:00-17:50	看護学実習室 1、 看護学実習室 2	技術演習・看護過程演習	創傷ケア	井上 智子、 矢富 有見子、 川本 祐子、 三村 昭美	安藤 禎子、 俣田 悦子
14-16	7/10	13:00-17:50	看護学実習室 1、 看護学実習室 2	技術演習・看護過程演習	蘇生・悪化予防・回復促進のケア	井上 智子、 矢富 有見子、 川本 祐子、 ブリッジ 志保	
授業内容 授業日程、内容は変更することがある。							
成績評価の方法 学期末筆記試験(N3前期)、演習に臨む態度および看護過程演習記録物により評価する。							
準備学習などについての具体的な指示							

他科目との関連

基礎看護学に引き続き、他の発達段階にある人々に対する看護技術および問題解決過程の基本となり、臨地実習(成人看護学実習)を円滑に行う上で必須の科目であるので、積極的に正確に学ぶ態度が必要である。

履修上の注意事項

技術演習に関しては、学内での演習であるが、臨地実習と同じ心構えで臨み、服装、態度には充分注意すること。事前学習ならびに復習を心がけること。

時間割番号	012036				
科目名	成人看護学実習				
担当教員	井上 智子				
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	3
英文名: Clinical Practice of Adult Health Nursing I					
授業の目的、概要等 さまざまな健康段階にある成人・老年期の入院患者を1名以上受け持ち、その疾病・治療経過を踏まえながら患者の全人的理解に努め、既習の知識・技術の統合あるいは新たな学習により、必要な看護を指導者とともに実践し、評価することを学ぶ。					
授業の到達目標(SBOs) 1) 患者の健康・機能障害を理解し、援助する。 (1) 健康・機能障害の原因・誘因を理解する。 (2) 患者の自覚症状・他覚症状を把握する。 (3) 健康状態を系統的に観察する。 (4) 患者の望む療養生活や治療法の選択を理解し、適切な援助をする。 (5) 行われる検査・治療・処置の目的と内容を理解する。 (6) 患者が検査・治療・処置を適切に受けられるように援助する。 2) 生命が脅かされている場合には、生命維持・回復のための看護活動ができる。 3) 異常の予防・早期発見・機能回復のための援助をする。 (1) 予測される悪化因子を指摘する。 (2) 悪化の徴候を早期に発見し、予防的な看護活動を行う。 (3) 機能回復のための適切な看護活動を行う。 4) 健康・機能障害に伴う日常生活上の制限に対し、援助を行う。 (1) 患者・家族が機能障害をどのように受けとめているかを把握する。 (2) 日常生活上の制限を身体的・心理的・社会的側面に沿って理解する。 (3) 日常生活上の制限をできるだけ軽減するように援助する。 (4) 患者の症状、苦痛を和らげるような援助を行う。 (5) 患者の心理的・社会的問題を把握する。 (6) 患者の心理的・社会的問題の解決への援助をする。 (7) 自己管理を阻害する因子を指摘する。 (8) 自己管理ができるように援助する。 (9) 患者に必要な社会的資源を列挙する。 (10) 日常生活の制約上の家族の心理的・社会的問題を把握する。 (11) 家族の心理的・社会的問題の解決への援助をする。 5) リハビリテーション期における援助を行う。 (1) リハビリテーション訓練が円滑に受けられるように援助する。 (2) 病棟内の日常生活でリハビリテーション訓練内容や成果を活用した援助をする。 6) 在宅療養・社会復帰に向けての援助を行う。 (1) 患者に適した退院後の日常生活目標を設定する。 (2) 退院後の生活目標に向けて、適切な援助を行う。 7) 医療チームにおける看護師の役割を理解する。 (1) 医師、その他の関係職種との役割を理解する。 (2) チームにおける看護師の役割を理解する。					

8) 以上に関して患者個別の問題を看護過程を用いて実践する。

- (1) 情報収集する。
- (2) 収集した情報を分析、統合し、看護診断する。
- (3) 具体的な目標を設定する。
- (4) 目標達成のための看護活動を計画する。
- (5) 計画した看護活動を実践する。
- (6) 展開した看護過程を評価する。

9) 看護専門職としてふさわしい態度を身につける。

- (1) 看護技術の一般的手順と原則をふまえ、患者の個別性を加味し、実施においては十分な復習と準備を行う。
- (2) 患者の援助においては常に安全と安楽を考慮する。
- (3) 患者の持てる力を生かした援助方法を考える。
- (4) 情報収集を看護援助に生かすとともに、看護援助をしながら情報収集をする。
- (5) 援助を提供する側・される側の視点から、のぞましい手順や方法を考え、実践する。
- (6) グループメンバー間で互いに協調しながら実習に臨む。
- (7) 看護とは何かを考え、学究的態度(文献活用・事例検討)で実習する。
- (8) 丁寧で親切な接遇を心がける。
- (9) 連絡・報告には責任をもつ。
- (10) 受け持ち看護師や指導者に相談し、助言やコメントを積極的に得ようと努める。
- (11) 看護援助の実践に先立ち、患者の了解ならびに受け持ち看護師との連絡・調整を行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
2	9/30	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
3	10/2	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
4	10/3	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
5	10/6	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
6	10/7	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
7	10/9	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
8	10/10	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
9	10/14	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照

10	10/16	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
11	10/17	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
12	10/27	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
13	10/28	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
14	10/30	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
15	10/31	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
16	11/4	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
17	11/6	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
18	11/7	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
19	11/10	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
20	11/11	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
21	11/13	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
22	11/14	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
23	11/25	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
24	11/27	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
25	11/28	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照

26	12/1	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
27	12/2	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
28	12/4	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
29	12/5	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
30	12/8	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
31	12/9	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
32	12/11	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
33	12/12	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
34	1/13	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
35	1/15	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
36	1/16	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
37	1/19	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
38	1/20	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
39	1/22	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
40	1/23	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
41	1/26	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照

42	1/27	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
43	1/29	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
44	1/30	08:00-17:00		成人看護学実習	詳細については実習要項参照	井上 智子, 矢富 有見子, 川本 祐子	詳細は実習要項 参照
授業内容 (詳細については実習要項参照)							
準備学習などについての具体的な指示							
備考 ツイッター等への投稿に対する注意事項について 実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。							

時間割番号	012037					
科目名	地域精神看護学					
担当教員	田上 美千佳					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Community Psychiatric Nursing						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等						
地域に暮らす人々の精神的健康を守るための保健医療福祉システムとそこでの看護的援助について学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs)						
精神保健福祉をめぐる社会状況と制度やシステムについての理解を踏まえて、看護職が地域の社会資源を活用しながら、精神障がい者の地域生活の質の向上と社会参加の支援に向けて担うべき役割について学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	1300-1430	保健衛生学科講義室 2	地域精神保健看護 精神障がい者が地域で暮らすということ	地域精神保健看護とは、国際障害分類、精神障がい者のADLとQOL、精神障害と生活障害、自立支援をめぐる課題	田上 美千佳
2	4/18	1300-1430	保健衛生学科講義室 2	学校及び企業における精神保健と看護職の役割	学校における精神保健看護、企業における精神保健看護	山村 礎
3	4/25	1300-1430	保健衛生学科講義室 2	精神障がい者への地域支援	精神障がい者への地域での相談支援事業、東京都の取り組み、支援の実例	高橋 直美
4	5/2	1300-1430	保健衛生学科講義室 2	精神科デイケアの機能	精神科デイケアの歴史と理念、精神科デイケアの現状と機能、病院デイケアと保健所デイケア、リワーク支援	松岡 裕美
5	5/9	1300-1430	保健衛生学科講義室 2	アディクションの診断と治療	アディクションの概念、アルコール依存症とアルコール精神病、その他の依存症、暴力の精神病理	宮本 真巳
6	5/16	1300-1430	保健衛生学科講義室 2	精神保健福祉をめぐる社会状況と看護職による精神障がい者への地域支援	保健所・市区町村における精神保健看護、訪問看護・訪問指導の方法と現状、地域精神保健のシステムと地域資源	陣立 良太
7	5/23	1300-1430	保健衛生学科講義室 2	子どもをめぐる地域精神保健医療	地域での子どもをめぐる精神保健問題と支援(虐待、愛着障害、ひきこもり等)	田中 哲
8	5/30	1300-1430	保健衛生学科講義室 2	家族のメンタルヘルスと家族への介入 地域精神保健医療の展望	家族のメンタルヘルスと家族への支援 地域精神保健医療の課題・方向性	田上 美千佳
授業方法						
講義						
授業内容						
授業計画参照						
成績評価の方法						
講義への出席および参加態度、リフレクティブレポート、学期末の筆記試験によって評価を行う。						
成績評価の基準						
講義への出席 20%						
参加態度 10%						
リフレクティブレポート 35%						
学期末の筆記試験 35%						

準備学習などについての具体的な指示

普段の生活において、メンタルヘルスや障害をもった人の生活について現状や課題を考えておくこと。
対象を理解し、対象にかかわることを重視するため欠席・遅刻・早退・中抜けをしないで授業に参加すること。

他科目との関連

看護心理学、精神看護学、精神看護学演習、社会福祉学、産業保健学、健康管理論等の科目と関連する。

履修上の注意事項

地域社会における精神障がい者の生活状況と、その看護的支援について広い視野から把握することを通じて、臨床実習等の機会に医療機関で出会った患者についても、精神症状の医学的管理に偏らず社会的背景の理解に根ざす生活支援を担える力を養って欲しい。

連絡先

田上 美千佳 : tanoue.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。
ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。
3号館 18 階精神保健看護学教授室

時間割番号	012038					
科目名	精神看護学演習					
担当教員	田上 美千佳					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Psychiatric Nursing Seminar						
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等 精神疾患患者の看護を中心に、あらゆる精神的援助の方法とその理論的背景について学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs) 精神疾患患者の生活歴と疾患や生活障害との関連、精神医療の歴史や治療環境の成り立ちが精神疾患患者の処遇に及ぼす影響についての理解を深め、精神疾患患者への心理・社会・生物学的な諸局面を視野に入れた全人的理解の深化を目指す。さらには、援助的な対人関係技術の向上を通じて、精神疾患患者の回復、成長、自立を支援するために必要な方法と、その理論的な背景について学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	精神科看護と精神看護の目的と機能	精神看護学の基本概念 精神看護の役割と機能、精神的健康の維持と増進、精神障がい者の現状、精神保健医療福祉の現状と課題	田上 美千佳
2	4/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	相談面接の技法	クライアント中心療法の理念と方法(共感、受容、自己一致)、精神科ソーシャルワーク	田上 美千佳 渡邊 敦子 美濃 由紀子
3	4/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	精神医療と精神科看護の歴史	精神医療の歴史(世界・日本)、精神科看護の歴史(世界・日本)	吉川 隆博
4	4/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	精神保健福祉をめぐる制度、法律、施策	精神保健福祉法と関連法規の概要、精神保健福祉法と入院制度、精神保健福祉施策の現状、精神障がい者の人権とアドボカシー	吉川 隆博
5	4/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	対象関係論からみた精神看護	精神看護学関連の理論、援助的人間関係、精神療法の原則	田上 美千佳
6	4/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	精神疾患と患者体験	患者としての病気体験、入院体験、精神障害を抱えて生きるということ	尾山 篤史
7	5/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	精神科看護における情報収集とアセスメント	精神科看護に必要な情報とその評価、クリニカルパス、ジェノグラム(家族歴)の方法	渡邊 敦子
8	5/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	グループワーク(1)	集団力動とセルフヘルプグループの体験学習	田上 美千佳 渡邊 敦子 美濃 由紀子
9	5/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	グループワーク(2)	集団力動とセルフヘルプグループの体験学習	田上 美千佳 渡邊 敦子 美濃 由紀子
10	6/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	精神疾患患者の病態に応じた看護(1)	対象の状態に応じた精神科看護の原則・方法、セルフケア看護支援	田上 美千佳
11	6/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	精神看護学における援助関係の形成	看護場面の再構成法(臨地実習の体験)、援助関係の形成、セルフケア支援としての看護、異和感の対自化、感情活用能力	美濃 由紀子
12	6/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	精神疾患患者の病態に応じた看護(2)	幻覚・妄想状態の患者の看護、自閉・意欲低下の見える患者の看護	美濃 由紀子
13	6/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	精神疾患患者の病態に応じた看護(3)	気分障害のある患者の看護、不安障害のある患者の看護、心的外傷を負った患者の看護	田上 美千佳

14	6/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	精神疾患患者の病態に応じた看護(4)	不食・拒薬の患者の看護、自他に対して攻撃的な患者の看護	渡邊 敦子
15	7/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	精神疾患患者と家族への援助	精神疾患患者をもつ家族への援助	田上 美千佳
16	7/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	精神看護学の展望	精神看護学の他領域への影響、精神看護学の看護全般への影響、看護コンサルテーション、精神看護学実習について	田上 美千佳 渡邊 敦子
授業方法 講義および演習						
授業内容 授業計画参照						
成績評価の方法 講義への出席および参加態度、期末に実施する精神医療の歴史と現状、病態に応じた看護に関する記述式試験、精神科事例における看護上の問題把握、相談面接とグループワークの技法等をテーマとしたレポートによって評価する。						
成績評価の基準 講義への出席 20% 参加態度 10% レポート 35% 学期末の筆記試験 35%						
準備学習などについての具体的な指示 対象を理解し、対象にかかわることを重視するため欠席・遅刻・早退・中抜けをしないで授業に参加すること。						
他科目との関連 看護心理学、精神看護学、地域精神看護学等の科目と関連する。						
履修上の注意事項 精神疾患患者の理解を深めながら援助関係を形成するには、的確な自己理解と率直な自己表現、すなわち自己一致が欠かせない。そこで、自分自身の生活体験を振り返りながら、面接技法やグループワークの演習、精神看護学や他領域の臨地実習を活用し、自分の内面に生じた思いを吟味しつつ自己表現に努め、自己理解と患者理解を深めて欲しい。また、精神医学と精神疾患看護の基本的な知識を確実に身につけた上で、患者との接触から直接得られた主観的な情報を活用して患者の全体像を組み立て、回復、成長、自立を支援していく方法を学んで欲しい。						
連絡先 田上 美千佳:tanoue.pn@tmd.ac.jp						
オフィスアワー 話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。 3号館 18 階精神保健看護学教授室						

時間割番号	012039						
科目名	精神看護学実習						
担当教員	田上 美千佳, 美濃 由紀子						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2		
英文名:Practice of Psychiatric and Mental Health Nursing							
授業の目的、概要等							
1) 精神科病棟において入院患者 1 名を受け持ち、関わりを発展させるとともに、関わりの経過について綿密な振り返りを行い、自己理解、患者理解、状況理解を深める。こうした理解に基づいて、感情活用能力の発揮を通じた援助関係づくりと、患者の抱えている課題の解決に向けた援助の試みを併せて実践する。このような実習への取組みを通じて、精神疾患患者だけでなく健康問題を持つあらゆる人を対象とする精神的支援の実践能力を高める。							
2) 精神科通所施設において、地域で生活する利用者の社会参加の実態にふれることを通じて、精神障害と生活状況との関連についての理解を深めながら、精神障害者の地域生活支援の方法や要点について学ぶ。さらには、入院から地域生活に至る過程についての統合的な視点に基づいて、看護職に求められる役割と、それに見合った援助方法について理解を深める。							
3) 実習体験を振り返って吟味するために、看護場面の再構成法を用いた「プロセスレコード」、看護場面で味わった異和感の吟味を通じて自己・患者・状況についての理解を深める「異和感の対自化」、患者の抱えている問題を明確にして解決策を導き出す「問題の明確化」の3つの方法を用いる。これらの方法を体得することによって、看護師、援助職としての生涯学習の基礎を作る。							
授業の到達目標(SBOs)							
1) 患者との対人関係において、自己一致に基づく率直な自己表現を心掛けることを契機に、患者の率直な自己表現を引き出すことを通じて、自己理解を深めると共に患者の持つ問題の明確化を図る。							
2) 患者や自分自身の言動が、自分が身を置く病棟などの臨床状況の雰囲気や力動によって、どのような影響を受けているかについて理解を深めることを通じて、臨床状況についての洞察に基づく表現力や看護実践能力を高める。							
3) 患者や医療スタッフ、教員とのやりとりの振り返りにより、自己の対人関係の特徴を知ること通じて、自己の人格や発達課題について理解を深めると共に、自分は患者や周囲の人に対してどのような印象を与え、どのような影響を及ぼす傾向があるかについて認識を深める。							
4) 看護師－患者関係と臨床状況をふまえてセルフケア看護援助の観点から評価し、ケア方針を立案し、必要な援助の実施・評価・修正を行うことを通じて、チーム医療の一端を担うと共に、看護師としての専門性確立の基礎をつくる。							
5) 精神に疾患や障害を持つ人の治療環境・生活環境、ならびに、そのような環境の中で生きる患者の体験について理解を深めることを通じて、地域における生活自立と社会参加に向けた支援の一端を担う。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/14	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
2	10/16	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
3	10/17	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
4	10/20	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
5	10/21	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	各通所施設
6	10/23	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院

7	10/24	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
8	10/27	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
9	10/28	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
10	10/30	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
11	10/31	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
12	11/4	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	各通所施設
13	11/6	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
14	11/7	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
15	11/25	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
16	11/27	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
17	11/28	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
18	12/1	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
19	12/2	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	各通所施設
20	12/4	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
21	12/5	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
22	1/26	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院

23	1/27	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
24	1/29	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
25	1/30	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
26	2/2	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
27	2/3	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	各通所施設
28	2/5	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院
29	2/6	08:00-16:00		精神看護学実習	詳細については実習要項参照	田上 美千佳 美濃 由紀子 渡邊 敦子	附属病院、井之頭病院

授業方法

実習

授業内容

(詳細については実習要項参照)

成績評価の方法

実習への出席および実習への取り組み、記録物、レポート

成績評価の基準

実習への出席状況 20%

実習への取り組み 30%

記録物・レポート 50%

準備学習などについての具体的な指示

対象とのかかわりを重視するため、欠席・遅刻・早退をしないように心身の体調管理に注意する。

これまでに学んだ関連する講義・演習の内容を復習しておく。

実習の成果ではなく、自分が対象にどれだけかかわったか、自己理解他者理解が深まったのかの過程が重要である。そのために、必要時、教員や指導員を活用してほしい。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

連絡先

田上 美千佳:tanoue.pn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

話をしたい学生は、いつでも研究室に尋ねてきて構いません。

ただし、相談ごとのある場合は、あらかじめアポイントを取るほうが望ましいです。

3号館 18 階精神保健看護学教授室

時間割番号	012040					
科目名	小児看護学Ⅱ					
担当教員	廣瀬 たい子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Pediatric NursingⅡ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等						
小児の成長発達、主な小児疾患の病態生理を理解し、病気を持った小児とその家族の身体的・精神的・社会的変化を、自己学習を通して理解する。また、小児看護に必要な観察技術、アセスメント技術についても学ぶ。それらの学習に基づいて得た知識・技術を活用して、病気を持つ小児と家族の看護を考案する。						
なお、この授業は小児看護学演習Ⅱを組み合わせで行う。						
授業の到達目標(SBOs)						
小児看護学Ⅰ、小児看護学演習Ⅰにおいて学習した小児看護の実践に必要な基本的知識、技術の上に積み重ねる構成で、小児看護実践に必要な知識を及び最新の小児看護学の動向を学習する事を目的としている。グループ・ワークを中心とした小児看護学演習Ⅱと組み合わせ、自ら学び、実践に活用できる技能を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	小児看護学Ⅱ	オリエンテーション 子どもの発達と遊び—遊びの意義—	廣瀬 たい子 岡光 基子
2	4/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	小児看護学Ⅱ	小児のアセスメント 小児の観察技術、アセスメントツールの活用	岡光 基子
3	4/24	14:40-16:10	看護学実習室 2	小児看護学Ⅱ	子どもの生活と看護 子どもの栄養、日常生活の援助の実際	岡光 基子
4	4/24	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	小児看護学Ⅱ	ペーパー・ペーシエント (ビデオ学習)	岡光 基子
5	5/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	小児看護学Ⅱ	小児の継続看護 外来における子どもの看護	廣瀬 たい子
6	5/29	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	小児看護学Ⅱ	障がい児・在宅の看護	廣瀬 たい子
7	6/12	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	小児看護学Ⅱ	急性期における小児の看護 新生児期の集中ケア	渡辺 とよ子
8	6/26	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	小児看護学Ⅱ	子どもの虐待 虐待の予防と発見	松廣 香織
授業内容						
小児看護学演習Ⅱでペーパー・ペーシエントによる看護過程を展開するために、必要な知識を整理して、さらに小児看護学実習に活用できるための技能の習得をはかる。						
成績評価の方法						
期末試験、小テスト						
準備学習などについての具体的な指示						
教科書を読んで事前学習しておくこと。						
他科目との関連						
小児看護学Ⅰ、小児看護学演習Ⅰ、在宅看護学Ⅰ						

時間割番号	012041					
科目名	小児看護学演習Ⅱ					
担当教員	廣瀬 たい子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名: Seminar of Pediatric NursingⅡ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室(3号館17階)						
授業の目的、概要等						
小児の成長発達、主な小児疾患の病態生理を理解し、病気を持った小児とその家族の身体的・精神的・社会的変化を、自己学習を通して理解する。また、小児看護に必要な観察技術、アセスメント技術についても学ぶ。それらの学習に基づいて得た知識・技術を活用して、病気を持つ小児と家族の看護を考案する。						
なお、この授業は小児看護学Ⅱと組み合わせて行う。						
授業の到達目標(SBOs)						
演習は、グループワークを中心とした自己学習授業なので、これまでに学んだ小児看護学Ⅰ、Ⅱ、小児看護学演習Ⅰ、その他の学習に基づいて課題の解決法・解決策を自分達で考え、生み出すことを目標とする。教員はその手助けをすることを教育方針とする。また、解決法・解決策は全学生で共有理解をはかり、解決法・解決策をより良いものにするため発表・討論会を持つ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2、 看護学実習室 2	小児看護学演習Ⅱ	遊びの演習/発達のアセスメント	白川 園子 岡 光 基子
2	4/10	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2、 看護学実習室 2	小児看護学演習Ⅱ	遊びの演習/発達のアセスメント	白川 園子 岡光 基子
3	5/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント オリエンテーション	廣瀬 たい子 岡光 基子
4	5/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子 岡光 基子
5	5/15	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子 岡光 基子
6	5/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子 岡光 基子
7	5/29	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク (オフィスア ワーあり)	土井 庄三郎
8	5/29	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク (オフィスア ワーあり)	土井 庄三郎
9	6/5	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子 岡光 基子
10	6/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子 岡光 基子
11	6/12	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント グループワーク	廣瀬 たい子 岡光 基子
12	6/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント 発表	廣瀬 たい子 岡光 基子
13	6/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント 発表	廣瀬 たい子 岡光 基子
14	7/3	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント 発表	松廣 香織
15	7/3	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	ペーパーペーシェント 発表	松廣 香織
16	7/4	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	小児看護学演習Ⅱ	実習オリエンテーション	廣瀬 たい子 岡光 基子

授業内容
小児特有の疾患を持つペーパー・ペイシエントを教材として、成長発達、疾患の病態生理、家族背景等を学習、アセスメントし、看護過程を展開しながら、看護計画を立案する。各グループの学習成果を発表し、討論する。
成績評価の方法
試験とグループワークの参加度、メンバーシップ、発表内容に基づいて行う。
準備学習などについての具体的な指示
教科書を読んで事前学習しておくこと。
他科目との関連
これまでの小児看護学の学習を統合して、看護過程を展開して小児看護学実習で活用できる知識と技術を整理する。
履修上の注意事項
グループワークを基本とした授業なので、自己学習・出席を重視する。

時間割番号	012042						
科目名	小児看護学実習						
担当教員	廣瀬 たい子						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2		
英文名:Practice of Pediatric Nursing							
授業の目的、概要等							
小児と家族に対するケアを通して、発達する小児の特徴を理解する。また、健康障害をもつ小児を全人的に理解する。さらに対象とその家族の必要としている援助は何かを理解し、小児の看護を行うための基礎的能力と技術・態度を養う。							
授業の到達目標(SBOs)							
本実習は、小児看護学学内実習と保育園実習、および病棟での臨床実習から構成される。							
(1) 小児看護学学内実習							
目的:小児看護に必要なスキルを習得する。							
目標: 1)小児看護に必要な技術を習得する。							
2)小児、特に言葉を持たない発達段階における子どもとのコミュニケーション方法を理解し、習得する。							
(2)臨地実習(保育園実習)							
目的:健康な小児の日常生活行動を実際の保育活動を通して観察し、成長・発達の特徴を把握する。							
目標: 1)子どもの成長・発達、および生活を理解する。							
2)子どもと家族の支援に必要な基本的な観察技術を習得する。							
3)小児の生活における保健行動、健康管理の概要を知る。							
(3)臨床実習(病棟実習)							
目的:疾病あるいは障害を持つ小児に接する体験を通して、小児の特徴を理解し、小児とその家族の必要としている援助を考え、実施する。							
目標: 1)疾病、あるいは健康障害をもつ小児およびその家族との治療的関係のあり方を学ぶ。							
2)健康障害が、小児およびその家族に及ぼす影響を理解する。							
3)健康障害をもつ小児と家族への看護のために、対象を理解し、必要な援助を行う能力を養う。							
4)小児をとりまく医療、保健、福祉の連携の中で小児看護の役割を理解する。							
(4)学生に期待するもの							
1)既習の学習を統合して、実際の場面で遭遇する問題・課題に積極的に取り組む。							
2)実習期間中、各自の学習目標を明確にし、それに向かって意欲的に取り組む。							
3)小児のケアに際しては特に安全に対する配慮を行う。							
4)実習期間中は自己の健康管理に注意する。							
5)感染源とならないために、抗体価検査を必ず受けること。また必要に応じて予防接種を受ける等の対策が推奨される。							
6)スタッフの一員であり、かつ学習する者としての自覚と責任をもって行動する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	7/28	08:30-17:00		小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については実習要項参照
2	7/29	08:30-17:00		小児看護学実習	保育園実習 詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については実習要項参照
3	9/29	08:00-16:00		小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については実習要項参照
4	9/30	08:00-16:00		小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子,	詳細については

29	1/22	08:00-16:00		小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については 実習要項参照
30	1/23	08:00-16:00		小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については 実習要項参照
31	2/2	08:00-16:00		小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については 実習要項参照
32	2/3	08:00-16:00		小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については 実習要項参照
33	2/4	08:00-16:00		小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については 実習要項参照
34	2/5	08:00-16:00		小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については 実習要項参照
35	2/6	08:00-16:00		小児看護学実習	詳細については実習要項参照	廣瀬 たい子, 岡光 基子	詳細については 実習要項参照
授業内容 (詳細については実習要項参照)							
準備学習などについての具体的な指示 実習オリエンテーション時に課題を提示する。							
備考 ツイッター等への投稿に対する注意事項について 実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。							

時間割番号	012043					
科目名	母性看護学Ⅰ					
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Maternal and Infant NursingⅠ						
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等 この科目では、母性看護学の概論を学習する。母性看護学は、人間の健康を性と生殖の側面から考え、看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは性と生殖に関わる健康課題について、個人、家族、集団、地域社会に対する看護展開、多様な文化背景や価値観に考慮した看護展開を考える視点を養う。						
授業の到達目標(SB0s) 母性看護学の中心的な概念であるリプロダクティブヘルス／ライツの考え方を理解する。それをもとに、母性看護学のケア対象を、様々な側面から捉え、身体的・心理的・社会的特徴を理解し、健康の保持増進に向けた看護の基本的な考え方や理論を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	母性看護学Ⅰ、リプロダクティブヘルス&ライツ	大久保 功子
2	4/8	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	女性生殖機能	久保田 俊郎
3	4/15	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	性感染症	大久保 功子
4	5/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	異常のある児と家族の看護	大久保 功子
5	5/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	セクシュアルマイノリティー	笠原 士織, 三隅 順子
6	6/5	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	不妊・出生前診断	尾林 聡
7	6/5	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	遺伝看護	小笹 由香
8	7/1	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅰ	DV 被害者の急性期看護	三隅 順子
成績評価の方法 学期末テスト、その他レポート及び平常点から総合的に評価する。また、母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては、英語での出題もあるので学習しておくこと。						
準備学習などについての具体的な指示 リプロダクティブヘルスにかかわる社会的な時事等をとらえておくこと。また、各講義の基礎的な内容についてはテキストで予習しておくこと。 またレポート課題などは事前に提示するので、各自関連する文献等の収集をすること。文献検索方法については、1 年次の看護の統合と実践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。						
試験の受験資格 2/3 の出席をしていること。						
教科書 母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編:メディカ出版, 2013 母性Ⅰ／前原澄子 編:中央法規出版, 2011 母性Ⅱ／前原澄子 編:中央法規出版, 2011 マタニティサイクルにおける母子の健康と看護／新道幸恵,中野仁雄, 遠藤俊子 編:メヂカルフレンド社, 2013 看護学テキスト NiCE 母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル／大平光子 他編:南江堂, 2014						
参考書 リプロダクティブヘルス：グローバルな視点から性の健康をみつめる／我妻堯 著:南江堂, 2002 女性の看護学：母性の健康から女性の健康へ／吉沢豊予子, 鈴木幸子 編著:メヂカルフレンド社, 2000 カミングアウト・レターズ：子どもと親、生徒と教師の往復書簡／Ryoji, 砂川秀樹 編:太郎次郎社エディタス, 2007						
他科目との関連 この授業は、母性看護学Ⅱ、Ⅲ、母性看護学演習の基礎となる内容である。						

履修上の注意事項

授業は課題に対する討論や、授業のテーマに対して学生が意見を出し合う時間を多く持つ予定である。自分の意見を積極的に述べ、他者に論理的に説明する能力を高める努力をしてほしい。

連絡先

三隅 順子 j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後
後期:毎週水曜日午後(会議時除く)
場所/3号館 17階リプロ3研

時間割番号	012044					
科目名	母性看護学Ⅱ					
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Maternal and Infant NursingⅡ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等						
母性看護学は、人間の健康を性と生殖の側面から考え、看護が必要な状況や支援方法を理解する科目である。ここでは主に、妊娠・分娩・産褥期の生理的な変化の過程とそこから逸脱した状況に関する病態生理、診断、治療、そして新生児の胎外生活への適応過程とその時期に生じやすい異常の早期発見と予防、ならびに診療の補助に関する基本的な知識を習得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
母性看護学の対象、特に妊産褥婦と新生児の身体的特徴を理解し、健康の保持増進、正常からの逸脱の予防と早期発見、適切な看護を提供するために必要な学際的知識を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	解剖学テスト/胎児・胎盤系の生理・機能	大久保 功子
2	4/22	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	異常妊娠	平光 史郎
3	4/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	母乳栄養	井村 真澄
4	5/8	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	分娩期のアセスメント	三隅 順子
5	5/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	異常分娩	大井 理恵
6	5/22	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	新生児の生理・適応	大久保 功子
7	5/22	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	新生児の異常	大久保 功子
8	5/22	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅱ	産褥期の生理	三隅 順子
成績評価の方法						
小テストを適時行う。学期末試験、平常点から総合的に評価する。母性看護学の領域でよく用いられる専門用語に関しては、テストに出題されるので学習しておくこと。						
準備学習などについての具体的な指示						
周産期にかかわる医学的な基礎知識を習得するために、各講義に関連した解剖学、生理学などの基礎医学のテキストを用い予習をしておくこと。						
その上で、周産期特有の生理・異常を学ぶことができれば理解は深まる。また医学に関しては、常に新しい情報を得ておかなければ、その看護を考える上でも支障があるので、各自関連する文献等の収集を継続すること。文献検索方法については、1年次の看護の統合と実践Ⅰで学ぶ機会が準備されているので、利用できる知識にしておくことが望まれる。その他、図書館オリエンテーションなども利用し、検索の経験を積んでおくこと。						
試験の受験資格						
2／3の出席をしていること。						
教科書						
母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編.:メディカ出版, 2013						
母性Ⅰ／前原澄子 編.:中央法規出版, 2011						
母性Ⅱ／前原澄子 編.:中央法規出版, 2011						
母性看護学Ⅱ マタニティサイクル／大平光子, 井上尚美, 大月恵理子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編集:南江堂, 2012						
マタニティサイクルにおける母子の健康と看護／新道幸恵,中野仁雄, 遠藤俊子 編.:メヂカルフレンド社, 2013						
参考書						
ウィリアムス臨床産科マニュアル／大鷹美子 監訳.:メジカルビュー社, 2009						
母性看護学Ⅰ／大平光子 他 編集:南江堂, 2014						
みえる生命誕生：受胎・妊娠・出産／池ノ上克, 前原澄子 監訳SARAH BREWER, SHAONI BHATTACHARYA, JUSTINE DAVIES, SHEENA MEREDITH, PENNY PRESTON 著.: 南江堂, 2013						

他科目との関連

この科目は、母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され、後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。この科目及び母性看護学演習の単位を取得していない場合、母性看護学実習には参加できない。

履修上の注意事項

二年次に学習した専門基礎科目の内容の復習をしてから受講して欲しい。

連絡先

三隅 順子 j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後

後期:毎週水曜日午後(会議時除く)

場所/3号館17階/プロ3研

時間割番号	012045					
科目名	母性看護学Ⅲ					
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Maternal and Infant NursingⅢ						
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等 母性看護学は、人間の健康を性と生殖の側面から考え、看護的な援助が必要な状況や援助方法を理解する科目である。ここでは主に、妊娠・分娩・育児期の女性と新生児期のこども、および家族の看護課題と看護援助に関する基本的な知識を習得する。						
授業の到達目標(SB0s) 妊娠、分娩、産褥期の女性と新生児に対する看護の基本的な考え方を理解する。さらに、看護計画の立案、実施・評価を行うための基本的な知識を習得し、健康状態のアセスメントが行えることを目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護①	大久保 功子
2	4/22	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護②	大久保 功子
3	5/8	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	妊娠期の看護③	大久保 功子
4	5/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	分娩中・直後の看護	三隅 順子
5	6/10	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	新生児の観察とアセスメント	大久保 功子
6	6/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	産褥期の看護ケア	三隅 順子
7	6/17	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	NICU の看護	木下 千鶴
8	6/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	母性看護学Ⅲ	新生児の看護ケア	大久保 功子
成績評価の方法 小テストを適時行う。学期末試験、平常点から総合的に評価する。また、母性看護の領域でよく用いられる専門用語に関しては、英語での出題もあるので学習しておくこと。						
準備学習などについての具体的な指示 周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはテキストで予習しておくこと。また、この科目の基盤として、基礎看護学や成人看護学で学んだ看護過程の展開や関連図についての知識が必要である。再度、その点について復習しておくこと。また、関連する臨床のガイドラインなどにも目を通していただくことが望ましい。						
試験の受験資格 2／3 の出席をしていること。						
教科書 母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編:メディカ出版, 2013 母性Ⅰ／前原澄子 編:中央法規出版, 2011 母性Ⅱ／前原澄子 編:中央法規出版, 2011 マタニティサイクルにおける母子の健康と看護／新道幸恵,中野仁雄, 遠藤俊子 編:メヂカルフレンド社, 2013 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル／大平光子, 井上尚美, 大月恵理子, 佐々木くみ子, 林ひろみ 編集:南江堂, 2012						
参考書 健康増進のためのウェルネス看護診断／Karen M.Stolte [著],小西恵美子, 太田勝正 共訳:南江堂, 1997 周産期エクスパートナーシング／本庄英雄, 宮中文子 編:南江堂, 2003 妊娠・出産ケアガイド:安全で有効な産科管理／マレー・エンキン [ほか]著,北井啓勝 監訳:医学書院エムワイダブリュー, 1997 今日の助産:マタニティサイクルの助産診断・実践過程／北川真理子, 内山和美 編集,生田克夫 医学監修:,南江堂, 2013						
他科目との関連 この科目は、母性看護学演習と同時に受講することを前提として計画され、後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識を学ぶ科目である。他の看護専門科目で学習した看護理論、看護過程の考え方などを十分理解した上で参加していただきたい。						

履修上の注意事項

講義では、学生に問題を投げかけ、学生がそれについて意見を出し合う時間を多く持つ予定である。自分の意見を積極的に述べ、他者に論理的に説明する能力を高める努力をしてほしい。

連絡先

三隅 順子 j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後
後期:毎週水曜日午後(会議時除く)
場所/3号館17階リプロ3研

時間割番号	012046																																																																																		
科目名	母性看護学演習																																																																																		
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子																																																																																		
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1																																																																														
英文名: Seminar of Maternal and Infant Nursing																																																																																			
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室2(3号館17階)ほか																																																																																			
授業の目的、概要等 この科目では、母性看護学で学んだ基礎知識を、実際の看護展開に活用できるよう、複数の周産期の女性事例に関する看護計画立案を通して母性看護学領域に特有の看護の思考過程を習得する。また、母性看護学領域に特有の援助技術を実習室における技術演習、ロールプレイを通して習得する。																																																																																			
授業の到達目標(SB0s) 母性看護学で学習した知識を基礎として、母子の健康をアセスメントし看護援助の計画・立案が行え、母性看護学の対象と看護援助の特徴をふまえた看護技術を習得し、母性看護学実習を行う上で必要な看護実践能力を養うことを目標とする。																																																																																			
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>日付</th><th>時刻</th><th>講義室</th><th>授業題目</th><th>担当教員</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/17</td><td>14:40-16:10</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>大久保 功子</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/17</td><td>16:20-17:50</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>三隅 順子</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/25</td><td>16:20-17:50</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>井村 真澄</td></tr> <tr><td>4</td><td>5/8</td><td>16:20-17:50</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>中根 直子, 梅崎 百合子, 河合 蘭</td></tr> <tr><td>5</td><td>6/5</td><td>16:20-17:50</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>三隅 順子</td></tr> <tr><td>6-7</td><td>6/19</td><td>13:00-16:10</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子</td></tr> <tr><td>8</td><td>6/19</td><td>16:20-17:50</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>三隅 順子</td></tr> <tr><td>9-10</td><td>6/24</td><td>13:00-16:10</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子</td></tr> <tr><td>11-12</td><td>6/26</td><td>08:50-12:00</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/1</td><td>10:30-12:00</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>三隅 順子</td></tr> <tr><td>14-15</td><td>7/3</td><td>13:00-16:10</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子, 瀬戸 愛, 落合 未祐</td></tr> <tr><td>16</td><td>7/7</td><td>16:20-17:50</td><td>看護学実習室2</td><td>母性看護学演習</td><td>瀬戸 愛, 高木 聡子, 三隅 順子, 大久保 功子</td></tr> </tbody> </table>						回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/17	14:40-16:10	看護学実習室2	母性看護学演習	大久保 功子	2	4/17	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子	3	4/25	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	井村 真澄	4	5/8	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	中根 直子, 梅崎 百合子, 河合 蘭	5	6/5	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子	6-7	6/19	13:00-16:10	看護学実習室2	母性看護学演習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	8	6/19	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子	9-10	6/24	13:00-16:10	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子	11-12	6/26	08:50-12:00	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子	13	7/1	10:30-12:00	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子	14-15	7/3	13:00-16:10	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子, 瀬戸 愛, 落合 未祐	16	7/7	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	瀬戸 愛, 高木 聡子, 三隅 順子, 大久保 功子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																																														
1	4/17	14:40-16:10	看護学実習室2	母性看護学演習	大久保 功子																																																																														
2	4/17	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子																																																																														
3	4/25	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	井村 真澄																																																																														
4	5/8	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	中根 直子, 梅崎 百合子, 河合 蘭																																																																														
5	6/5	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子																																																																														
6-7	6/19	13:00-16:10	看護学実習室2	母性看護学演習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子																																																																														
8	6/19	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子																																																																														
9-10	6/24	13:00-16:10	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子																																																																														
11-12	6/26	08:50-12:00	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子																																																																														
13	7/1	10:30-12:00	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子																																																																														
14-15	7/3	13:00-16:10	看護学実習室2	母性看護学演習	三隅 順子, 大久保 功子, 廣山 奈津子, 瀬戸 愛, 落合 未祐																																																																														
16	7/7	16:20-17:50	看護学実習室2	母性看護学演習	瀬戸 愛, 高木 聡子, 三隅 順子, 大久保 功子																																																																														
成績評価の方法 レポート、平常点から総合的に評価する。出席を重視する。																																																																																			
準備学習などについての具体的な指示 周産期の看護に関する各講義の基礎的な内容についてはテキストで予習をしておくこと。 基礎看護学や成人看護学で学ぶ看護過程や関連図については習得されていることが前提ルので復習をしておくこと。臨床の状況について引きつけて考えるためには、母性衛生、助産学会誌などの学術誌、およびペリネイタルケアや助産雑誌などの専門職のための月刊誌などの内容に日常的にアクセスしておくことが望ましい。																																																																																			
教科書 母性看護技術／横尾京子, 中込さと子 編:メディカ出版, 2007 母性Ⅰ／前原澄子 編:中央法規出版, 2011 母性Ⅱ／前原澄子 編:中央法規出版, 2011																																																																																			
参考書 WHOの59カ条お産のケア実践ガイド／WHO／〔編〕戸田律子／訳:農山漁村文化協会, 1999 出産革命のヒロインたち:アメリカのお産が変わったとき／マーゴット・エドワーズ, メアリー・ウォルドルフ 著,河合蘭 訳:メディカ出版, 1997 母乳育児の看護学:考え方とケアの実際／松原まなみ, 山西みな子 著,:メディカ出版, 2003 母乳育児支援スタンダード／日本ラクテーション・コンサルタント協会 編集:医学書院, 2012 マタニティアセスメントガイド = Maternity Assessment Guide／吉沢豊予子, 鈴木幸子 編著,:真興交易医書出版部, 2012																																																																																			

写真でわかる助産技術：妊産婦の主体性を大切にしたケア、安全で母子に優しい助産のわざ／平澤美恵子、村上睦子 監修、：インターメディカ、2012

カラー写真で学ぶ周産期の看護技術／櫛引美代子 著、：医歯薬出版、2007

カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術／櫛引美代子 著、：医歯薬出版、2006

カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術／櫛引美代子 著、：医歯薬出版、2006

他科目との関連

この科目は、母性看護学と同時に受講することを前提として計画され、後期の母性看護学実習を行う上で必須の基礎知識と基礎技術を習得するための科目である。他の看護専門科目で習得した看護技術を母性看護学のケアの特徴に沿って活用していくため、既習の知識・技術を十分理解した上で参加していただきたい。また、この科目は、母性看護学実習に参加するための取得必須科目である。

履修上の注意事項

演習が主体であるため、欠席すると補習はできないので注意してほしい。

連絡先

三隅 順子 j.misumi.rhn@tmd.ac.jp

オフィスアワー

三隅 順子:前期:毎週火曜日午後

後期:毎週水曜日午後(会議時除く)

場所／3号館17階リプロ3研

時間割番号	012047						
科目名	母性看護学実習						
担当教員	大久保 功子, 三隅 順子						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2		
英文名:Practice of Maternal and Infant Nursing							
授業の目的、概要等							
妊娠・分娩、産褥期にあるローリスクの女性とその胎児・新生児および家族の特徴を理解し、一般的(ルティーン)な看護活動の必要性を理解しながら、指導者と共に実践できる。また、同時期のハイリスクの女性とその看護活動についても理解する。							
授業の到達目標(SB0s)							
教育目標							
1)妊娠、分娩、産褥期の女性の身体的な変化を理解し、健康の保持増進にむけた援助ができる。							
2)胎児・新生児の成長発達を診査し、健康の保持増進にむけた援助ができる。							
3)本人および父親、家族の新しい役割への適応を診査し、適応を促すための援助ができる。							
4)リスクを持つ妊産婦の場合、本人および胎児、新生児の異常の早期発見・予防のための援助ができる。							
行動目標							
1)受け持ちの母子に関する系統的な情報収集を行うことができる。							
2)受け持ちの母子の健康状態に影響する要因に関連づけて考えることができる。							
3)受け持ちの母子に固有の要因から起こりうる異常を予測することができる。							
4)現実的で実行可能、かつ評価しうる表現で目標を設定することができる。							
5)具体的で実行可能な看護活動を計画することができる。							
6)計画した看護活動を実施し、評価することができる。							
7)変化する状況に応じて看護計画を修正することができる。							
8)専門職としてふさわしい態度と行動をとることができる。							
9)継続的な看護活動を行うための保健医療チームの一員としての役割を考えることができる。							
10)必要な連絡調整に参加することができる。							
11)目標を達成するために積極的に教員・スタッフに要望を申し出ることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	08:00-17:00		母性看護学実習	技術テスト・オリエンテーション	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	
2	9/30	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	B-8階病棟,詳細は実習要項を参照のこと
3	10/2	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
4	10/3	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子	詳細は実習要項を参照のこと
5	10/6	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
6	10/7	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
7	10/9	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと

8	10/10	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
9	10/14	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
10	10/16	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
11	10/17	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
12	10/20	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
13	10/21	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
14	10/23	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
15	10/24	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
16	10/27	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
17	10/28	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
18	10/30	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
19	10/31	08:00-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
20	11/4	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
21	11/6	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
22	11/7	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
23	11/10	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
24	11/11	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
25	11/13	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと

26	11/14	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
27	11/17	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
28	11/18	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
29	11/20	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
30	11/21	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	大久保 功子, 三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
31	11/25	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
32	11/27	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
33	11/28	08:00-16:30		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
34	12/1	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
35	12/2	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
36	12/4	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
37	12/5	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
38	12/8	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
39	12/9	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
40	12/11	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
41	12/12	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
42	12/15	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
43	12/16	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
44	12/18	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
45	12/19	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと
46	1/13	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
47	1/15	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項 を参照のこと
48	1/16	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子	詳細は実習要項 を参照のこと

49	1/19	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
50	1/20	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
51	1/22	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
52	1/23	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子	詳細は実習要項を参照のこと
53	1/26	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
54	1/27	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
55	1/29	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
56	1/30	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子	詳細は実習要項を参照のこと
57	2/2	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
58	2/3	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
59	2/5	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子, 廣山 奈津子	詳細は実習要項を参照のこと
60	2/6	08:30-17:00		母性看護学実習	産科領域での看護実習	三隅 順子	詳細は実習要項を参照のこと
授業内容 (詳細については実習要項参照)							
成績評価の方法 思考過程・技術・態度の3側面、20項目の評価項目により、実習中の状況を評価する。							
準備学習などについての具体的な指示 技術テストをクリアしていることが臨地実習に出るための前提となるので、母性看護学演習で学んだ技術:新生児の全身観察、新生児の沐浴手技、妊産婦の観察、褥婦の観察の4種目についてはテスト前に各実習グループ単位で、実習室のアポイントをとり練習に来て復習を行い、手技を身につけること。							
教科書 母性看護実践の基本／横尾京子, 中込さと子 編:メディカ出版, 2013 母性Ⅰ／前原澄子 編:中央法規出版, 2011 母性Ⅱ／前原澄子 編:中央法規出版, 2011 母性看護技術／横尾京子, 中込さと子 編:メディカ出版, 2007							
備考 ツイッター等への投稿に対する注意事項について 実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワークサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。							
連絡先 三隅 順子 j.misumi.rhn@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 三隅 順子:前期:毎週火曜日午後 後期:毎週水曜日午後(会議時除く) 場所/3号館17階リプロ3研							

時間割番号	012048					
科目名	老年看護学					
担当教員	緒方 泰子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	3	
英文名: Gerontological Nursing						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)ほか						
授業の目的、概要等						
高齢者の心身・社会経済的な変化に関する理解を基盤として、老年期に発症しやすい健康障害・機能障害とそれらに対する基本的な支援技術を習得する。老年期にある対象を理解するための基本的概念・理論を学ぶ。また、老年看護学の背景となる日本社会における保健・医療・福祉の動向を知り、医療チームの一員として多角的な視野をもって看護を提供するための基本的な態度を養う。						
授業の到達目標(SBOs)						
・教育方針						
老年看護学の教育方針は、老年期にある対象を理解し、看護援助を創造していく知識と技術を養うことである。さらに、学問としての老年看護学の確立に資することを目指している。						
・教育目標						
1) 老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面の特徴を理解する。						
2) 高齢者の健康障害とそれに伴う諸問題、およびそれらに対する基本的な支援技術を習得する。						
3) 高齢者と家族に対する看護援助の基本を習得する。						
4) 高齢者の健康状態を維持するための保健・福祉・医療の活動を理解し、その中で看護の役割について理解する。						
5) 多くの人生経験をつんだ高齢者を尊重する態度を養う。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/7	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢者を理解するための基本的概念について学ぶ。 高齢者の視点を理解し、看護の基本姿勢を養う。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
3-4	4/14	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。 高齢者の保健・医療・福祉に関する仕組みについて最近の動向などを理解する。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
5-6	4/21	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。 高齢者看護に関するリスク管理について学ぶ。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
7	5/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
8	5/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	認知症の病態および認知症高齢者を介護する家族の立場を理解し、基本的支援方法を学ぶ。	山本 則子, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
9	5/19	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	老年期に特有な身体的特徴や変化について理解する。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
10	5/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢者ケアを理解する基礎となる高齢者病理を学ぶ。	沢辺 元司, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
11-12	5/26	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢者に頻発する病態・状態と基本的看護方法を学ぶ。 薬物動態・静態の加齢変化と高齢者に与える薬物の特徴、薬剤管理の基本的知	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子

					識について学ぶ。	
13-14	6/2	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢者に頻発する病態・状態と基本的看護方法を学ぶ。在宅療養からみた高齢者ケアについて学ぶ。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
15	6/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢者に頻発する病態・状態と基本的看護方法を学ぶ。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
16	6/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢者をケアする介護職と看護職の連携のあり方を学ぶ。	内田 千恵子, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
17-18	6/16	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢者に頻発する病態・状態と基本的看護方法を学ぶ。途上国の高齢化・健康課題について学ぶ。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
19-20	6/23	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢患者の急性期、慢性疾患の事例をもとに看護過程を展開する。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
21-22	6/30	08:50-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢者の事例をもとに看護過程におけるアセスメント、看護目標、看護ケア、評価指標を整理する。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
23	7/7	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	高齢者看護における倫理的ジレンマとそれに対する意思決定プロセスを学ぶ。	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
24	7/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	老年看護学	特別養護老人ホームなど、医療機関以外での看護師の役割について学ぶ。	川崎 千鶴子, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子

成績評価の方法

学期末の試験を主とし、出席状況、課題への取り組み姿勢(グループワーク等)、課題レポートなどを総合的に評価する。
テキストや配布資料に記載された英語(単語や文章)をそのまま試験に引用することもあるため、よく理解しておく必要がある。

準備学習などについての具体的な指示

授業中に提示された課題について、グループ毎に取り組み(グループワーク)学習成果を発表する機会を設けている。課題についての事前準備学習(情報収集、資料作成など)が必要となる。課題には、英文の老年医学等の専門書を用いて行うものも含まれる。

他科目との関連

対象別看護として高齢者を対象としているため、病態学、生理学などの基礎的な医学知識や基礎・成人看護学における内容をふまえながら、高齢者独自の看護学の授業を展開する。

履修上の注意事項

1)授業中の入退室は、原則として認めない。 2)授業日時、内容は変更することがある。

時間割番号	012049					
科目名	老年看護学演習					
担当教員	緒方 泰子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Seminar of Gerontological Nursing						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室1(3号館17階)ほか						
授業の目的、概要等						
老年看護学の実践に必要な基礎的なアセスメント技術について、演習を通じて習得する。						
授業の到達目標(SBOs)						
・教育方針						
高齢化社会を迎え、老年看護における独自の看護の役割と機能を果たすため、身体的・精神的・社会的な看護ケアの専門的な知識や技術が求められている。老年看護学での教育方針は、老年期にある対象を理解した上で、看護援助の知識に基づいた技術をグループワークや実習などの体験から養うことである。演習は、老年看護に今後ますます必要とされるフィジカルアセスメントを系統的に学習し、基本技術を身につける。						
・教育目標						
1) 老年期にある対象の身体的・精神的・社会的側面の知識に基づき演習を行える。						
2) 老年期にある対象の健康障害・機能障害をアセスメントするための基本技術を習得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/8	13:00-17:50	保健衛生学実習室	老年看護学演習	フィジカルアセスメントとは何か 査定の基本技術・生活状況・精神状態、胸部のアセスメント	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
4-6	4/22	13:00-17:50	保健衛生学実習室	老年看護学演習	摂食・嚥下、腹部のアセスメント	山田 正己, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
7-9	5/13	13:00-17:50	保健衛生学実習室	老年看護学演習	頭頸部、神経系のアセスメント	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
10-12	5/27	13:00-17:50	保健衛生学実習室	老年看護学演習	筋骨格系、皮膚のアセスメント、 フィジカルアセスメント総括1	永野 みどり, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
13-15	6/10	13:00-17:50	保健衛生学実習室	老年看護学演習	フィジカルアセスメント総括2	永野 みどり, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
成績評価の方法						
出席の有無、参加態度、実技試験、課題レポートなどを総合的に評価する。						
また試験において、テキストや配布資料に掲載された英語(単語、英文)を引用することがあるため、よく理解をしておくこと。						
準備学習などについての具体的な指示						
講義・演習内容について、テキストの当該箇所を事前学習しておくこと。テキストに掲載されていない講義内容は授業中に資料として配布するが、関連する内容について他の書籍等で確認しておくこと。配布資料には、英文による専門書の内容も含まれる。						
他科目との関連						
老年看護学をふまえて、演習を行う。						
履修上の注意事項						
1)実習着については、随時指定する。 2)授業中の入退室は認めない。 3)原則として欠席は認めない。 4)授業日時、内容は変更することがある。						

時間割番号	012050					
科目名	リハビリテーション看護学					
担当教員	緒方 泰子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Rehabilitation Nursing						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)ほか						
授業の目的、概要等						
リハビリテーションについての概念や理論について学ぶとともに、その基本的な技術や看護について実習を通して修得する。						
授業の到達目標(SB0s)						
リハビリテーション看護学の位置づけを明確にするとともに、リハビリテーションの概念を人間の基本的生活を保障するための人権思想や、ノーマライゼーション、QOLの観点から捉える。その上で、リハビリテーション看護の概念、対象、方法を学び、リハビリテーションチームにおける看護、他の専門職種の役割・機能と連携によるチームアプローチを理解する。また、リハビリテーション分野における活動、作業療法、言語療法の基本を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/19	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	脳卒中看護へのリハビリテーション看護	黒河内 仙奈, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
2	5/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	リハビリテーション看護の概念と理論、リハビリテーション看護の今日的課題	小林 由紀子, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
3	6/2	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	医学的リハビリテーションの定義、リハビリテーションの対象疾患の障害、診断・評価、治療内容	森田 定雄, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
4	6/9	14:40-16:10	看護学実習室1	リハビリテーション看護学	理学療法とは何か、理学療法の役割・機能、機能障害における評価法、機能回復訓練と補助具による支援	葛山 智宏, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
5	6/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	言語療法とは何か、言語療法士の役割・機能、言語障害の種類と評価法、言語訓練(失語症、構語障害)	大庭 優香, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
6	6/23	14:40-16:10	看護学実習室1	リハビリテーション看護学	作業療法とは何か、作業療法士の役割・機能、作業療法の種類と評価法、作業療法訓練	新田 淳子, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
7	6/23	16:20-17:50	看護学実習室1	リハビリテーション看護学	高齢者へのリハビリテーション看護	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
8	6/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室2	リハビリテーション看護学	脊椎損傷を持つ患者へのリハビリテーション看護	室岡 陽子, 緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子
成績評価の方法						
1)授業、演習に関する課題レポートより評価する。						

2)出席日数は認定の基準とする。

※課題レポートは、講義内容に関連した分野の研究論文(英文)をもとに作成する。研究論文(英文)は後日提示する。

準備学習などについての具体的な指示

講義内容についてテキストで基本的な知識を押さえておくこと。各テーマごとに専門の講師が講義を行う予定なので、基礎知識があると質問がしやすいという利点がある。

また後期の老年看護学実習においてリハビリテーションが必要な患者を受け持つ機会もあるため、実習の前にリハビリテーションの知識を深めておくことでより良い実習に向けた準備となる。

他科目との関連

解剖学, 生理学, 疾病論などの医学知識, 基礎看護学, ライフサイクル別看護学, 在宅ケア論, 地域看護学系の教科目のみならず, 社会福祉学, 保健医療制度論などの分野と関係づけていくことが必要である。

履修上の注意事項

1)授業中の入退室は認めない。 2)実習の際の服装について、随時指示する。 3)授業日時、内容は変更することがある。

時間割番号	012051						
科目名	老年看護学実習						
担当教員	緒方 泰子						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	3		
英文名: Gerontological Nursing Practicum							
授業の目的、概要等							
老年期にある人と家族の特徴を理解し、対象の個性や状況に応じた看護の必要性を十分に考慮した上で、看護実践を展開する。							
授業の到達目標(SBOs)							
(1) 老年期にある人とその家族(以下、対象者とする)の身体的・心理的・社会的側面を統合し、全体像をとらえ、看護過程を展開する。							
1) 情報収集							
ア) 対象者の身体的側面の情報を収集する。 (健康障害の経過、治療、予後など)							
イ) 対象者の心理的側面の情報を収集する。 (生きがいなど対象者が大切にしていることも含める)							
ウ) 家族的背景およびソーシャルサポートなどの社会的側面の情報を収集する。							
2) アセスメント							
ア) 対象者の日常生活全般における動作や活動の障害および精神機能のレベルを分析する。							
イ) 対象者の自立と依存のバランスを考え、自己決定やセルフケア能力のレベルを明らかにする。							
ウ) 対象者の潜在している能力や機能を的確に判断する。							
エ) 対象者の特徴を統合し、全体像を図示し、説明する。							
オ) 看護問題について、個性を反映した適切な表現で記述する。							
3) 計画立案							
ア) 看護問題に対し、長期的・短期的目標を設定する。							
イ) 状況に合わせて、看護上の問題の優先順位をつける。							
ウ) 対象者の個性を考慮し、実施可能な看護援助を記述する。							
エ) スタッフとの連携を図るため、計画を説明し共有する。							
4) 計画の実施							
ア) 対象者の安全・安楽を考慮し、的確な技術で実施する。							
イ) 看護援助に対する対象者の反応に応じて、計画を修正する。							
ウ) 実施した看護援助の状況を、スタッフに説明することができる。							
5) 評価							
ア) 目標への達成度の評価を記述する。							
イ) 評価に基づき、看護計画を修正する。							
(2) 保健・医療・福祉のスタッフの役割・活動内容を理解し、看護の役割、活動内容について考える。							
1) 対象者に関わる保健・医療・福祉職の活動内容を把握する。							
2) 看護と介護を比較し、共通点、相違点を考える。							
3) 看護の役割・活動の課題と展望を考える。							
(3) 高齢者の専門医療機関(老人病院)や施設の特徴を理解する。							
一般病院と高齢者の専門医療機関や施設について、基本的なシステムの違いを知るとともに、ケアに関連してどのような課題があるのかを整理する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/29	08:50-17:50	保健衛生学実習室	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
2	9/30	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
3	10/2	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子,	詳細は実習要

						霜越 多麻美 森 陽子	項参照
4	10/3	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
5	10/6	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
6	10/7	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
7	10/9	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
8	10/10	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
9	10/14	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
10	10/16	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
11	10/17	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
12	10/27	08:50-17:50	保健衛生学実習室	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
13	10/28	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
14	10/30	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
15	10/31	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
16	11/4	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
17	11/6	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
18	11/7	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
19	11/10	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照

20	11/11	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
21	11/13	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
22	11/14	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
23	11/25	08:50-17:50	保健衛生学実習室	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
24	11/27	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
25	11/28	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
26	12/1	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
27	12/2	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
28	12/4	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
29	12/5	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
30	12/8	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
31	12/9	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
32	12/11	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
33	12/15	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
34	12/16	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
35	1/13	08:50-17:50	保健衛生学実習室	老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
36	1/15	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子,	詳細は実習要

						霜越 多麻美 森 陽子	項参照
37	1/16	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
38	1/19	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
39	1/20	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
40	1/22	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
41	1/23	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
42	1/26	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
43	1/27	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
44	1/29	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
45	2/2	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
46	2/3	08:50-17:50		老年看護学実習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照
47	2/10	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2	老年看護学実習 振り返り学習	詳細については実習要項参照	緒方 泰子, 霜越 多麻美 森 陽子	詳細は実習要 項参照

授業内容 (詳細については実習要項参照)

準備学習などについての具体的な指示

実習初日の学内演習で、受け持ち患者が概ね決定するため、関連する疾患などを自己学習する必要がある。老年期の患者は疾患が多いため、前期の講義などで疾病、薬剤、検査、アセスメントなどの基礎知識を押さえておくことで、実習が順調に進む。

備考

ツイッター等への投稿に対する注意事項について

実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。

時間割番号	012052						
科目名	地域保健看護学Ⅰ						
担当教員	佐々木 明子						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1		
英文名:Community Health NursingⅠ							
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)							
授業の目的、概要等 地域保健看護学総論は、人々の健康問題やそれに関連する生活上の問題を、幅広い視野をもって総合的に解決するための基盤となるものである。							
授業の到達目標(SBOs) 地域看護・公衆衛生看護は、地域の健康課題の把握に基づき、家庭や地域社会で生活する人々を対象とする。地域看護は、健康の保持・増進、疾病の予防、健康障害者の健康回復と悪化の予防、リハビリテーションなど地域でなされる保健・医療・福祉活動の地域ヘルスケアシステムの中でサブシステムとして機能する。現在行われている地域看護・公衆衛生看護に関係する諸制度を、地域看護・公衆衛生看護の歴史や実際の活動の学習を通して考える。地域の特色を把握した上で、ライフサイクル、健康レベル、疾病のプロセスに合わせたセルフケアに基づく、看護の方法の選択と、諸機関との共同で組織的に地域看護・公衆衛生看護活動を展開するための基礎を習得する。 教育目標は以下のとおりである。 1)地域看護・公衆衛生看護活動の目的、活動の成立要件、活動のすすめ方の基本的なプロセスを理解する。 2)ヘルスケアシステムにおける地域看護の機能を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/11	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ(総論)	地域看護・公衆衛生看護の定義と目的	佐々木 明子	
2	4/11	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ(総論)	地域看護・公衆衛生看護の活動方法	佐々木 明子、 津田 紫緒	
3	4/18	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ(総論)	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田 久美子	
4	4/18	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ(総論)	地域保健の法律と地域看護・公衆衛生看護活動の歴史	森田 久美子	
5	4/25	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ(総論)	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	津田 紫緒	
6	4/25	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ(総論)	地域看護・公衆衛生看護の対象と活動の展開	津田 紫緒	
7	5/2	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ(総論)	地域保健、福祉行政と看護活動の展開	錦織 正子	東都医療大学
8	5/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	地域保健看護学Ⅰ(総論)	地域看護・公衆衛生看護活動の実際	錦織 正子	東都医療大学
成績評価の方法 定期試験、レポート							
準備学習などについての具体的な指示 授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて資料などを用いてふりかえる振り返ることが望ましい。							
教科書 公衆衛生看護学／津村智恵子, 上野昌江 編:中央法規出版, 2012							
参考書 最新保健学講座／金川克子 編:メヂカルフレンド社, 2011 地域看護学／福島道子 編:オーム社, 2007							

保健師業務要覧／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編集: 日本看護協会出版会, 2013

実践ヘルスプロモーション : precede-proceed モデルによる企画と評価／ローレンス・W.グリーン, マーシャル・W.クロイター 著, 神馬征峰 訳: 医学書院, 2005

標準保健師講座: 医学書院, 2011

他科目との関連

地域保健看護学の科目の基盤となるものとして位置づけられている。そして基礎看護学や臨床看護学の各科目と地域保健看護学との接点領域でもあり両者の相違や関連も明らかにする。

履修上の注意事項

本教科は、講義のみではなく、課題について考えるディスカッション、グループワーク等で構成される。学生間の積極的な意見交換を期待する。

時間割番号	012053						
科目名	地域保健看護学Ⅱ						
担当教員	佐々木 明子						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1		
英文名:Community Health NursingⅡ							
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)							
授業の目的、概要等 地域保健看護・公衆衛生看護の対象を、個人だけではなく家族の枠組みで捉え、その基礎となる家族看護学の理論と実際を学ぶ。							
授業の到達目標(SBOs) 1)家族看護学の理論的発展と実際の家族への関り方について理解する。 2)乳幼児から高齢者までを対象とする地域保健看護の場面においてみられる多様な家族像を理解し、その家族に生じる問題を理解し、看護の関わり方を理解する。また、家族アセスメントの方法を理解し、家族の捉え方の実際を学ぶ。 3)家族に対する相談支援の実際について、家族への働きかけを理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/9	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学Ⅱ (家族ケア論)	家族および家族看護学の 概念と理論	佐々木 明子, 津田 紫緒	
2	5/9	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学Ⅱ (家族ケア論)	家族および家族看護学の 概念と理論	佐々木 明子, 津田 紫緒	
3	5/16	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学Ⅱ (家族ケア論)	家族の健康課題に応じた 家族支援	佐々木 明子, 津田 紫緒	
4	5/16	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学Ⅱ (家族ケア論)	家族の健康課題に応じた 家族支援	佐々木 明子, 津田 紫緒	
5	5/23	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学Ⅱ (家族ケア論)	家族に対する支援の実際	錦織 正子	東都医療大学
6	5/23	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学Ⅱ (家族ケア論)	家族に対する支援の実際	錦織 正子	東都医療大学
7	5/30	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学Ⅱ (家族ケア論)	家族アセスメントと家族支 援の方法	佐々木 明子, 津田 紫緒	
8	5/30	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 2	地域保健看護学Ⅱ (家族ケア論)	家族アセスメントと家族支 援の方法	佐々木 明子, 津田 紫緒	
成績評価の方法 レポート							
準備学習などについての具体的な指示 授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。							
参考書 家族看護学：理論と実践／鈴木和子, 渡辺裕子 著.: 日本看護協会出版会, 2012 家族生活力量モデル：アセスメントスケールの活用法／家族ケア研究会 編著.: 医学書院, 2002 家族看護学：理論とアセスメント／Marilyn M.Friedman [著]野嶋佐由美 監訳.:へるす出版, 1993 地域看護学講座:医学書院, 1999							
他科目との関連 母性看護、小児看護、成人看護、老年看護の発達段階別看護領域すべてに関連するので、これまでの各領域での学習を振り返りつつ、家族看護の視点で統合することが必要である。							
履修上の注意事項 本科目は、講義のみではなく、課題について考えるディスカッション、グループワーク等で構成される。学生間の積極的な意見交換を期待する。							

時間割番号	012054					
科目名	在宅看護学Ⅱ					
担当教員	本田 彰子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:Home Care NursingⅡ						
主な講義場所 保健衛生学講義室2(3号館8階)						
授業の目的、概要等 在宅看護学で特に重要とされる施設との連携、他職種の連携について、またケアマネジメントの実際について理解することにより、在宅療養支援の実際と看護職の専門性を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs) 在宅の場面で、保健医療福祉の制度や社会情勢の動向を考慮し、施設と地域の連携、看護職連携、他職種連携等のケアコーディネートの理論と実践を理解し、看護職の役割と実際を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/6	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅ケアを支える法制度・社会のしくみ	本田 彰子
2	6/6	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	訪問看護に関わる介護保険制度	川上 千春
3	6/13	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	在宅療養支援の実際	本田 彰子
4	6/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	医療施設等との連携・協働	川上 千春
5	6/20	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	ケアマネジメントの理論と実際	松本 由美子
6	6/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	ケアマネジメントの理論と実際	松本 由美子
7	6/27	08:50-10:20	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	演習 看護過程	本田 彰子， 川上 千春
8	6/27	10:30-12:00	保健衛生学科講義室2	在宅看護学Ⅱ	演習 看護過程	本田 彰子， 川上 千春
成績評価の方法 出席、および定期試験						
準備学習などについての具体的な指示 受講前に、教科書の該当する章を読んでおくこと。介護保険等の法制度に関しては、巻末資料に目を通しておくこと。						
参考書 エッセンシャル在宅看護学／木下由美子 編著:医歯薬出版、2007 在宅看護論：自分らしい生活の継続をめざして／石垣和子、上野まり 編:南江堂、2012						
他科目との関連 2年次に学習した在宅看護学Ⅰをさらに発展させ、訪問看護における看護過程やケアマネジメントを学ぶことにより、在宅看護学実習での療養者への支援の展開につながる科目である。						

時間割番号	012055					
科目名	在宅看護学演習					
担当教員	本田 彰子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
英文名:seminar of Home Care Nursing						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)、看護学実習室(3号館17階)						
授業の目的、概要等						
療養者の状態が多様化する在宅看護の現状に対応するよう、訪問看護における援助技術、および具体的な看護の展開を学ぶ。						
授業の到達目標(SB0s)						
訪問看護で必要とされるフィジカルアセスメント、呼吸管理、リハビリテーション技術、栄養管理に関する技術について、その理論と実際について理解し、事例を通して、具体的看護援助の方法を身につける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	オリエンテーション・在宅療養環境のアセスメント	本田 彰子
2	5/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	看護過程 事例:難病患者の看護	本田 彰子
3	5/16	14:40-16:10	看護学実習室 1	在宅看護学演習	呼吸器疾患療養者の呼吸管理(在宅酸素療法)	本田 彰子
4	5/16	16:20-17:50	看護学実習室 2	在宅看護学演習	呼吸器疾患療養者の呼吸管理(在宅酸素療法)	本田 彰子
5	5/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	移動・移乗の援助技術および在宅リハビリテーション	高井 豊
6	5/23	16:20-17:50	看護学実習室 1	在宅看護学演習	移動・移乗の援助技術および在宅リハビリテーション	高井 豊
7	5/30	14:40-16:10	看護学実習室 1	在宅看護学演習	難病療養者の呼吸管理(人口呼吸法)・コミュニケーション方法	中山 優季
8	5/30	16:20-17:50	看護学実習室 2	在宅看護学演習	難病療養者の呼吸管理(人口呼吸法)・コミュニケーション方法	中山 優季
9	6/6	13:00-14:30	看護学実習室 1	在宅看護学演習	褥瘡患者の看護の実際	遠藤 貴子
10	6/6	14:40-16:10	看護学実習室 2	在宅看護学演習	褥瘡患者の看護の実際	遠藤 貴子
11	6/13	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	栄養管理(経管栄養・中心静脈栄養等)	菊島 郁丸
12	6/13	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	栄養管理(経管栄養・中心静脈栄養等)	菊島 郁丸
13	6/20	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	看護過程 事例:高齢者の看護	本田 彰子
14	6/20	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学演習	看護過程 事例:高齢者の看護	本田 彰子
15	6/27	13:00-14:30	看護学実習室 1	在宅看護学演習	看護過程 ロールプレイ演習	本田 彰子, 川上 千春
16	6/27	14:40-16:10	看護学実習室 2	在宅看護学演習	看護過程 ロールプレイ演習	本田 彰子, 川上 千春
成績評価の方法						
出席、講義毎の提出物、および定期試験						
準備学習などについての具体的な指示						
演習前に、該当する技術に関して事前に教科書:ステップ 1-②訪問看護技術編や参考書を用いて予習しておくこと。						
参考書						
新看護観察のキーポイントシリーズ在宅看護／水戸美津子 編集:中央法規出版, 2014						
根拠がわかる在宅看護技術／岡崎美智子, 正野逸子 編:メヂカルフレンド社, 2010						
他科目との関連						
在宅看護学実習で必要な看護技術および看護過程の展開を学ぶ。						

時間割番号	012056						
科目名	在宅看護学実習						
担当教員	本田 彰子						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	2		
英文名:Practice of Home Care Nursing							
授業の目的、概要等							
在宅療養者と家族に対する在宅ケアの実際と展開方法を知り、その看護提供のシステムにおいて活動する看護職の役割を学ぶ。							
授業の到達目標(SB0s)							
1) 訪問看護実習							
・ 訪問看護利用者とその家族の療養上の問題をアセスメントすることができる。							
・ 訪問看護利用者と家族に必要な看護を見出し、看護計画を立案できる。							
・ 同行訪問により在宅での看護提供の実際を学ぶ。							
・ 在宅療養に必要な社会資源の活用について学ぶ。							
2) ケアマネジメント実習							
・ 介護保険、および福祉制度等の仕組みを理解する。							
・ 居宅介護支援に関する具体的ケア提供の方法を理解する。							
・ 療養者を取り巻く関係施設、および各専門職との連携、マネジメントについて理解する。							
3) 退院支援および継続看護実習							
・ 医療施設等から在宅療養への移行期に求められる、療養者の状況のアセスメントについて理解する。							
・ 医療施設等から在宅療養への移行期において、目標設定、および必要な援助を見出す退院計画について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/25	08:50-17:50	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学実習 オリエンテーション	詳細については実習要項参照	本田 彰子	開始時刻は 9 時 30 分より
2	9/29	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
3	9/30	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
4	10/2	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
5	10/3	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
6	10/6	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
7	10/7	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
8	10/9	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
9	10/10	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
10	10/14	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
11	10/16	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
12	10/17	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
13	10/20	08:50-17:50		在宅看護学実習	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照

62	2/9	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 2	在宅看護学実習報告会	詳細については実習要項参照	本田 彰子	詳細は実習要項参照
授業内容 * 詳細については実習要項参照							
準備学習などについての具体的な指示 実習までに自転車に乗れるようにしておくこと。また、在宅看護学Ⅱ・在宅看護学演習の学習で用いた在宅看護過程の資料を用いて情報収集と整理・アセスメントについて復習し、在宅看護における看護計画立について振り返りをしておくこと。							
備考 ツイッター等への投稿に対する注意事項について 実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。							

第 4 学年

平成26年度時間割(看護学専攻:第4学年)

	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/7	月		産業保健学(1)	4	地域看護学Ⅲ(1)	4	地域看護学Ⅲ(2)	4	看護の統合と実践Ⅱ(1)	4
8	火				保健医療福祉制度論演習(1)	1	保健医療福祉制度論演習(2)	1		
9	水		卒業論文Ⅱ(1)	各研究室			英文講読Ⅲ(1)	2	国際保健福祉	1
10	木				地域看護学演習(1)	1	地域看護学演習(2)	1		
11	金				緩和ケア看護学(1)	1	緩和ケア看護学(2)	1		
	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/14	月		産業保健学(2)	4	地域看護学Ⅲ(3)	4	地域看護学Ⅲ(4)	4	看護の統合と実践Ⅱ(2)	4
15	火				保健医療福祉制度論演習(3)	1	保健医療福祉制度論演習(4)	1		
16	水		卒業論文Ⅱ(2)	各研究室			英文講読Ⅲ(2)	2		
17	木				地域看護学演習(3)	1	地域看護学Ⅲ(5)	1		
18	金	保健統計学(1)	情報検索室	保健統計学(2)	情報検索室	緩和ケア看護学(3)	1	緩和ケア看護学(4)	1	
	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/21	月		産業保健学(3)	4	地域看護学Ⅲ(6)	4	地域看護学Ⅲ(7)	4	看護の統合と実践Ⅱ(3)	4
22	火				保健医療福祉制度論演習(5)	1	保健医療福祉制度論演習(6)	1		
23	水		卒業論文Ⅱ(3)	各研究室			英文講読Ⅲ(3)	2		
24	木				地域看護学演習(4)	1	地域看護学演習(5)	1		
25	金	保健統計学(3)	情報検索室	保健統計学(4)	情報検索室	緩和ケア看護学(5)	1	緩和ケア看護学(6)	1	
	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
4/28	月		産業保健学(4)	4						
29	火	昭和の日								
30	水		卒業論文Ⅱ(4)	各研究室			英文講読Ⅲ(4)	2		
5/1	木				地域看護学演習(6)	1	地域看護学演習(7)	1		
2	金	保健統計学(5)	情報検索室	保健統計学(6)	情報検索室	緩和ケア看護学(7)	1	緩和ケア看護学(8)	1	
	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/5	月	子どもの日								
6	火	振替休日								
7	水	看護の統合と実践(包括医療統合教育)予定日 ※詳細未定								
8	木	看護の統合と実践(包括医療統合教育)予定日 ※詳細未定								
9	金	看護の統合と実践(包括医療統合教育)予定日 ※詳細未定								

平成26年度時間割(看護学専攻:第4学年)

	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/12 月			産業保健学(5)	4	地域看護学Ⅲ(8)	4				
13 火			国際保健看護学(1)	4	保健医療福祉制度論演習(7)	1	保健医療福祉制度論演習(8)	1		
14 水			卒業論文Ⅱ(5)	各研究室			英文講読Ⅲ(5)	2		
15 木					地域看護学演習(8)	1	地域看護学演習(9)	1		
16 金	保健統計学(7)	情報検査室	保健統計学(8)	情報検査室						

	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/19 月			産業保健学(6)	4	地域看護学Ⅲ(9)	4	地域看護学Ⅲ(10)	4	看護の統合と実践Ⅱ(4)	4
20 火			国際保健看護学(2)	4	保健医療福祉制度論演習(9)	1	保健医療福祉制度論演習(10)	1		
21 水			卒業論文Ⅱ(6)	各研究室			英文講読Ⅲ(6)	2		
22 木	地域看護学実習(1)									
23 金							看護の統合と実践Ⅱ(5)	1	看護の統合と実践Ⅱ(6)	1

	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
5/26 月			産業保健学(7)	4	地域看護学Ⅲ(11)	4	地域看護学Ⅲ(12)	4	看護の統合と実践Ⅱ(7)	4
27 火					国際保健看護学(3)	4	国際保健看護学(4)	4		
28 水			卒業論文Ⅱ(7)	各研究室			英文講読Ⅲ(7)	1		
29 木	地域看護学実習(2)									
30 金										

	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/2 月			産業保健学(8)	4	地域看護学Ⅲ(13)	4	地域看護学Ⅲ(14)	4	看護の統合と実践Ⅱ(8)	4
3 火			国際保健看護学(5)	4	国際保健看護学(6)	4				
4 水			卒業論文Ⅱ(8)	各研究室			英文講読Ⅲ(8)	1		
5 木	地域看護学実習(3)									
6 金										

	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/9 月					地域看護学Ⅲ(15)	4	地域看護学Ⅲ(16)	4	看護の統合と実践Ⅱ(9)	4
10 火			国際保健看護学(7)	4	保健医療福祉制度論演習(11)	1	保健医療福祉制度論演習(12)	1		
11 水			卒業論文Ⅱ(9)	各研究室			英文講読Ⅲ(9)	1		
12 木	地域看護学演習(10)	4	地域看護学演習(11)	4						
13 金										

	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/16 月					看護の統合と実践Ⅱ(10)	4	看護の統合と実践Ⅱ(11)	4		
17 火			国際保健看護学(8)	4	保健医療福祉制度論演習(13)	1	保健医療福祉制度論演習(14)	1		
18 水			卒業論文Ⅱ(10)	各研究室			英文講読Ⅲ(10)	1	英文講読Ⅲ(11)	1
19 木	地域看護学実習(4)									
20 金										

平成26年度時間割(看護学専攻:第4学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/23	月					看護の統合と実践Ⅱ(12)	4	看護の統合と実践Ⅱ(13)	4		
24	火			国際保健看護学(9)	4	保健医療福祉制度論演習(15)	1	保健医療福祉制度論演習(16)	1		
25	水			卒業論文Ⅱ(11)	各研究室			英文講読Ⅲ(12)	1	英文講読Ⅲ(13)	1
26	木					地域看護学演習(12)	1	地域看護学演習(13)	1	地域看護学演習(14)	1
27	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
6/30	月					看護の統合と実践Ⅱ(14)	4	看護の統合と実践Ⅱ(15)	4		
7/1	火			国際保健看護学(10)	4						
2	水							英文講読Ⅲ(14)	1	英文講読Ⅲ(15)	1
3	木			看護の統合と実践実習 実習オリエンテーション	1	地域看護学演習(15)	1	地域看護学演習(16)	1		
4	金										

		8:50～10:20		10:30～12:00		13:00～14:30		14:40～16:10		16:20～17:50	
7/7	月	前期定期試験									
8	火	前期定期試験									
9	水	前期定期試験									
10	木										
11	金	看護の統合と実践実習									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/14	月	看護の統合と実践実習									
15	火	看護の統合と実践実習									
16	水	看護の統合と実践実習									
17	木	看護の統合と実践実習									
18	金	看護の統合と実践実習									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/21	月	海の日									
22	火	看護の統合と実践実習									
23	水	看護の統合と実践実習									
24	木	看護の統合と実践実習									
25	金	看護の統合と実践実習									

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
7/28	月	看護の統合と実践実習									

夏季休業 7/29(火)～

平成26年度時間割(看護学専攻:第4学年)

(後期) ※臨地実習の詳細については、別途連絡する。

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
9/17	水										
18	木										
19	金										
9/22	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
		臨地実習									
23	火	秋分の日									
24	水	卒業論文Ⅱ(12)									
25	木	臨地実習									
26	金										
9/29	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
		臨地実習									
30	火										
10/1	水	卒業論文Ⅱ(13)									
2	木	臨地実習									
3	金										
10/6	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
		臨地実習									
7	火										
8	水	卒業論文Ⅱ(14)									
9	木	臨地実習									
10	金										
10/13	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
		体育の日									
14	火	臨地実習									
15	水	卒業論文Ⅱ(15)									
16	木	臨地実習									
17	金										
10/20	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
		臨地実習									
21	火										
22	水	卒業論文Ⅱ(16)									
23	木	臨地実習									
24	金										
10/27	月	8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
		臨地実習									
28	火										
29	水	卒業論文Ⅱ(17)									
30	木	臨地実習									
31	金										

平成26年度時間割(看護学専攻:第4学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
11/3	月	文化の日									
4	火	臨地実習									
5	水	卒業論文Ⅱ(18)									
6	木	臨地実習									
7	金										
11/10	月	臨地実習									
11	火										
12	水	卒業論文Ⅱ(19)									
13	木	臨地実習									
14	金										
11/17	月	臨地実習									
18	火										
19	水	卒業論文Ⅱ(20)									
20	木	臨地実習									
21	金										
11/24	月	振替休日									
25	火	臨地実習									
26	水	卒業論文Ⅱ(21)									
27	木	臨地実習									
28	金										
12/1	月										
2	火										
3	水	卒業論文Ⅱ(22)									
4	木										
5	金										
12/8	月										
9	火										
10	水	卒業論文Ⅱ(23)									
11	木										
12	金										
12/15	月										
16	火										
17	水										
18	木										
19	金										
12/22	月										
冬季休業 12/24(水)～											

平成26年度時間割(看護学専攻:第4学年)

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/5	月										
6	火										
7	水										
8	木										
9	金										

		8:50～10:20	講義室	10:30～12:00	講義室	13:00～14:30	講義室	14:40～16:10	講義室	16:20～17:50	講義室
1/12	月	成人の日									
13	火										
14	水										
15	木										
16	金										

1/19	月	後期定期試験									
20	火	後期定期試験									
21	水	後期定期試験									
22	木	後期定期試験									
23	金	後期定期試験									

1/26	月	補講・再試									
27	火	補講・再試									
28	水	補講・再試									
29	木	補講・再試									
30	金	補講・再試									

春季休業 2/2(月)～

卒業式 3/25(水)

時間割番号	012057					
科目名	英文講読Ⅲ					
担当教員	木下 裕太 看護学専攻主任					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
英文名:English for NursingⅢ						
主な講義場所						
保健衛生学講義室2(3号館8階)および保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等						
高度な現代医療に関する英語に触れることで、医学英語の知識をさらに深める						
授業の到達目標(SBOs)						
グローバルな知識を得るために必要不可欠な英文ウェブサイトや雑誌、そして専門書に慣れることによつて的確な情報を読み取る力を身につける。また同時に医学英語に用いられる表現・難解な語彙に親しむことによって、最も基礎となる読解力を高める。併せて音声・DVD教材なども用いて、総合的な英語力を高める。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅲ	ガイダンス	木下 裕太
2	4/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太
3	4/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太
4	4/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太
5	5/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太
6	5/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 2	英文講読Ⅲ	Time 誌	木下 裕太
7	5/28	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	英文講読Ⅲ	DVD 教材	木下 裕太
8	6/4	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	英文講読Ⅲ	Newsweek	木下 裕太
9	6/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	英文講読Ⅲ	Newsweek	木下 裕太
10	6/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	英文講読Ⅲ	Writing 指導	木下 裕太
11	6/18	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	英文講読Ⅲ	DVD 教材	木下 裕太
12	6/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	英文講読Ⅲ	Writing 指導	木下 裕太
13	6/25	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	英文講読Ⅲ	DVD 教材	木下 裕太
14	7/2	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	英文講読Ⅲ	総復習	木下 裕太
15	7/2	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	英文講読Ⅲ	期末テスト	木下 裕太
授業内容						
アメリカ、英国、カナダ等のウェブサイトや雑誌、専門書の英文の内容を正しく把握できるよう読み進めていく。医療に関する海外ドラマ・映画等を副教材として、医学英語の音声に慣れる。また英文の添削や英語資格対策も要望があれば行う。						
成績評価の方法						
出席日数は、全授業回数の 3 分の 2 が必要。ただし、遅刻は欠席と同じ扱いとする。その上で授業への参加度などを総合して評価する。詳しくは第 1 回の授業で提示する。						
準備学習などについての具体的な指示						
予習は必須。前もって該当(担当)箇所を目を通し、知らない単語があれば辞書で調べ、できる限り文章の内容を把握した状態で授業に臨むこと。						
他科目との関連						
英語に触れる他のすべての科目。						

間割番号	012058					
科目名	保健統計学					
担当教員	大久保 功子					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
英文名:Health Statistics						
主な講義場所						
情報検索室(M&Dタワー4階)						
授業の目的、概要等						
本科目では保健科学分野における医学統計の利用について扱う。与えられたデータからどのように指標となる値を導き出し、結果としてデータを提供した対象(患者等)にどのような判断を下したらよいかを、推測統計学的手法を用いて講義する。						
授業では、医学統計とはそもそも何であるかについてから始まり、データの種類・統計の種類、統計における基礎的な指標、推測統計学の考え方、計量データ・計数データの解析と順を追って説明を行う。また、現在の統計処理では欠かせない、統計パッケージ(SAS もしくは R)を用いたパソコン実習も併せて行う。						
授業の到達目標(SB0s)						
医学研究において最も重要なものは、統計的検定手法の知識ではない、むしろ研究をデザインする力である。デザインが脆弱な研究で得られたデータに対しては、統計的検定を行う価値自体がないということを理解すること。授業では、統計的検定の各論以上に研究デザインを重視するため、随所に研究デザイン的话题を盛り込む。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/18	08:50-10:20	情報検索室	医学統計の基礎概論	推測統計学の考え方、データの種類、母集団と標本、正規分布、標本統計量、推定と検定・バイアスの種類	大橋 渉
2	4/18	10:30-12:00	情報検索室	計数データの解析Ⅰ	色々な確率分布(二項分布等)、比率の検定、2×2分割表、クロス集計、帰無仮説・対立仮説、χ ² 検定、Fisher の正確検定	大橋 渉
3	4/25	08:50-10:20	情報検索室	計数データの解析Ⅱ	色々な確率分布(二項分布等)、比率の検定、2×2分割表、クロス集計、帰無仮説・対立仮説、χ ² 検定、Fisher の正確検定	大橋 渉
4	4/25	10:30-12:00	情報検索室	計量データの解析Ⅰ	色々な確率分布(二項分布等)、比率の検定、2×2分割表、クロス集計、帰無仮説・対立仮説、χ ² 検定、Fisher の正確検定	大橋 渉
5	5/2	08:50-10:20	情報検索室	計量データの解析Ⅱ	色々な確率分布(二項分布等)、比率の検定、2×2分割表、クロス集計、帰無仮説・対立仮説、χ ² 検定、Fisher の正確検定	大橋 渉
6	5/2	10:30-12:00	情報検索室	医学研究のデザイン	研究デザインとは、医学論文の正しい見方など	大橋 渉
7	5/16	08:50-10:20	情報検索室	統計解析実習Ⅰ	統計パッケージを用いたデータ解析の演習	大橋 渉
8	5/16	10:30-12:00	情報検索室	統計解析実習Ⅱ	統計パッケージを用いたデータ解析の演習	大橋 渉
成績評価の基準						
1.出席点、2.講義における積極性、3.試験の順番に総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
高等学校時代の教科書で復習する必要はないので、何か1冊「統計(特に医学・保健・生物)」と名がつく書籍を読破しておくこと。もしくは、身の回りにある怪しげな数字、疑わしいと思われる割合や確率などについて、可能な限り収集しておくこと。何が怪しげで疑わしいのか、説明出来るようにすること。						
参考書						
マイナスから始める医学・生物統計：p 値依存症のアナタに捧ぐ／大橋渉 著.; 中山書店, 2012						
他科目との関連						
公衆衛生関係とくに疫学(3年)と関連が深い。コンピュータとの関連では、情報科学(1年)、医療情報学(2年)の受講が必要である。						
履修上の注意事項						
実習における統計ソフトウェアには、あえて安易なクリックタイプのものを用いない方針。安易な p 値探しを行わず、統計数値の見方と意味を重視すること。						

時間割番号	012059					
科目名	国際保健看護学					
担当教員	丸 光恵					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
英文名: international Health Nursing						
主な講義場所 保健衛生学講義室1 (3号館18階)および保健衛生学講義室4 (3号館7階)						
授業の目的、概要等 諸外国の健康問題の状況と、各国・地域の医療制度や医療・保健・看護制度について講義する						
授業の到達目標(SBOs) 単に諸外国の医療や看護の現状を理解するにとどまらず、各国・地域の歴史・社会システムの変遷との関連から、人々のかかえる健康問題や医療・保健・看護問題の本質は何であるかを考える姿勢を養う。 世界保健機構が提唱する“Health for all in the 21st century”について理解を深め、地球市民としての自覚に立脚した看護専門職としての国際感覚を養う。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/13	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学	WHO Health for all in the 21st century	丸 光恵
2	5/20	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学	高度実践看護の国際動向	丸 光恵
3-4	5/27	13:00-16:10	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学	国際保健の現状・途上国の小児保健	中村 安秀
5	6/3	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学	Advanced nursing practice and career development in Hong Kong	VICO Chiang
6	6/3	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学	ガーナにおける感染症対策	太田 伸生
7	6/10	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学	途上国支援の経験とその応用	澤田 和美
8	6/17	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学	アジア諸国の看護・看護教育の現状	銭 淑君
9	6/24	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学	国際社会における看護職	丸 光恵
10	7/1	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	国際保健看護学	国際看護師協会・WHO との協働と日本人看護職の可能性	丸 光恵
成績評価の方法 毎回の出席と講義レポートにより評価する予定。						
準備学習などについての具体的な指示						
他科目との関連 感染症等に関する基礎的な疾患についての知識が必要となる。						
履修上の注意事項 講師の諸事情により開講日時・内容等が変更されることがある。						

時間割番号	012060					
科目名	産業保健学					
担当教員	森田 久美子					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
英文名:Occupational Health Nursing						
主な講義場所 保健衛生学講義室4(3号館7階)						
授業の目的、概要等 働く人の健康指導と健康管理、並びに職業起因性障害や災害の予防に関する指導と管理のあり方は保健師にとって必須の事項であり、その考え方や実践の方法を身につけることを前提とした産業保健活動の理論を究明する。						
授業の到達目標(SB0s) 産業に関わる看護師・保健師は産業医やコ・メディカルスタッフと協働して、そこに勤務する職業人としての個人に対する健康の保持・増進の支援や集団に対する公衆衛生活動を要求される。そしてその業務の遂行には、保健師としての倫理観と人格が求められ、保健・医療・福祉・文化・行政などの学際的な幅広い知識や技能に基づいた問題解決能力を身につける上での基本的な概念を修得させる必要がある。 産業という個々の管理社会とそれを取り囲む外環境とが調和され、社会的に対応できない個人や企業を生ぜしめないような予防的保健活動と健康増進活動の意義を認識させ、自由な発想で個人や社会の痛みを理解でき、望ましい保健分野における社会機構を考えられる基礎学力を身につけることを目標とする。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/7	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	産業保健学	「産業保健学総論」地域保健における産業保健の位置づけ、現状、最新のトピック等について学ぶ。	森田 久美子
2	4/14	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	産業保健学	「産業保健・看護の理念と歴史、法律」産業保健・看護の歴史、産業看護の定義・職務、関連法規、企業に求められる健康管理について学ぶ。	水野 恵理子
3	4/21	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	産業保健学	「産業看護活動」産業看護活動の実際、ハラスメント、自殺対策等について学ぶ。	水野 恵理子
4	4/28	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	産業保健学	「労働者の心の健康支援 1」疲労、職場のストレス、精神疾患と労働災害について学ぶ。	水野 恵理子
5	5/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	産業保健学	「労働者の心の健康支援 2」予防、復職支援、事例学習、諸外国の産業看護活動について学ぶ。	水野 恵理子
6	5/19	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	産業保健学	「労働災害」職業性疾病、作業関連疾患、労働災害、女性労働者の支援について学ぶ。	森田 久美子
7	5/26	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	産業保健学	「衛生管理、人事労務管理1」関連法令に基づく衛生施策の立て方、人事労務管理の基本的な考え方、人事労務問題への対応について学ぶ。	神山 貴巳香
8	6/2	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	産業保健学	「人事労務管理2」事例演習(判例検討)	神山 貴巳香、 森田 久美子
授業内容 衛生学・公衆衛生学に裏付けられた個人および集団の健康保持・増進をメインテーマとして、働く人々が快適な職場環境で健康を損なうことなく、仕事を自分に適合させて肉体的・精神的・社会的に良好な状態を維持増進させる上での基礎知識を系統的に付与する。 そのためには、健康な人も健康に障害を持った人も、労働という営みの中で、保健指導を進める上での最重要課題を取り上げて事例を列挙しながら、産業保健の理念・歴史・健康管理体制・労働者の実態・労働内容・労働環境・産業疲労・業務上疾病(職業性疾患)・産業災害とその対策や予防方法・						
成績評価の方法 学期末筆答試験により評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						

シラバスに書かれている内容について、事前に参考書などで予習をして頂くことが望ましい。
他科目との関連 公衆衛生学、地域保健学・看護学とは密接な関係にあり、クロス・オーバーする領域が多い。母性、成人老人、精神の各保健学、看護学とも関連性が高い。基礎学力としての生理学、薬理学、病理学などの知識は講義の理解を深める上で重要である。
履修上の注意事項 産業保健学は他領域とそれぞれ深く係る学際性の高い分野なので、日頃からマスメディアの医療の関与する社会ニュースなどにも関心を持つことが望ましい。
連絡先 morita.phn@tmd.ac.jp

時間割番号	012061					
科目名	保健医療福祉制度論演習					
担当教員	森田 久美子					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
英文名:Seminar of Health and welfare System						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等 社会保障教育は、単に知識を得て利用できるようにするだけではなく、自立した国民の1人としてその財源を税金や社会保険料の形で負担する義務を負っていることにも気づく必要がある。結果、国民が負担できる範囲の保障水準になる。高福祉・低負担はありえないことの再認識と、低所得者・社会的弱者の生存権をどのように・どの程度まで保障するかを考慮することも大切である。 看護経済論、保健医療福祉制度論で学んだ知識を元に、各自が関連する情報を収集して持ち寄ることで、関心を深めて知識をより広げ、仲間の多様な意見を聞いて受けとめることで考え方の幅を広げることを目的とする。						
授業の到達目標(SB0s) 多種多様な制度についてすべてに基礎的知識を持つことで、現状の問題点に気づき、制度改正の方向性の是非を総合的にバランスよく判断できるようにする。 医療職として、今、医療現場でどのような問題が起きているのか、これからの医療職はどのようにあるべきか、社会保障の知識をどのようなところで役立てることができるかを一人ひとりが考えて発表する時間をもつ。 また自分の人生でどのような時に社会保障制度が役立つのか、90歳までの長期ライフプランを描きながら具体的・実践的に考えることで、利用者の立場でも制度の重要性の理解につなげる。 社会保障制度は家族・社会の変化に合わせて、毎年のように改正が行われている。常に関心を持って新しい情報を収集する習慣を身に付けることも重要である。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/8	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	保健医療福祉制度論演習	「総論 保健医療福祉行政・財政の理念について学ぶ。	森田 久美子
3-4	4/15	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	保健医療福祉制度論演習	「社会保障と国家厚生経済」 歴史と概念を知り従事者の役割と再分配制度の哲学を学ぶ。	原 耕一郎
5-6	4/22	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	保健医療福祉制度論演習	「医療従事者の権限」 医療行為・サービスの価値判断を学ぶ。	原 耕一郎
7-8	5/13	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	保健医療福祉制度論演習	「患者(医療消費者)の権利」 患者満足と従事者満足の違いを学ぶ。	原 耕一郎
9-10	5/20	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	保健医療福祉制度論演習	「医療財源選択と従事側ジレンマ」 学生によるマインド・インベーションに繋げるディベートセッション	原 耕一郎 森田 久美子
11-12	6/10	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	保健医療福祉制度論演習	「課題演習1」 保健医療福祉制度に関する最新の新聞記事、ニュース等の情報収集をする。	森田 久美子
13-14	6/17	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	保健医療福祉制度論演習	「課題演習2」 演習1で収集した情報をもとにグループワークを行い、テーマを絞ってさらに内容を深める。	森田 久美子
15-16	6/24	13:00-16:10	保健衛生学科講義室1	保健医療福祉制度論演習	「課題演習3」 グループごとにまとめた内容を発表し、ディスカッションを行う。	森田 久美子
成績評価の方法 レポート提出、授業内容記録などにより評価する。						
準備学習などについての具体的な指示 保健医療福祉制度に関するニュースや新聞記事などに目を通し、最新の情報を得るように努めること。						

他科目との関連

すでに履修してきた保健・看護の各専門分野の知識をもって、社会保障制度の全体像を体系的に学ぶことで、保健・医療の専門分野の位置づけを確認できる。また細分化されすぎた専門分野で抜け落ちている部分を体系的に学ぶことで、全体像が整理されていく。幅広い周辺知識をもつことは、スムーズな保健・医療・福祉の連携を可能にする。

履修上の注意事項

社会保障制度は頻繁に改正されるため、常に新しい情報を収集することが望ましい。また立場による保障ニーズ・負担のあり方の考え方に違いが大きいことにも留意する必要がある。

連絡先

morita.phn@tmd.ac.jp

時間割番号	012062						
科目名	卒業論文Ⅱ						
担当教員	大久保 功子, 丸 光恵						
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1		
英文名: ThesisⅡ							
主な講義場所							
該当する分野の研究室等。分野長／研究指導者の指示に従う。							
卒論ⅠにおいてⅡでの所属分野の希望を出す、その決定を受けた後、該当分野長に場所の確認をとること。							
授業の目的、概要等							
選択したテーマに沿って、指導教員から実際の研究指導を受ける。							
指導教員のもとで研究を行い、論文をまとめる。							
授業の到達目標(SBOs)							
卒業論文では、看護・保健に関する研究のプロセスを学ぶことを通じて、論文の読み方、研究の進め方、論文のまとめ方、発表の仕方の基本を習得させることを目的とする。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
2	4/16	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
3	4/23	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
4	4/30	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
5	5/14	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
6	5/21	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
7	5/28	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
8	6/4	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
9	6/11	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
10	6/18	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)

11	6/25	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
12	9/24	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
13	10/1	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
14	10/8	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
15	10/15	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
16	10/22	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
17	10/29	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
18	11/5	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
19	11/12	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
20	11/19	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
21	11/26	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
22	12/3	10:30-12:00		卒業論文作成	卒業論文作成過程をすすめる	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)
23-27	12/10	08:50-17:50		卒論発表会	卒論発表会	丸 光恵	授業担当教員は看護学専攻全分野全教員・講義室は分野の研究室等(所属分野長に確認のこと)

授業内容

学生による自主的な研究活動

〔日時〕4/9(水)2 時限～12/10(水)卒論発表会 の間の原則水曜日 2 時限。所属分野毎に定められたスケジュールによる。

成績評価の方法

卒業研究論文と卒業研究発表で評価する。

1) 卒業研究論文

卒業論文と卒業論文抄録を提出する。

形 式 : 別紙(卒業論文フォーム)の規定に従う。

期限までに提出のない者は単位を認定しない。

2)卒業研究発表 1人につき発表5分, 討論2分程度。 Power Point を使用した口頭発表、あるいはポスター発表を行う。
成績評価の基準 研究指導を担当した各分野長が、研究発表までの過程を評価する。
準備学習などについての具体的な指示 卒業論文Ⅰで学習した研究概説、研究倫理、外国語文献検索方法については復習をしておくこと。
参考書 APA 論文作成マニュアル／アメリカ心理学会（APA）著、前田樹海、江藤裕之、田中建彦 訳：医学書院、2011 看護研究：原理と方法／D.F.ポーリット、C.T.ベック 著、近藤潤子 監訳、後藤桂子、新道幸恵、松岡恵、高木廣文、羽山由美子 訳：医学書院、2010
他科目との関連 全ての科目で学んだことを応用するので、全ての科目と関連する。
備考 ・保健衛生学科看護学の各分野に配属され、当該分野において教授、准教授、講師および助教が指導教員（研究指導の責任者）となり、教員全員が指導にあたる。指導する学生数は原則として教授4名、准教授3名、講師2名、助教1名とする。 ・成績は、各分野において論文と発表から評価し、専攻主任が認定する。

時間割番号	012070					
科目名	国際保健福祉					
担当教員	大久保 功子					
開講時期	通年	対象年次	2～4	単位数	1	
英文名 : Global Health and welfare						
授業の目的、概要等						
諸外国の医療施設、教育施設の見学・講義・実習等を通して、グローバルな視点で看護の対象となる人々、提供する看護の実際と課題を捉え、看護職としての専門性、および国際感覚を養う。						
授業の到達目標(SB0s)						
研修国の保健医療福祉事情および看護職の役割、活動状況について理解し、研修報告会で適切に説明することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	国際保健福祉	合同オリエンテーション(希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等)	本田 彰子
授業方法						
海外研修						
授業内容						
希望する国の医療施設、保健福祉施設、教育機関における見学・講義・実習等。						
成績評価の方法						
研修前の準備						
研修期間中の見学・講義・実習等への参加状況						
研修報告会における発表状況						
研修報告書						
準備学習などについての具体的な指示						
研修で困らない語学力を身に付けておくこと						
TOEFL による語学評価を受けておくこと						
グローバル人材推進事業による海外派遣前教育プログラムが提供される場合は必ず参加すること						
希望する国の政情、社会情勢、文化、保健医療福祉事情等々の情報を十分得て、事前に研修内容を計画すること。						
他科目との関連						
国際保健看護学						
履修上の注意事項						
大学の海外研修派遣制度には、成績・語学力、および面接評価による選考があることを理解し、十分準備しておくこと。 4月9日(水)16時20分～合同オリエンテーションに参加すること。						

時間割番号	012064						
科目名	地域看護学Ⅲ						
担当教員	佐々木 明子						
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2		
英文名:Community Health NursingⅢ							
主な講義場所							
保健衛生学講義室4(3号館7階)							
授業の目的、概要等							
地域看護学Ⅰで学んだ知識をもとに、地域で生活している人々に対する保健看護活動について学ぶ。特に、成人高齢者と母子を中心に、地域保健システムとヘルスニーズのアセスメント、保健看護活動の展開方法、評価の視点を学ぶ。							
授業の到達目標(SBOs)							
1)成人高齢者・母子保健看護活動の目的と基盤になる地域保健システムを理解する。							
2)地域における成人高齢者のヘルスニーズに対する保健看護活動の展開方法と評価の視点を学ぶ。							
3)地域における女性のライフサイクル別ヘルスニーズに対する保健看護活動の展開方法と評価の視点を学ぶ。							
4)地域における乳幼児のヘルスニーズや障害児に対する保健看護活動の展開方法と評価の視点を学ぶ。							
5)地域づくり型の保健活動の展開方法を学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	地域づくり型保健活動の方法と展開	岩永 俊博	ヘルスプロモーション研究センター
2	4/7	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	地域づくり型保健活動の方法と展開	岩永 俊博	ヘルスプロモーション研究センター
3	4/14	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	母子保健看護活動の目的と保健医療福祉システム	田沼 寮子	
4	4/14	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(妊産婦への保健看護活動)	田沼 寮子	
5	4/17	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	地域看護学Ⅲ	成人高齢者の保健福祉施策と保健医療福祉システム	新井 久美子	
6	4/21	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	成人高齢者保健看護活動の展開(健康診査、健康相談、健康教育)	山口 忍	
7	4/21	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	成人高齢者保健看護活動(介護予防、高齢者の保健活動)	佐々木 明子	
8	5/12	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	子供をとりまくたばこ環境(喫煙防止活動)	斉藤 麗子	十文字学園女子大学
9	5/19	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(乳幼児健診、相談、学級)	田沼 寮子	
10	5/19	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	母子保健活動の展開(ハイリスク母子への活動)	田沼 寮子	
11	5/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核、感染症、エイズに対する保健活動の展開)	大谷 由佳	千代田区
12	5/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室4	地域看護学Ⅲ	感染症保健活動の展開(結核、感染症、エイズに対する保健活動の展開)	大谷 由佳	千代田区

13	6/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	地域看護学Ⅲ	八丈町における保健活動の展開	丸山 あかね	八丈町
14	6/2	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	地域看護学Ⅲ	難病者保健看護活動の展開	木内 恵美	文京区保健サービスセンター
15	6/9	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	地域看護学Ⅲ	心身障害児療育と保健指導	田沼 寮子	
16	6/9	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	地域看護学Ⅲ	災害時・健康危機管理時の保健活動の展開	津田 紫緒	
成績評価の方法							
定期試験, レポート							
準備学習などについての具体的な指示							
授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。							
教科書							
公衆衛生看護学／津村智恵子, 上野昌江 編: 中央法規出版, 2012							
参考書							
最新保健学講座: メヂカルフレンド社, 2011							
最新保健学講座: メヂカルフレンド社, 2011							
地域看護学／福島道子 著: オーム社, 2007							
標準保健師講座: 医学書院, 2009							
地域づくり型保健活動のすすめ／岩永 俊博著: 医学書院, 1996							
最新保健学講座: メヂカルフレンド社, 2011							
保健師業務要覧／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編集: 日本看護協会出版会, 2013							
公衆衛生学／小野寺伸夫 編: メヂカルフレンド社, 2013							
災害看護学／辺見弘 監修, 小井土雄一, 山西文子 編: メヂカルフレンド社, 2013							
他科目との関連							
地域看護学Ⅰ・家族ケア論を基盤としている。また、成人看護学, 老年看護学, 母性看護学, 小児看護学, 保健統計学, 関連法規, 保健医療福祉制度論などの科目の応用を必要とする。							
履修上の注意事項							
関連の科目を十分復習してのぞむこと。							

時間割番号	012065						
科目名	地域看護学演習						
担当教員	佐々木 明子						
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1		
英文名:Seminar of Community Health Nursing							
主な講義場所							
保健衛生学講義室4(3号館7階)							
授業の目的、概要等							
地域看護学で学んだ知識を活用し、地域保健看護活動の具体的な手法である地区診断と健康教育について学ぶ。地域特性の把握、地域のヘルスニーズのアセスメント、計画の立案、活動の展開方法、評価に必要な知識と技術を習得する。							
授業の到達目標(SBOs)							
1)地域の人々の生活、地域保健システム、地域の社会資源など地域特性について理解する。							
2)地区診断の目的と展開方法、評価方法を学ぶ。							
3)健康教育の定義と健康教育に必要な理論と技法を理解する。							
4)健康教育の企画や実施、評価方法を習得する。							
5)家庭訪問の実施方法を習得する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/10	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	わが国の地域保健看護活動、展開の指針	佐々木 明子、津田 紫緒	
2	4/10	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	地区診断の目的、展開方法	佐々木 明子、津田 紫緒	
3	4/17	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	地区診断の展開方法と評価	新井 久美子	
4	4/24	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	地区診断の展開方法と評価演習	佐々木 明子、津田 紫緒	
5	4/24	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	地域看護学実習Ⅰオリエンテーション 地区診断演習1	佐々木 明子、津田 紫緒	
6	5/1	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	健康教育の理論と展開方法	綾部 明江	茨城県立医療大学
7	5/1	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	健康教育の理論と展開方法	綾部 明江	茨城県立医療大学
8	5/15	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	健康教育演習1	佐々木 明子、津田 紫緒、森田 久美子	
9	5/15	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	新生児訪問演習	佐々木 明子、津田 紫緒、森田 久美子	
10	6/12	08:50-10:20	保健衛生学科講義室 4	地域看護学演習	地区診断演習2 【東京都児童相談センターにおける演習】	佐々木 明子、津田 紫緒、森田 久美子	
11	6/12	10:30-12:00	保健衛生学科講義室 4	地域看護学演習	地区診断演習2 【東京都児童相談センターにおける演習】	佐々木 明子、津田 紫緒、森田 久美子	
12	6/26	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	地区診断演習3 地区診断・学校保健活動・産業保健活動発表会	佐々木 明子、津田 紫緒、森田 久美子	
13	6/26	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	地区診断演習3 地区診断・学校保健活動・産業保健活動発表会	佐々木 明子、津田 紫緒、森田 久美子	

14	6/26	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	地区診断演習3 地区診断・学校保健活動・産業保健活動発表会	佐々木 明子, 津田 紫緒, 森田 久美子	
15	7/3	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	健康教育演習2 健康教育発表会	佐々木 明子, 津田 紫緒, 森田 久美子	
16	7/3	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	地域看護学演習	健康教育演習2 健康教育発表会	佐々木 明子, 津田 紫緒, 森田 久美子	
成績評価の方法 レポート, プレゼンテーション							
準備学習などについての具体的な指示 授業内容の理解を深めるため、次回の講義で取り扱う資料(教科書、参考書を含む)を事前に読んでおくこと。また、事後学習として、授業で学んだことについて、資料を用いてふりかえる振り返ることが望ましい。							
教科書 公衆衛生看護学／津村智恵子, 上野昌江 編: 中央法規出版, 2012							
参考書 コミュニティアズパートナー : 地域看護学の理論と実際／エリザベス・T.アンダーソン, ジュディス・マクファーレイン 編 金川克子, 早川和生 監訳: 医学書院, 2007 最新保健学講座: メヂカルフレンド社, 2011 地域看護診断／金川克子, 田高悦子 編: 東京大学出版会, 2011 保健師業務要覧／井伊久美子, 荒木田美香子, 松本珠実, 堀井とよみ, 村嶋幸代, 平野かよ子 編集: 日本看護協会出版会, 2013							
他科目との関連 地域看護学で学んだ知識を学生各自が総合的に活用する必要がある。また、この科目は地域看護学実習を行う上で必須の知識と技術を学ぶための科目である。							
履修上の注意事項 演習の課題に主体的に取り組み、発表や討議を通して、学習を深めることを期待する。学生の積極的な参加を望む。							

時間割番号	012066				
科目名	地域看護学実習				
担当教員	佐々木 明子				
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	3
英文名:Practice of Community Health Nursing					
授業の目的、概要等 【実習Ⅰ・地区診断】 地域保健活動を行う保健福祉機関、学校、事業場の位置づけ、機能を学ぶ。地域の人々の健康状態や生活状況を理解し、地域看護診断を行う。 【実習Ⅱ・保健所・保健センター】 地域保健活動の第一線機関である保健所・保健センターの役割と機能を理解する。また、地域保健看護活動の意義と保健師の役割を理解する。地域特性をふまえて健康問題をとらえることの必要性を理解し、家庭や地域社会で生活する人々に対する保健・医療・福祉活動を学ぶ。また、地域保健における看護管理の機能について理解する。 さらに、地域保健看護活動の計画・実践・評価の一連の過程を学習し、地域保健看護活動の展開と方法と専門性を理解する。 【実習Ⅱ・学校】 学校教育における保健活動の目的と保健教育、保健管理および養護教諭の活動について、具体的に学ぶ。 学校保健と地域保健の関係と、看護専門職としての役割について理解を深める。 【実習Ⅱ・産業】 企業における産業保健の取り組みならびに保健師の役割と業務について、具体的に学ぶ。 産業保健と地域保健の連携と、看護専門職としての役割について理解を深める。					
授業の到達目標(SB0s) 【実習Ⅰ・地区診断】 1)既存の資料の分析と地区踏査からの地域アセスメントを行う。 2)地区診断を行い、その地区の健康課題を把握する。 3)地域の保健福祉機関、学校保健、産業保健の主な機能、概要を知る。 4)地域の保健福祉機関、学校保健、産業保健で活動する保健師等の看護職者の所属する組織と役割を理解する。 【実習Ⅱ・保健所・保健センター】 1)地域保健活動の実践機関としての保健所の機能と活動の展開法について理解する。 2)保健所・保健総合センターの保健師の役割を理解する。 3)地域アセスメントをもとに、地域特性を反映した地域保健看護活動の計画・実施・評価の方法を理解する。 4)個人・家族・集団の健康課題に応じた地域保健看護活動の展開方法と技術を理解する。 5)健康教育の実施の方法を理解する。 6)住民のニーズに応じた関係機関、他職種との連携・チームワークの方法を理解する。 7)地域保健看護活動の今日的動向と法的根拠を理解する。 8)地域保健における看護管理の機能について理解する。 【実習Ⅱ・学校】 1)学校教育における保健活動の体系と活動の実際について、理解を深める。 2)養護教諭の活動について、理解を深める。 3)地域との連携について学ぶ。 【実習Ⅱ・産業】 1)企業における保健活動の体系と活動の実際について、理解を深める。 2)産業保健師の活動について理解を深める。					

授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/22	08:50-10:20		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
2	5/22	10:30-12:00		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
3	5/22	13:00-14:30		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
4	5/22	14:40-16:10		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
5	5/29	08:50-10:20		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
6	5/29	10:30-12:00		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
7	5/29	13:00-14:30		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
8	5/29	14:40-16:10		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
9	6/5	08:50-10:20		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
10	6/5	10:30-12:00		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
11	6/5	13:00-14:30		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
12	6/5	14:40-16:10		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
13	6/19	08:50-10:20		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
14	6/19	10:30-12:00		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
15	6/19	13:00-14:30		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅰ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

176	11/20	16:20-17:50		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
177	11/21	08:50-10:20		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
178	11/21	10:30-12:00		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
179	11/21	13:00-14:30		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
180	11/21	14:40-16:10		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
181	11/21	16:20-17:50		地域看護学実習	地域看護学実習Ⅱ:詳細については実習要項参照	佐々木 明子, 森田 久美子, 津田 紫緒	詳細は実習要項を参照のこと
授業内容							
詳細については実習要項参照							
準備学習などについての具体的な指示							
備考							
ツイッター等への投稿に対する注意事項について 実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。							

時間割番号	012067					
科目名	緩和ケア看護学					
担当教員	本田 彰子					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
英文名:palliative Care						
主な講義場所 保健衛生学講義室1(3号館18階)						
授業の目的、概要等 自宅における終末期療養を中心に、緩和ケア、および在宅ホスピスの理論と実践を学ぶ。						
授業の到達目標(SBOs) 1)在宅ホスピスを中心に、終末期にある人々と家族の特徴を理解し、QOLの向上を目指した看護についてその理論と実際を理解する。 2)要介護高齢者、難病患者、およびがん患者における自宅での症状コントロールや療養の体制作りについて理解し、見取りおよびその後の療養者家族に対する看護を理解する。 3)緩和ケアやチーム医療について理解し、在宅ホスピスにおける医学的管理の実際について理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	緩和ケアと家族ケア	川上 千春
2	4/11	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	グリーフケア	川上 千春
3	4/18	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	在宅ホスピスー訪問看護の実際ー	蛭田 みどり
4	4/18	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	在宅ホスピスー訪問看護の実際ー	蛭田 みどり
5	4/25	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	在宅ホスピスにおける医学的管理	平原 佐斗司
6	4/25	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	在宅ホスピスにおける医学的管理	平原 佐斗司
7	5/2	13:00-14:30	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	意思決定支援と倫理	本田 彰子
8	5/2	14:40-16:10	保健衛生学科講義室1	緩和ケア看護学	意思決定支援と倫理	本田 彰子
成績評価の方法 出席、およびレポート レポート提出は7月5日(金)17:00 教務課とする。						
準備学習などについての具体的な指示 がん、がん看護、終末期ケア・ターミナルケア・ホスピス・エンドオブライフケア等に関する書籍(手記・概説・実践報告等)を検索し、もっとも関心のある本少なくとも1冊は熟読して置くこと。						
他科目との関連 母性看護・小児看護・成人看護・老人看護の発達段階別看護領域全てに関連する。3 年次までの講義および実習で体験した終末期看護の内容を統合させて学習する。						
履修上の注意事項 レポート作成につながるよう、受講前より緩和ケア、終末期ケア等に関連する文献1 編以上を検索し、授業の参考にすること。						

時間割番号	012068						
科目名	看護の統合と実践Ⅱ						
担当教員	深堀 浩樹						
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2		
英文名: Integration of acquaintance for Nursing PracticeⅡ							
主な講義場所							
保健衛生学講義室4(3号館7階)							
授業の目的、概要等							
急速な少子高齢化の進展・医療技術の進歩など我が国の看護を取り巻く環境が大きく変化する中で、患者の視点に立った質の高い看護・医療サービスを提供することができる看護職となるために、3 年時までに学習した知識・技術を統合的に理解し臨床実践において活用していく上で必要となる基礎的な能力を習得することを目的とする。							
具体的には、看護・医療が提供される場である保健・医療・福祉組織において看護職が他職種との協働のなかで発揮しているリーダーシップ、保健・医療・福祉組織における看護マネジメント(医療安全管理・看護倫理を含む)の実際および関連する知識について学ぶ。さらに、看護・医療を取り巻く社会環境として看護・医療に関する制度・政策を理解するとともにこれらの制度とわが国の経済状況の関連を理解し、社会において看護職に求められている役割に対する理解を深める。							
上記の理解に基づき、変わりゆく社会の中で自律した看護職・個人として継続して成長していく必要性を認識する。							
授業の到達目標(SBOs)							
1) 自律した看護職として生涯学習の必要性を認識する。							
2) 看護・医療に関する制度・政策および制度・政策とわが国の経済状況との関連を理解する。							
3) 保健・医療・福祉組織において看護職が発揮しているリーダーシップと看護マネジメントの実際と関連する知識について学ぶ。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/7	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	看護職のキャリアデザインと生涯学習	深堀 浩樹	
2	4/14	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	日本の看護職を取り巻く環境(医療保険制度と診療報酬制度)	深堀 浩樹	
3	4/21	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	財政と医療:経済学の視点	佐藤 主光	
4	5/19	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	看護における医療経済評価	小林 美亜	
5	5/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 1	看護の統合と実践Ⅱ	看護職に役立つ経営学の知識・経営指標	井出 恵伊子	*曜日・講義室に注意
6	5/23	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 1	看護の統合と実践Ⅱ	医療と経営	森山 葉子	*曜日・講義室に注意
7	5/26	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	リーダーシップとマネジメントの理論と実際(勤務帯リーダー・看護師長・看護部長の役割とスタッフナースとの連携)	深堀 浩樹	大学院生(TA)
8	6/2	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	看護の質保証とEvidence Based Practice	深堀 浩樹	
9	6/9	16:20-17:50	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	看護職の労働環境・医療安全管理・コミュニケーション	深堀 浩樹	大学院生(TA)
10	6/16	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	医療安全管理の実際		医学部附属病院 医療安全対策室 General Risk Manager

11	6/16	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	看護職の起業	中 友美	
12	6/23	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	看護と制度・政策・経済	深堀 浩樹	
13	6/23	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	看護倫理	中澤 久恵	
14	6/30	13:00-14:30	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	ミドルマネジメント(看護師長の役割)の実際		医学部附属病院 看護師長
15	6/30	14:40-16:10	保健衛生学科講義室 4	看護の統合と実践Ⅱ	トップマネジメント(看護部長の役割)の実際		医学部附属病院 看護師長
授業内容							
日時・内容は変更する場合がありますので、掲示に注意。							
成績評価の方法							
レポート・出席にて評価する(レポート課題は講義最終日まで掲示する)。							
準備学習などについての具体的な指示							
自己学習として、看護・医療に関する制度・政策に関するニュース等の情報収集を積極的に行うこと。また、授業の進行と合わせて、3年次までに接した臨床の看護職がどのような場でどのようにリーダーシップを発揮して、マネジメントを行っていたかを振り返り、学習した内容を過去の学習内容と結び付けて理解すること。							
他科目との関連							
既習の看護の専門科目および看護の統合と実践実習および保健医療福祉制度論との関連が深い。							
連絡先							
hfukahori.kanr@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
毎週金曜日 AM.10:00-12:00 3 号館 15 階 看護システムマネジメント学分野 教員室 事前連絡してから訪問すること。							

時間割番号	012069					
科目名	看護の統合と実践実習					
担当教員	丸 光恵, 深堀 浩樹					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	2	
英文名:Practice of integration of acquaintances for Nursing Practice						
授業の目的、概要等						
臨床現場における看護管理者の役割や必要とされる能力および、外来や検査部門における看護職の役割・多職種との協働について理解する。また、医療安全の確保のために看護職が果たすべき役割について理解する。さらに、災害時における看護職の役割についても理解する。						
上記を通じて病院組織ひいては社会における看護職の役割を理解すると共に、看護の実践の中で必要な基礎的な知識と技術を統合的に体験し、看護実践能力を高める。						
授業の到達目標(SB0s)						
1. 看護管理者(看護師長・勤務帯のリーダー)が行っている実際のマネジメント、調整・相談等の場面を知り、看護管理者の役割や必要な能力について理解する。						
2. 病院内における看護職の看護実践の実際や必要とされる能力および多職種との連携について学ぶ。						
3. 医療安全の確保のための看護職の役割について学ぶ。						
4. 災害時における看護職の役割を理解する。						
5. 様々な場面・時間帯での看護の役割を学ぶことにより病院組織ひいては社会における看護職の役割についての理解を深める。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/8	08:50-17:50		看護の統合と実践実習	多職種協働実習(包括医療統合教育・チーム医療入門)	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
2	7/3	10:30-12:00		看護の統合と実践実習	事前オリエンテーション	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
3	7/11	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習オリエンテーション・中央診療部門講義	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
4	7/14	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
5	7/15	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
6	7/16	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
7	7/17	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
8	7/18	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光 恵 , 深 堀 浩樹
9	7/22	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
10	7/23	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
11	7/24	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
12	7/25	09:00-17:00		看護の統合と実践実習	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光 恵 , 深堀 浩樹
13	7/28	09:00-16:00		看護の統合と実践実習	まとめの会(発表)	丸 光 恵 , 深堀 浩樹

授業内容 1. 看護管理実習 1) オリエンテーションにより病棟の看護業務の特徴について理解する。 2) 看護師長・リーダーの業務をシャドウイングし、看護師長・リーダーの役割を学ぶ。 3) 看護師長・リーダーからのヒアリングや病棟の各種資料により病棟の方針・目標、人員配置の状況、課題、年間計画等の概要を把握する。 2. 検査部門・専門外来実習 1) 見学・シャドウイングにより外来における看護実践の実際について学ぶ。 2) 中央検査部門等に関する講義・演習により看護職の役割について学ぶ。 3. 医療安全実習 1) 医療安全に関する講義・演習により医療安全確保のための看護職の役割について学ぶ。 4. 災害看護演習 1) 災害看護・災害支援に関する講義・演習により災害時の看護職の役割について学ぶ。 5. 多職種協働実習 1) 他学部・他学科学生と合同で開催される多職種協働に関する講義・演習等(包括医療統合教育・チーム医療入門)により、多職種協働における看護職の役割について学ぶ(他の実習とは別日程(5月)で実施する)。 6. 学内発表会 1) 看護の統合と実践実習に関連したテーマについて学生各自による発表を行う。
準備学習などについての具体的な指示 本実習のために特別な準備学習は必要としない。実習にあたっての留意事項はオリエンテーション時に説明する。
備考 * 内容については実習協力施設等の都合により変更される可能性がある。 * 詳細については実習要項参照のこと。 ツイッター等への投稿に対する注意事項について 実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。
連絡先 深堀 浩樹 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp
オフィスアワー 深堀 浩樹:毎週金曜日 AM.10:00-12:00 3号館 15階 看護システムマネジメント学分野 教員室 事前連絡してから訪問すること。

時間割番号	012063					
科目名	成人看護学実習Ⅱ					
担当教員	丸 光恵, 深堀 浩樹					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
英文名: Clinical Practice of Adult Health NursingⅡ						
授業の目的、概要等						
臨床現場における看護管理者の役割や必要とされる能力および、外来や検査部門における看護職の役割・多職種との協働について理解する。また、医療安全の確保のために看護職が果たすべき役割について理解する。さらに、災害時における看護職の役割についても理解する。						
上記を通じて病院組織ひいては社会における看護職の役割を理解すると共に、看護の実践の中で必要な基礎的な知識と技術を統合的に体験し、看護実践能力を高める。						
授業の到達目標(SB0s)						
1. 看護管理者(看護師長・勤務帯のリーダー)が行っている実際のマネジメント、調整・相談等の場面を知り、看護管理者の役割や必要な能力について理解する。						
2. 病院内における看護職の看護実践の実際や必要とされる能力および多職種との連携について学ぶ。						
3. 医療安全の確保のための看護職の役割について学ぶ。						
4. 災害時における看護職の役割を理解する。						
5. 様々な場面・時間帯での看護の役割を学ぶことにより病院組織ひいては社会における看護職の役割についての理解を深める。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/8	08:50-17:50		成人看護実習Ⅱ	多職種協働実習(包括医療統合教育・チーム医療入門)	丸 光恵, 深堀 浩樹
2	7/3	10:30-12:00		成人看護実習Ⅱ	事前オリエンテーション	丸 光恵, 深堀 浩樹
3	7/11	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習オリエンテーション・中央診療部門講義	丸 光恵, 深堀 浩樹
4	7/14	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光恵, 深堀 浩樹
5	7/15	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光恵, 深堀 浩樹
6	7/16	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光恵, 深堀 浩樹
7	7/17	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光恵, 深堀 浩樹
8	7/18	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光恵, 深堀 浩樹
9	7/22	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光恵, 深堀 浩樹
10	7/23	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光恵, 深堀 浩樹
11	7/24	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光恵, 深堀 浩樹
12	7/25	09:00-17:00		成人看護実習Ⅱ	実習(看護管理実習・夜勤実習・外来看護実習)・演習(医療安全演習・災害看護演習)・課題学習日	丸 光恵, 深堀 浩樹
13	7/28	09:00-16:00		成人看護実習Ⅱ	まとめの会(発表)	丸 光恵, 深堀 浩樹

授業内容 1. 看護管理実習 1) オリエンテーションにより病棟の看護業務の特徴について理解する。 2) 看護師長・リーダーの業務をシャドウイングし、看護師長・リーダーの役割を学ぶ。 3) 看護師長・リーダーからのヒアリングや病棟の各種資料により病棟の方針・目標、人員配置の状況、課題、年間計画等の概要を把握する。 2. 検査部門・専門外来実習 1) 見学・シャドウイングにより外来における看護実践の実際について学ぶ。 2) 中央検査部門等に関する講義・演習により看護職の役割について学ぶ。 3. 医療安全実習 1) 医療安全に関する講義・演習により医療安全確保のための看護職の役割について学ぶ。 4. 災害看護演習 1) 災害看護・災害支援に関する講義・演習により災害時の看護職の役割について学ぶ。 5. 多職種協働実習 1) 他学部・他学科学生と合同で開催される多職種協働に関する講義・演習等(包括医療統合教育・チーム医療入門)により、多職種協働における看護職の役割について学ぶ(他の実習とは別日程(5月)で実施する)。 6. 学内発表会 1) 看護の統合と実践実習に関連したテーマについて学生各自による発表を行う。
準備学習などについての具体的な指示 本実習のために特別な準備学習は必要としない。実習にあたっての留意事項はオリエンテーション時に説明する。
備考 本実習は看護の統合と実践実習に含まれる * 内容については実習協力施設等の都合により変更される可能性がある。 * 詳細については実習要項参照のこと。 ツイッター等への投稿に対する注意事項について 実習で知り得た患者や住民の情報を、無断で外部に持ち出したり、不用意に公の場で話したり、ソーシャルメディア(ツイッター、ブログ、ソーシャルネットワーキングサービス、動画共有サイトなど)に発信してはならない。諸君の軽率な行動が、個人情報の漏洩や、個人の尊厳・感情を傷つけることにつながり、受け入れ先をはじめ多くの人に迷惑をかけることになる。いったん拡散した情報は取り消すことができないので、情報の取り扱いに注意すること。
連絡先 深堀 浩樹 hfukahori.kanr@tmd.ac.jp
オフィスアワー 深堀 浩樹:毎週金曜日 AM.10:00-12:00 3号館 15階 看護システムマネジメント学分野 教員室 事前連絡してから訪問すること。

學生周知事項

学 生 周 知 事 項

1 連絡・通知

学生への全ての告示、通知、連絡(試験関係、休講、講義室変更、奨学金関係、健康診断、授業料の納付、呼び出し等)は、掲示により行いますので、見落としがないよう十分注意して下さい。(3号館2階ラウンジ横)

掲示板には、逐次、新しい掲示をするのでたえず注意し、1日に一回は掲示を見て、不利益を被らないよう心がけて下さい。

なお、Webclass、メール等により連絡を行う場合もありますが、あくまでも2階の掲示板が正式なものです。

2 電話等による学生の呼び出し等

電話等による学生の呼び出しは、緊急かつ重大な場合を除いて一切行わないので、各関係者に説明しておいて下さい。

3 学生証

学生証は、本学の学生である旨を証明するものです。

入学時に交付したものを**4年間使用**しますので、紛失・破損等のないよう大切に取扱って下さい。

また、定期試験受験時、通学定期券の購入時等に提示を求められたときに提示できるよう、常に携帯するようにして下さい。

(1) 再交付

学生証を紛失又は破損等した場合は、速やかに学務企画課(1号館1階)に申し出て、再交付の手続きをとって下さい。

再交付には費用がかかりますので注意してください。また再交付まで約1ヶ月近くかかります。

(2) 返却

卒業、退学、除籍、又は有効期間が経過した場合は、速やかに学生証を学務企画課に返却して下さい。なお、返却できない場合は費用を負担することになります。

4 証明書等

証明書等は、教務課にて発行するものと、自動発行機にて発行するものがあります。

(1) 教務課(受付時間:8:30~17:15)

次に掲げるものは、教務課で発行しますので証明書交付願を提出して下さい。

(交付は、原則として、提出のあった日の翌日の午後となります。)

①成績証明書

②調査書

③英文の在学証明書(交付に1週間程度要します。)

④通学証明書(交通機関から請求された場合に限る。)

バス及び鉄道の通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅又は大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入して下さい。

⑤実習用定期

卒業研究等により本学以外の地に通学する場合は、実習用定期の発行が可能な為、必要が生じた者は、教務課に申し出てください。

なお、鉄道会社の許可を受けるまでに**1ヶ月程度要します**ので留意してください。(例:4月から必要な場合は、2月中に手続きをとること。)

※その他:上記以外の証明書等については、個々に教務課に相談して下さい。

(2) **自動発行機(利用時間:月～金 8:30～21:00)**

在学証明書・卒業見込み証明書(第4学年在籍者のみ)は、学生談話室(5号館4階)に設置されている[自動発行機]にて発行します。

(問い合わせ先)学務企画課企画調査掛(03-5803-5074)

5 学生旅客運賃割引証(学割証)

- (1) 学生が課外活動又は帰省などでJR線を利用する場合、乗車区間が片道100kmを超えるときに旅客運賃の割引(2割)を受けることができます。

この制度は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的とするものなので、計画的に使用すること。(年間使用限度:10枚/人)

- (2) 次に掲げる行為があったときは、普通運賃の2倍の追徴金を取られるばかりでなく、本学の全学生に対する学割証の発行が停止されることがありますので、乱用又は不正に使用することのないよう注意して下さい。

- ①他人名義の学割証を使って乗車券を購入したとき
- ②名義人が乗車券を購入し、これを他人に使用させたとき
- ③使用有効期間を経過したものを使用したとき

- (3) 学割証は、学生談話室(5号館4階)に設置されている「自動発行機」にて発行します。

(利用時間:8:30～21:00)

(問い合わせ先)学生支援課学生支援総括掛(03-5803-5077)

6 住所・氏名等の変更

本人又は保証人の住所・本籍又は氏名等(電話番号を含む。)に変更が生じた場合は、速やかに教務課に申し出て所定の手続きをとって下さい。

この手続きを怠った場合、大学から本人又は保証人に緊急に連絡する必要があるが生じても連絡が取れないので注意して下さい。

7 休学, 復学, 退学, 欠席

(1) 休学

病気その他の事由により、引き続き3ヶ月以上休学する場合又は休学期間を延長する場合は、「休学願」を教務課に提出し、学長の許可を受けて下さい。(病気の場合は、医師の診断書を添付して下さい。)

また、休学期間を延長する場合についても、休学する場合と同様に「休学期間延長願」により学長の許可が必要となります。

なお、休学(延長を含む。)するにあたっては、事前に「**学年担当教員**」と面談し、**休学事由及び休学によって生じる修学上の諸問題等**について十分相談して下さい。

また、休学を許可される期間は、**在学期間内通算して2年を超えることができません**。(特別の事情があると学長が認めたときは、更に1年以内の休学を許可することがありますので、事前に教務課に相談してください。)

(2) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中又は満了時に復学を希望する場合は、復学願(保証人連署)を教務課に提出し、学長の許可を受けて下さい。(病気を事由に休学した場合は、医師の診断書を添付して下さい。)

(3) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願(保証人連署)を教務課に提出し、学長の許可を受けて下さい。

なお、退学するにあたっては、事前に学年担当教員と面談し、退学事由等について十分相談して下さい。

(4) 授業の欠席

病気その他特別な事情により授業を欠席する(した)場合は、欠席届を教務課に提出して下さい。(病気の場合は、「診断書」、忌引きの場合は「会葬状」を添付して下さい。)

8 ロッカーの貸与

各人にロッカー(学部在籍中は、同じロッカーを使用)を貸与します。

私物は講義室等に置かず、全てロッカーに保管して下さい。

教室及びロッカー室内での盗難が多発しているため、貴重品等の管理は厳重にして下さい。

また、各人の責による備品等の破損については、各人の負担により現状に復して下さい。

9 授業中(大学行事、課外授業を含む。)の本人及び賠償責任が伴う事故等

入学時に加入した「学校教育災害傷害保険」(学研災)及び「医学生教育研究賠償責任保険」(医学賠)の対象となります。

(詳細は「学生生活の手引」参照)

なお、**針刺し事故(B型・C型肝炎)**が起こった場合は、職員課職員掛(1号館西1階:03-5803-5020)へ連絡のうえ指示を受けた後、教務課に事故報告書を提出して下さい。

ただし、他人に対する針刺し事故については上記の「医学賠」保険の対象となります。

10 遺失物及び拾得物

学内での遺失物又は拾得物の届出は以下のとおりとなります。

・遺失または拾得した建物の防災センターまたは守衛所

11 その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管していますので、責任者は適宜確認して下さい。なお、個人宛の郵便物等は、特別の場合を除き大学に配達されることがないようお願いします。

(2) 事務上の窓口

- ① 教務事務……学務部教務課保健衛生教務掛(1号館西1階:03-5803-5119)
- ② 授業料の納入……財務施設部資金課収入管理掛(1号館西3階:03-5803-5042)
- ③ 奨学金・授業料免除……学務部学生支援課(1号館西1階:03-5803-5077)
- ④ 針刺し事故……職員課職員掛(1号館西1階:03-5803-5020)

台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業、試験の休講措置等について

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う授業の休講、試験の延長を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載します。

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。
- ・ 夜間（午後6時以降）の授業を休講、夜間（午後6時以降）の試験を延期とする場合は、午後4時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR 及び大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前10時までに公示する。
- ・ 夜間（午後6時以降）の授業を休講、夜間（午後6時以降）の試験を延期とする場合は、午後4時までに公示する。

URL

<http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

諸 様 式

1 証明書交付願（自動発行機にて発行しているものを除く。）

証明書は、原則として請求日の翌日の午後以降発行する。（英文によるものを除く。）

2 住所・本籍地変更届

変更したことを証明する書類が必要です。（運転免許証、戸籍抄本）

3 改姓届（戸籍抄本添付）

4 保証人変更届

5 学生証紛失届・再交付願

6 紛失届

講義室、実習室、ロッカー室内での紛失物に関する届出

7 授業欠席届（病気の場合は「診断書」、忌引きの場合は「会葬状」添付）

病気その他特別な事情により授業を欠席する場合に提出

8 再試験申請書（未提出者は、権利を喪失するので必ず提出すること。）

定期試験不合格者は、原則再試験実施日の7日前までに教務課に提出

9 再試験欠席届

病気その他特別な事情により再試験を欠席した場合に提出

10 追試験申請書（未提出者は、権利を喪失するので必ず提出すること。）

病気、他やむを得ない理由により定期試験を欠席した者は、原則当該定期試験終了後5日以内に教務課に提出

11 休学願

グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

12 休学期間延長願

グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

13 復学願

グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

14 退学願

グループ担当教員又は学年担当教員の面談後、専攻主任の面談（押印）を受けてから提出
（緊急時等で専攻主任が不在の場合は、教育委員長の面談で可）

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

証 明 書 交 付 願

平成 年 月 日

医 学 部 長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
 (学専攻)
☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
☐ 医学部保健衛生学科専攻生
 (学専攻)

学籍番号

氏 名 _____
(Name)

生年月日 昭和・平成 年 月 日生
(Date of Birth)

下記により証明書（和文・英文）の交付をお願いいたします。
(If you need English writing certificate, please feel free to ask the Educational Affairs Section.)

記

証明書の種類	枚 数	※証明書番号	請求理由及び提出先
1. 成績証明書			(請求理由)
2. 卒業見込証明書 (M6・N4・MT4のみ発行)			
3. 在学証明書 (英文及び専攻生のみ)			(提出先)
4. 在学期間証明 (専攻生のみ)			
5. 終了証明書 (専攻生のみ)			
6.			
7.			(備考)

- 注) 1. 「※証明書番号」欄は記入しないこと。
 2. 英文証明書を依頼する場合は、氏名欄にローマ字表記を合わせて記入すること。

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

住 所 ・ 本 籍 地 変 更 届

平成 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
 (学専攻)
☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
☐ 医学部保健衛生学科専攻生
 (学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

このたび、下記のとおり変更しましたのでお届けいたします。

記

変 更 者	☐ 本 人 ☐ 保 証 人
☐ 住 所	〒 - TEL. _____
☐ 本 籍 地	

注) 変更該当個所の□をチェックしてください

教務システム	債権変更	学 籍 簿	台 帳	名 簿

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

改 姓 届

平成 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
- ☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)
- ☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
- ☐ 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

このたび、下記のとおり改姓しましたのでお届けいたします。

記

(フリガナ) 旧 姓		(フリガナ) 新 姓	
(改姓理由)			

注) 戸籍抄本又は謄本を添付すること。

教務システム	債権変更	学 籍 簿	台 帳	名 簿

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

保 証 人 変 更 届

平成 年 月 日

東京医科歯科大学医学部長 殿

- ☐ 医学部医学科 第 学年
- ☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)
- ☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
- ☐ 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

氏 名 印

このたび、下記のとおり保証人（正・副）を変更しましたのでお届けいたします。

記

氏 名	(フリガナ)	学生との関係	
	印	職 業	
	年 月 日生	本 籍 地	
住 所	〒 - TEL.		

注) 氏名欄に押印してください。

債 権 変 更	学 籍 簿

平成 年 月 日

保証人（住所）変更届出

経理責任者
国立大学法人 東京医科歯科大学財務施設部長 殿

平成 年度入学 第 学年

学 部 学 科
研 究 科
附属学校名 専攻名

学籍番号 第 号

氏 名 印

☐ 連帯保証人（父母等）住所に変更がありましたのでお届けします。

変 更 前	
変 更 後	〒 _____ Tel _____ ()

☐ 連 帯 保 証 人 を 変 更 し ま し た の で お 届 け し ま す 。

変 更 前	
変 更 後	上記の者の授業料債務について本人と連帯して、履行の責を負うことを保証します。 連帯保証人 フリガナ _____ 印 氏 名 _____ (学 生 と の 関 係 : _____) 住 所 〒 _____ _____ Tel _____ ()

（該当する項目の□に、Vしてください。）

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

学 生 証 紛 失 届 ・ 再 交 付 願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学 長

- ☐ 医学部医学科 第 学年
☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)
☐ 医学部医学科専攻生 (講座)
☐ 医学部保健衛生学科専攻生
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日生

下記のとおり，学生証を紛失いたしましたので再交付方よりお願いいたします。
今後は，取り扱いに十分注意いたします。
なお，紛失した学生証を発見したときは，直ちに返納いたします。

記

1. 日 時 : 平成 年 月 日 時 分頃

2. 場 所 : _____

3. 紛失したときの状況（具体的に記入すること。）

※ 過去の学生証発行状況（事務記入欄）

再交付1回目 : 平成 年 月 日
再交付2回目 : 平成 年 月 日
再交付3回目 : 平成 年 月 日

注) 専攻生は，写真（3×4 cm）1枚を添付すること。

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

紛 失 届

医 学 部 長 殿 平成 年 月 日

- ☐ 医学部医学科 第 学年
- ☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおり、紛失しましたのでお届けいたします。

記

- 紛失日時 : 平成 年 月 日 時 分頃
- 紛失場所 :
- 紛失物 :
- 連絡先

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

授 業 欠 席 届

平成 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおりに、授業を 欠席します のでお届けいたします。
欠席しました

記

1. 欠席期間 自 平成 年 月 日
至 平成 年 月 日

2. 欠席理由（病気による場合は、医師の診断書を添付すること。）

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

再 試 験 申 請 書

平成 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記科目について、再試験の申請をしますのでよろしくお願いいたします。

記

申請科目名	担当教官名	申請科目名	担当教官名
1.		6.	
2.		7.	
3.		8.	
4.		9.	
5.		10.	

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

再 試 験 欠 席 届

平成 年 月 日

医 学 部 長 殿

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおり再試験を欠席しましたのでお届けいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教官名 : _____)

平成 年 月 日施行

2. 欠 席 理 由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

医学部長	事務部長	次 長	課 長	課長補佐	掛 長	掛 員
専	専	専				

追 試 験 申 請 書

医 学 部 長 殿

平成 年 月 日

☐ 医学部医学科 第 学年

☐ 医学部保健衛生学科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

氏 名 _____

下記のとおり定期試験を欠席しましたので、追試験を施行していただきますようお願いいたします。

記

1. 試験科目名 : _____ (教官名 : _____)

平成 年 月 日施行

2. 欠 席 理 由 (病気による場合は、医師の診断書を添付すること。)

休 学 願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 (科 第 学年
学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり休学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由 ☐ 病気・怪我 ☐ 経済的理由 ☐ 出産・育児・介護 ☐ その他 ()

2. 休学期間 自 平成 年 月 日
至 平成 年 月 日 (ケ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____								
保証人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____								

注) 1. 休学理由は、できるだけ具体的に記入してください。

2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

休学期間延長願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 (科 第 学年
学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり休学期間を延長したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学期間延長理由

2. 休学延長期間

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日までのところ
平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日まで延長 (ヶ月)

3. 休学中の連絡先

本人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____								
保証人	〒 <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> - <table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> TEL. _____								

注) 1. 休学理由は、できるだけ具体的に記入してください。

2. 休学理由が、病気を理由とする場合は、医師の診断書を添付してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

復学願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年
(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)

本人氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり休学しておりましたが，平成 年 月 日付けで復学したいので，
ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 休学理由

2. 休学許可期間 自 平成 年 月 日
 至 平成 年 月 日

注) 病気を理由として休学した場合は，医師の診断書を添付してください。

退 学 願

平成 年 月 日

東京医科歯科大学長 殿

教授認印

医学部 科 第 学年
(学専攻)

医学部 科 専攻生
(昭和・平成) 年 月入学
(学専攻)

学籍番号

--	--	--	--	--	--	--

(フリガナ)
本人氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり退学したいので、ご許可くださいますようお願いいたします。

記

1. 退学理由

2. 退 学 日 平成 年 月 日付け

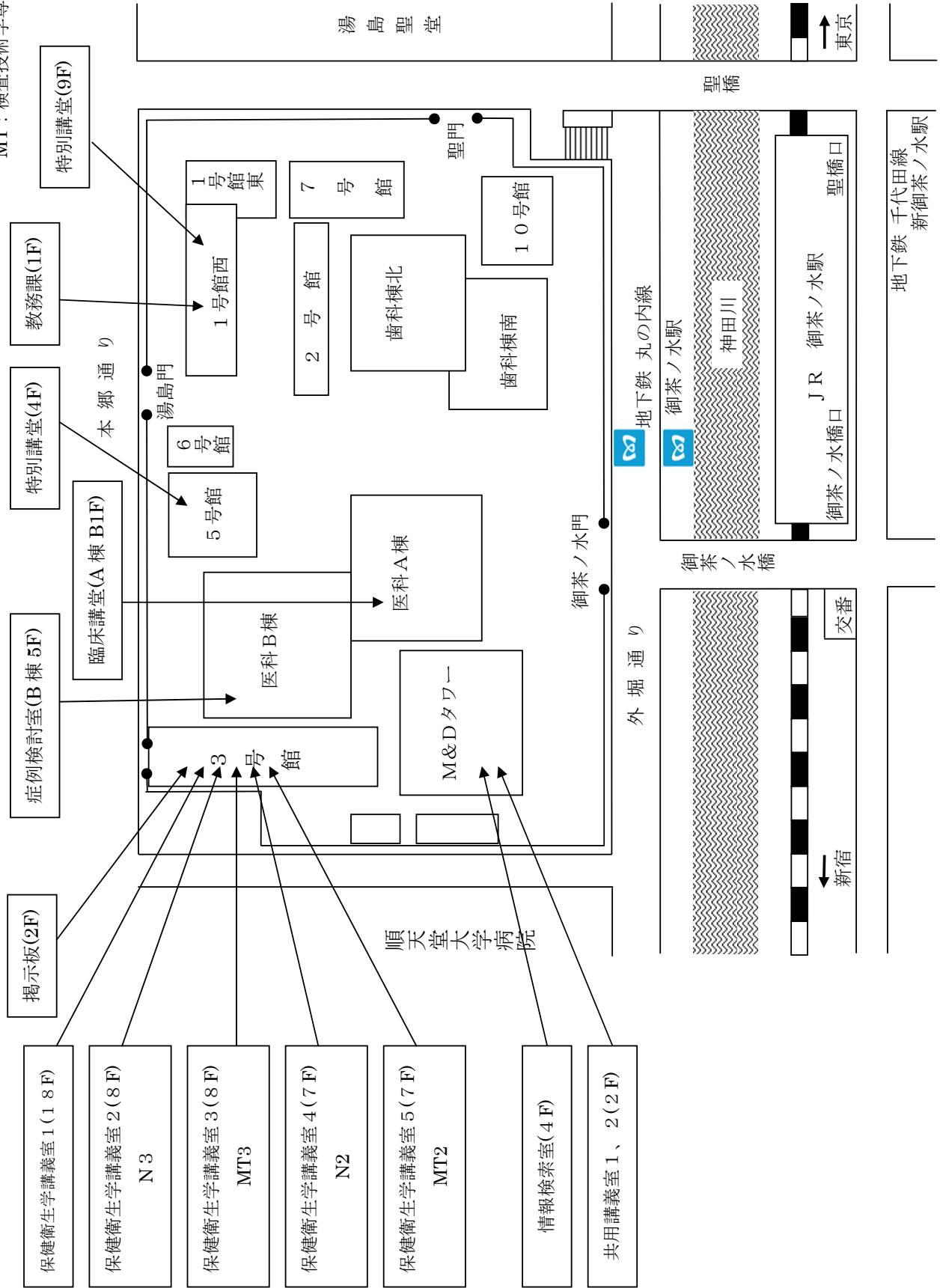
注) 退学理由は、できるだけ具体的に記入してください。

財務管理課収入管理掛照合欄	
前期授業料	後期授業料

講義室一覽

☆医学部保健衛生学科講義室等一覧☆

N：看護学専攻
MT：検査技術学専攻



参 考

東京医科歯科大学学則

〔 平成 16 年 4 月 1 日 〕
規 程 第 4 号

第 1 章 総則

第 1 条 本学は、医学及び歯学の理論並びに応用を教授研究し、併せて人格の陶冶をなすものである。

2 各学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、当該学科において別に定める。

第 2 条 本学に、国立大学法人東京医科歯科大学組織運営規程（平成 16 年規程第 1 号。以下「組織運営規程」という。）の定めるところにより、次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科
保健衛生学科

歯 学 部 歯学科
口腔保健学科

2 医学部保健衛生学科に、看護学専攻及び検査技術学専攻を置く。

3 歯学部口腔保健学科に、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻を置く。

4 本学に、組織運営規程の定めるところにより、教養部を置く。

第 3 条 医学部医学科及び歯学部歯学科の修業年限は 6 年、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の修業年限は 4 年とする。

第 4 条 学生の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学科・専攻	入学定員	編入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	1 0 1	5（2 年次編入）	6 3 1
	保健衛生学科			
	看護学専攻	5 5		2 2 0
	検査技術学専攻	3 5		1 4 0
歯 学 部	歯 学 科	5 3		3 1 8
	口腔保健学科			
	口腔保健衛生学専攻	2 2	6（3 年次編入）	1 0 0
	口腔保健工学専攻	1 0	5（2 年次編入）	5 5

第 2 章 授業科目

第 5 条 削除

第 6 条 本学の授業科目は、全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

- 2 全学共通科目は教養部において、専門科目は各学部において行う。
- 3 全学共通科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。
- 4 専門科目の開設授業科目及び単位数は、別に定める。

第3章 学年、学期及び休業日

第7条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第8条 学年を分けて、次の学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

第9条 授業を行わない日（以下「休業日」という。）は次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
- (3) 本学創立記念日 10月12日
- (4) 春季休業 4月1日から4月7日まで
- (5) 夏季休業 7月11日から9月10日まで
- (6) 冬季休業 12月25日から翌年1月7日まで

2 前項の規定にかかわらず学長が必要と認めたときは、休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第4章 入学、休学、転学及び退学

第10条 入学は、学年の始めにおいてする。

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
- (7) 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると、本学で認めた者

第12条 大学医学部医学科の卒業生で歯学部歯学科に、大学歯学部歯学科の卒業生で医学部医学科に編入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学の許可をすることがある。

第13条 大学医学部医学科の学生で医学部医学科に、大学歯学部歯学科の学生で歯学部歯学科に、大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）の学生で医学部保健衛生学科又は歯学部口腔保健学科に転入学を希望する者があるときは、欠員がある場合に限り、選考の上、相当の学年に入学を許可することがある。

第14条 医学部医学科の2年次に編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者（医学を履修する課程を卒業した者を除く。）
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（学校教育における15年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得したと大学において認めた者を含む。）

第15条 削除

第16条 医学部保健衛生学科の2年次に編入学することができる者は、四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修しており、かつ、協定大学の学部で2年次以上在学した者で、選考の上、入学を許可する。

第17条 削除

第18条 歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の3年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 歯科衛生士を養成する短期大学を卒業した者
- (2) 歯科衛生士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第18条の2 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の2年次編入学をすることができる者は、次の各号の一に該当する者で、選考の上、入学を許可する。

- (1) 高等専門学校又は短期大学を卒業した者
- (2) 大学を卒業した者
- (3) 歯科技工士を養成する専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者

第19条 本学学生で退学した者が再び入学を請うときは、欠員がある場合に限り、選考の上、原学年以下に入学を許可することがある。

2 前項に規定するもののほか、第25条の規定による休学者が退学（休学期間満了のため学部を退学した者をいう。）し、本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、原学科の原学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

3 前2項に規定するもののほか、第31条の2の規定による退学者が本学医学部医学科又は歯学部歯学科に再び入学を志願するときは、退学時の在籍学科の在籍学年以上に入学を許可する。ただし、懲戒事由等に相当する事由があると認められる志願者の入学については、選考の上許可するものとする。

第20条 編入学、転入学及び再入学により入学し、その後所定の年限在学した者は、第3条に規定する年限を在学したものとみなす。

第21条 本学に入学を志願する者は、所定の手続により、願出なければならない。

第22条 入学志願者については、別に定めるところにより選考を行う。

第23条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、定められた期日までに宣誓簿に署名し、誓約書その他所定の書類を提出するとともに、入学料を納付するものとする。ただし、第45条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請し受理された者にあつては、当該免除又は徴収猶予を許可し又は不許可とするまでの間、入学料の徴収を猶予する。

2 学長は、前項の手続を完了した者に入学を許可する。

第24条 学生は、病気その他の事由により引き続き3月以上休学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。

第25条 本学医学部医学科又は歯学部歯学科に4年以上在学した者が引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に在学するために休学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。

第26条 前2条の規定による休学者で、休学期間中にその事由が消滅したときは、所定の手続きにより、復学の許可を学長に願い出ることができる。

第27条 休学期間は、通算して2年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、さらに1年以内の休学を許可することがある。

2 大学院医歯学総合研究科博士課程に在学する者の第24条の規定による休学期間及び第25条の規定による休学期間は、第1項の規定にかかわらず、通算して3年を超えることはできない。ただし、特別の事由があるときは、さらに1年以内の休学を許可することができる。

3 休学した期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

第28条 学長は、学生が病気その他の事由により修学が不相当と認められるときは、当該学部教授会の議（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）を経て、休学を命ずることがある。

第29条 学生は、学長の許可なくして、他の大学、本学の他の学科又は専攻に入学を志願することはできない。

第30条 学生が転学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けるものとする。

2 前項の許可を与えたときは、退学とする。

第31条 学生が病気その他の事由で退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出てその許可を受けるものとする。

第31条の2 四大学連合憲章に基づく協定による複合領域コースを履修している者が協定大学に編入学するために退学しようとするときは、所定の手続きにより、学長に願い出て許可を受けなければならない。

第32条 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生は10年を、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の学生は8年を超えて在学することができない。

2 編入学、転入学及び再入学により入学した者の在学年限は、各学部において定める。

第33条 学長は、学生が次の各号の一に該当するときは、当該学部教授会の議（全学共通科目を

履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。)を経て、退学を命ずることがある。

- (1) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- (2) その他病気等の事由により、成業の見込みがないと認められる者

第5章 履修方法及び単位等

第34条 学生が授業科目を履修し、試験に合格したときは、所定の単位を与える。

- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を評価して試験によらずに単位を与えることができる。

第35条 前条に定める他、履修及び学習の評価方法については、各学部及び教養部において定める。

第36条 1単位の授業科目を、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学習等を考慮して、1単位当たりの授業時間を次の基準により、各学部及び教養部において定める。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の範囲
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の範囲

第37条 本学の教育上有益と認めるときは、本学に入学（編入学、転入学等を除く。）する前の大学（短期大学並びに外国の大学及び短期大学を含む。）において修得した単位を合計30単位を限度として、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。ただし、第3条に定める修業年限を短縮することはできない。

- 2 前項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。

第38条 本学の教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項に係る手続き等については、各学部及び教養部において定める。

第6章 卒業及び学位

第39条 卒業の認定は、第3条に定める年限を在学し、かつ、第6条第3項に定める授業科目を、医学部医学科においては209単位以上、歯学部歯学科においては220単位以上、医学部保健衛生学科看護学専攻においては124単位以上、医学部保健衛生学科検査技術学専攻においては135単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻においては128単位以上、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻においては126単位以上を修得した者に対し、当該学部教授会の議を経て学長が行う。

第40条 前条による卒業者には、次の区分により学士の学位を授与する。

学 部	学科・専攻	学 位
医 学 部	医学科	学士（医 学）
	保健衛生学科	

歯 学 部	看護学専攻	学士（看護学）
	検査技術学専攻	学士（保健学）
	歯学科	学士（歯学）
	口腔保健学科	学士（口腔保健学）

第7章 検定料、入学料及び授業料

第41条 授業料、入学料及び検定料の額については、別に定める。

第42条 入学志願者は、出願と同時に検定料を納付しなければならない。

第43条 授業料は、次の2期に分けて納付しなければならない。

前期 4月中
後期 10月中

- 2 前項の規定にかかわらず、学生の申出があったときは、前期に係る授業料を徴収するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて徴収するものとする。
- 3 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第1項の規定にかかわらず、入学を許可される者の申出があったときは、入学を許可するときに徴収するものとする。
- 4 第1項の授業料納入の告知・督促は、所定の場所（医学部掲示板・歯学部掲示板・教養部掲示板）に掲示するものとする。

第44条 既納料金は、如何なる理由があっても返還しない。

- 2 第42条の規定に基づき徴収した検定料について、第1段階目の選抜で不合格となった者から返還の申出があったときは、前項の規定にかかわらず、第2段階目の選抜に係る額に相当する額を返還する。
- 3 前条第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退した場合には、第1項の規定にかかわらず、納付した者の申出により当該授業料に相当する額を返還する。
- 4 前条第2項及び第3項の規定に基づき授業料を納付した者が、後期分授業料の徴収時期以前に休学又は退学した場合には、第1項の規定にかかわらず、後期分の授業料に相当する額を返還する。

第45条 本学に入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納付が著しく困難であると認められる者及び当該者に準ずる者であって、学長が相当と認める事由がある者については、本人の申請により、入学料の全額又は半額を免除することがある。

- 2 本学に入学する者であって、経済的理由によって納付期限までに入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者及びその他やむを得ない事情があると認められる者については、本人の申請により、入学料の徴収猶予をすることがある。
- 3 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかった者又は半額免除を許可された者のう

ち、前項該当する者は、免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に徴収猶予の申請をすることができる。

4 前3項の取扱いについては、別に定める。

第46条 停学に処せられた者の授業料は徴収するものとする。

第47条 行方不明、その他やむを得ない事情がある者の授業料は本人又は保証人の申請により徴収を猶予することがある。

第48条 死亡又は行方不明のため除籍され、或は授業料の未納を理由として退学を命ぜられた者の未納の授業料は全額を免除することがある。

第49条 毎学期開始前に休学の許可を受けた者及び休学中に休学延期の許可を受けた者の休学中の授業料は免除する。ただし、各学期の途中で休学の許可を受けた者の授業料は、月割計算により休学当月の翌月から復学当月の前月までに相当する額を免除する。

2 各学期の途中で復学する者のその期の授業料は、復学当月から次の授業料徴収期の前月まで月割計算により復学の際徴収する。

第50条 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び学生又は学生の学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が困難と認められる者については、本人の申請により授業料の全額若しくはその一部を免除又は徴収猶予することがある。

2 前項の取扱いについては別に定める。

第51条 入学料の免除の申請をした者で、免除を許可されなかった者又は半額免除を許可された者が、納付すべき入学料を免除の不許可又は半額免除の許可を告知した日から起算して14日以内に納付しない場合は、除籍する。ただし、第45条第3項の規定により徴収猶予の申請をした者を除く。

2 入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可されなかった者が、納付すべき入学料を徴収猶予不許可を告知した日から起算して14日以内に納付しない場合は、除籍する。

3 入学料の徴収猶予の申請をした者で、徴収猶予を許可された者が、納付期限までに入学料を納付しない場合は、除籍する。

第52条 授業料を所定の期間内に納付しない者で、督促を受け、なおかつ怠る者は退学を命ずる。

2 前項の督促は文書をもってするものとする。

第8章 大学院

第53条 本学に、組織運営規程の定めるところにより、大学院を置く。

2 大学院の学則は、別に定める。

第9章 外国人留学生

第54条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、本学の教育研究に支障のない場合に限り、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生については、別に定める。

第10章 科目等履修生、聴講生及び特別聴講学生

第55条 本学の学生以外の者で、本学が開設する一又は複数の授業科目を履修することを志願する者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

- 2 前項により入学した者には、第34条の規定を準用し、単位を与える。
- 3 その他科目等履修生については、別に定める。

第56条 特定の授業科目について聴講を志願する者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

- 2 聴講生については、別に定める。

第57条 他の大学の学部学生で、当該大学との協定に基づき、本学が開設する一又は複数の授業科目の履修を志願する者があるときは、選考の上、特別聴講学生として入学を許可する。

- 2 特別聴講学生については、別に定める。

第11章 懲戒

第58条 学長は、学生が本学の諸規則に違反し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、当該学部教授会の議（全学共通科目を履修している学生については、教養部長から当該学部長への通知による。）を経て、これを懲戒する。

- 2 懲戒は、退学、停学、訓告とする。
- 3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
 - (2) 学業を怠り成業の見込みがないと認められる者
 - (3) 学内の秩序を著しく乱し、その他学生の本分に著しく反した者

第12章 寄 宿 舎

第59条 本学に寄宿舍を置く。

- 2 寄宿舍に関する規定は、別に定める。

附 則

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成16年度から平成18年度までの3年次編入学員及び収容定員は、次のとおりとする。

年度 区 分	平 成 16年度	平 成 17年度	平 成 18年度
3年次編入学定員	—	—	10
収容定員	25	50	85

- 3 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学び編入学する者の教育課程の履修については、この学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 この学則の施行前に廃止前の東京医科歯科大学学則（昭和27年学規第1号）の規定によりなされた手続その他の行為は、この学則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附 則（平成17年3月23日規程第2号）

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

- 2 平成17年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成17年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成18年3月28日規程第1号）

- 1 この学則は平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において現に本学に在学する者（以下在学者という。）及び平成18年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の第39条、別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による

附 則（平成19年3月29日規程第3号）

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日において現に本学に在学する者（平成18年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び平成19年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年1月16日規程第1号）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科の平成20年度から平成22年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科・専攻	収 容 定 員		
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
医学部保健衛生学科			
看護学専攻	215	210	215
検査技術学専攻	135	130	135
歯学部口腔保健学科	118	116	118

附 則（平成20年3月26日規程第5号）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年4月1日において現に本学に在学する者（平成18年度に入学した者を除く。以下「在学者」という。）及び20年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年1月8日規程第1号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この学則改正前に、本学に4年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、平成21年4月1日より休学を願い出ている者については、改正後の東京医科歯科大学学則第25条の2の規程を適用する
- 3 この学則の施行の際限に本学に4年以上在学し、引き続き大学院医歯学総合研究科博士課程に入学するため、退学した者が再び入学を志願する場合の取扱いは、なお従前の例による。
- 4 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年3月19日規程第3号）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成21年度から平成25年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員				
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度

医学部医学科	480	490	500	510	520
--------	-----	-----	-----	-----	-----

- 3 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）及び別表（2）の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、平成21年4月1日以降に歯学部口腔保健学科に3年次編入学する者については、改正後の別表（2）の規定を適用する。

附 則（平成21年12月18日規程第9号）

この規程は、平成22年1月1日から施行する。

附 則（平成22年3月30日規程第3号）

- この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成22年度から平成26年度までの収容定員は、次のとおりとする。

学部・学科	収 容 定 員				
	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
医学部医学科	500	520	540	560	580

- 3 平成22年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月4日規程第1号）

- この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成23年度から平成27年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	収 容 定 員				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収容定員	525	550	575	600	615

- 3 改正後の第4条の規定にかかわらず、歯学部歯学科の平成23年度から平成27年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	収 容 定 員				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収容定員	358	346	334	322	320

- 4 改正後の第4条の規定にかかわらず、歯学部口腔保健学科の平成23年度から平成25年度までの収容定員は、次のとおりとする。

	年度 区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
口腔保健衛生学専攻	収容定員	115	110	105
口腔保健工学専攻	2年次編入定員		5	5
	収容定員	10	25	40

附 則（平成23年6月30日規程第6号）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日規程第3号）

- この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 改正後の第4条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成24年度から平成27年度までの編入学定員等は、次のとおりとする。

年度 区分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
編入学定員	5（2 年次編入） 5（3 年次編入）	5（2 年次編入）	5（2 年次編入）	5（2 年次編入）
収容定員	555	580	605	620

3 平成 24 年度においては、改正後の第 14 条の「2 年次」は「3 年次及び 2 年次」と読み替えるものとする。

附 則（平成 24 年 9 月 28 日規程第 8 号）

この学則は、平成 24 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 3 月 12 日規程第 2 号）

1 この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2 改正後の第 4 条の規定にかかわらず、医学部医学科の平成 25 年度から平成 29 年度までの収容定員は、次のとおりとする。

年度 区分	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
収容定員	581	607	623	629	630

〔平成22年3月30日
規則第41号〕

（趣旨）

第1条 東京医科歯科大学医学部・歯学部における授業の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（授業科目）

第2条 授業科目は、学則第6条第1項に定める全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）と専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）とする。

（全学共通科目の履修）

第3条 全学共通科目の履修については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成16年規則第217号）の定めるところによる。

（専門科目の履修）

第4条 専門科目の履修については、各教授会の議を経て別表1に定めるところとする。

（専門科目の履修要件）

第5条 全学共通科目を修了しなければ、専門科目を履修することができない。ただし、医学部医学科、医学部保健衛生学科看護学専攻は、この限りでない。

（授業）

第6条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修又は選択必修とする。

（1単位当たりの授業時間）

第7条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 医学科

ア 講義及び演習	15～30時間
イ 実習	30～45時間

(2) 保健衛生学科

ア 講義	15時間
イ 演習	30時間
ウ 実習	45時間
エ 臨地実習	
看護学専攻	45時間
検査技術学専攻	30時間

(3) 歯学科

ア 講義及び演習	15～30時間
イ 実習	30～45時間

(4) 口腔保健学科

ア 講義及び演習	15～30時間
イ 実習	30～45時間

（編入学者、転入学者の単位認定）

第8条 学則第12条から第18条までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び本学部専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部において行うものとする。

3 入学を許可する学年及び履修方法等については、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第9条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第10条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可された学年までの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第11条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を取得することができない。

4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を取得することができない。

5 試験は、次のとおりとする。

(1) 医学部

定期試験、科目試験、共用試験、追試験及び再試験

(2) 歯学部歯学科

ユニット試験、共用試験、追試験及び再試験

(3) 歯学部口腔保健学科

期末試験、中間試験、追試験及び再試験

6 学習の評価は、別表2のとおりとする。

7 単位の認定は、学部教授会の議を経て学部長がこれを行う。

8 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

第12条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずることがある。

(卒業認定)

第13条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第14条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

2 東京医科歯科大学医学部履修規則(平成16年規則第201号)は、廃止する。

3 東京医科歯科大学歯学部履修規則(平成16年規則第213号)は、廃止する。

4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。

5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者(以下「在学者」という。)及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

別表 1（省略）
教育課程の頁参照

別表 2

（1）医学部

成績区分	評価区分	単位認定
100～90点	秀	合 格
89～80点	優	
79～70点	良	
69～60点	可	
59～0点	不可	不合格

（2）は省略

別表 3（（1）、（3）、（4）は省略）

（2）保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

（1）第2学年の必修科目（実習科目を除く。）のうち、単位未修得の科目が4科目以上ある又は第2学年の必修科目となっている実習科目に単位未修得の科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。
（2）第2学年及び第3学年の必修科目の単位を全て修得しなければ、第4学年に進級することはできない

（平成 22 年 3 月 30 日
規則 第 41 号）

（趣旨）

第 1 条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（専門科目の履修）

第 2 条 専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表 1 に定めるところとする。

（授業）

第 3 条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

（1 単位当たりの授業時間）

第 4 条 学則第 36 条に定める 1 単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|--------|-------|
| (1) 講義 | 15 時間 |
| (2) 演習 | 30 時間 |
| (3) 実習 | 45 時間 |

2 前項第 3 号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の 1 単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|-------------|-------|
| (1) 看護学専攻 | 45 時間 |
| (2) 検査技術学専攻 | 30 時間 |

（編入学者、転入学者の単位認定）

第 5 条 学則第 12 条から第 18 条の 2 までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）

第 6 条 学則第 19 条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）

第 7 条 学則第 12 条から第 19 条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第 32 条第 1 項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）

第 8 条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

- 3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。
- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
- 2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年2月27日規則第 号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1 省略：（ただし保健衛生学科各専攻分(2)(3)は教育課程として教育課程の頁に掲載）

別表 2

成績区分	評価区分	単位認定
100～90点	秀	合 格
89～80点	優	
79～70点	良	
69～60点	可	
59～0点	不可	不合格

別表 3 ((1)、(3)～(5)は省略)

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1) 第1学年の専門科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(2) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
(3) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成26年度入学者

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の履修)

第2条 専門科目の履修については、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て別表1に定めるとおりとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修、選択必修又は選択とする。

(1単位当たりの授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|--------|------|
| (1) 講義 | 15時間 |
| (2) 演習 | 30時間 |
| (3) 実習 | 45時間 |

2 前項第3号の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科の臨地実習の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- | | |
|-------------|------|
| (1) 看護学専攻 | 45時間 |
| (2) 検査技術学専攻 | 30時間 |

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

- 2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部（以下「在籍学部」という。）において行うものとする。
- 3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

（再入学の単位認定）

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

（編入学者、転入学者、再入学者の在学年限）

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

（試験及び単位）

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

- 2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
- 3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。
- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

（進級要件）

第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。

- 2 医学部医学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、なお成業の見込みがないと認められたときは、学則第33条第1号の規定により退学を命ずる。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年 月 日規則第 号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

できる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

別表 1 省略：（ただし保健衛生学科各専攻分(2)(3)は教育課程として教育課程の頁に掲載）

別表 2

成績区分	評価区分	単位認定
100～90点	秀	合 格
89～80点	優	
79～70点	良	
69～60点	可	
59～0点	不可	不合格

別表 3 ((1)、(3)～(5)は省略)

(2) 保健衛生学科（看護学専攻及び検査技術学専攻）

(1) 第1学年の専門科目に未履修科目があるときは、第2学年に進級することができない。
(2) 第2学年の必修科目（実習科目を除く。）に未履修科目があるとき、4科目以上の不合格科目があるとき、又は第2学年の必修科目となっている実習科目に不合格科目があるときは、原則として、第3学年に進級することができない。但し、実習科目が不合格の場合は、未履修科目とみなす。
(3) 第2学年及び第3学年の必修科目に未履修科目または不合格科目があるときは、第4学年に進級することはできない。

備考

未履修科目：授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修しなかった科目、又は授業科目を3分の2以上（実習科目の場合は4分の3以上）履修したにも関わらず試験等を放棄し、単位認定できない科目。再履修を要する。

不合格科目：授業科目を3分の2以上履修し、試験等を経て不合格の認定となった科目。

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規

平成23年 2月16日
医学部保健衛生学科長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第14条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 卒業試験、科目試験及び追試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が100点満点で採点し、履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の成績は、0点とする。
- 3 第1項及び前項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

(仮進級)

第3条 進級要件を満たさない者については、特別な事情がある場合に限り、保健衛生学科教育委員会において協議し、仮進級を認めることができる。

- 2 仮進級者は、翌年度に実施される不合格科目の定期試験を受験し、合格しなければならない。

(G P)

第4条 G P (Grade Point) で成績を評価する場合は次のとおりとする。

成績評価	秀	優	良	可	不可
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0
100点方式との対応	90以上	89～80	79～70	69～60	59以下

- 2 選択科目の履修を届け出た後、単位を認定されなかった科目については、未履修科目とし、G P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。
- 3 選択科目のうち、卒業要件に含まない単位のG Pについては、学生の申請により、G P Aの計算式に算入しないものとする。
- 4 前項の申請時期は、第4学年の後期履修登録時とし、以降の変更は原則として認めない。

附 則

- 1 この内規は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学医学部に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成26(2014)年度入学者

授業科目		単 位 数		履 修 学 年				備 考 (旧カリ対応科目等)
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2		○				
	解剖学Ⅱ	1			○			
	生理学	3			○			
	生化学	2			○			
	薬理学Ⅰ	1			○			
	薬理学Ⅱ	1			○			
	病理学	1			○			
	微生物学	1			○			
	栄養学	1			○			
	疫学	1				○		
	病態学	5			○			
	英文講読Ⅰ	1			○			
	英文講読Ⅱ	1				○		
	英文講読Ⅲ		1				○	
	専門基礎合同演習	1			○			
専門共通分野	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1			○			
	国際保健看護学	1					○	
	産業保健学	1					○	
	保健医療福祉制度論	2			○			
	健康教育学演習	1					○	保健医療福祉制度論演習
	卒業論文Ⅰ	1				○		
	卒業論文Ⅱ	2					○	
	実践看護英語		1		○	○		
専 門	国際保健福祉		1		○	○	○	
	基礎看護学Ⅰ	1		○				
基 礎 看 護 学	基礎看護学Ⅱ	1			○			
	基礎看護学Ⅲ	1			○			
基 礎 看 護 学 演 習	基礎看護学演習Ⅰ	2			○			
	基礎看護学演習Ⅱ	1			○			
基 礎 看 護 学 実 習	基礎看護学実習Ⅰ	1		○				
	基礎看護学実習Ⅱ	2			○			
成 人 看 護 学	成人看護学Ⅰ	2			○			
	成人看護学Ⅱ	2			○			
成 人 看 護 学 Ⅲ	成人看護学Ⅲ	1				○		
	成人看護学演習	1				○		
成 人 看 護 学 実 習	成人看護学実習	3				○		成人看護学実習Ⅰ
精 神 看 護 学	精神看護学	2			○			
	地域精神看護学	1				○		
精 神 看 護 学 演 習	精神看護学演習	1				○		
	精神看護学実習	2				○		
看 護 心 理 学	看護心理学		1	○				
小 児 看 護 学 Ⅰ	小児看護学Ⅰ	1			○			
	小児看護学Ⅱ	1				○		
小 児 看 護 学 演 習	小児看護学演習Ⅰ	1			○			
	小児看護学演習Ⅱ	1				○		
小 児 看 護 学 実 習	小児看護学実習	2				○		
母 性 看 護 学 Ⅰ	母性看護学Ⅰ	1				○		
	母性看護学Ⅱ	1				○		
母 性 看 護 学 Ⅲ	母性看護学Ⅲ	1				○		
	母性看護学演習	1				○		
母 性 看 護 学 実 習	母性看護学実習	2				○		
老 年 看 護 学	老年看護学	3				○		
	老年看護学演習	1				○		
リハビリテーション看護学	リハビリテーション看護学		1			○		
	老年看護学実習	3				○		
地 域 保 健 看 護 学 Ⅰ	地域保健看護学Ⅰ	1				○		地域看護学Ⅰ
	地域保健看護学Ⅱ	1				○		地域看護学Ⅱ
地 域 保 健 看 護 学 Ⅲ	地域保健看護学Ⅲ	2					○	地域看護学Ⅲ
	地域保健看護学演習	1					○	地域看護学演習
地 域 保 健 看 護 学 実 習	地域保健看護学実習	3					○	地域看護学実習
在 宅 看 護 学 Ⅰ	在宅看護学Ⅰ	1			○			
	在宅看護学Ⅱ	1				○		
緩 和 ケ ア 看 護 学	緩和ケア看護学		1				○	
	在宅看護学演習	1				○		
在 宅 看 護 学 実 習	在宅看護学実習	2				○		
看 護 の 統 合 と 実 践 Ⅰ	看護の統合と実践Ⅰ	2		○				
	看護の統合と実践Ⅱ	2					○	
看 護 の 統 合 と 実 践 実 習 Ⅰ	看護の統合と実践実習Ⅰ	2					○	看護の統合と実践実習
	看護の統合と実践実習Ⅱ	1					○	成人看護学実習Ⅱ
計		95	6					

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成24・25(2012・2013)年度入学者

授業科目		単 位 数		履 修 学 年				備 考 (旧カリ対応科目等)
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	解剖学Ⅰ	2		○				
	解剖学Ⅱ	1			○			
	生理学	3			○			
	生化学	2			○			
	薬理学Ⅰ	1			○			
	薬理学Ⅱ	1			○			
	病理学	1			○			
	微生物学	1			○			
	栄養学	1			○			
	疫学	1				○		
	病態学	5			○			
	英文講読Ⅰ	1			○			
	英文講読Ⅱ	1				○		
	英文講読Ⅲ		1				○	
	専門基礎合同演習	1			○			
専門共通分野	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1			○			
	国際保健看護学	1					○	
	産業保健学	1					○	
	保健医療福祉制度論	2			○			
	健康教育学演習	1					○	保健医療福祉制度論演習
	卒業論文Ⅰ	1				○		
	卒業論文Ⅱ	2					○	
専門領域別分野	実践看護英語		1		○	○		
	基礎看護学Ⅰ	1		○				
	基礎看護学Ⅱ	1			○			
	基礎看護学Ⅲ	1			○			
	基礎看護学演習Ⅰ	2			○			
	基礎看護学演習Ⅱ	1			○			
	基礎看護学実習Ⅰ	1		○				
	基礎看護学実習Ⅱ	2			○			
	成人看護学Ⅰ	2			○			
	成人看護学Ⅱ	2			○			
	成人看護学Ⅲ	1				○		
	成人看護学演習	1				○		
	成人看護学実習	3				○		成人看護学実習Ⅰ
	精神看護学	2			○			
	地域精神看護学	1				○		
	精神看護学演習	1				○		
	精神看護学実習	2				○		
	看護心理学		1	○				
	小児看護学Ⅰ	1			○			
	小児看護学Ⅱ	1				○		
	小児看護学演習Ⅰ	1			○			
	小児看護学演習Ⅱ	1				○		
	小児看護学実習	2				○		
	母性看護学Ⅰ	1				○		
	母性看護学Ⅱ	1				○		
	母性看護学Ⅲ	1				○		
	母性看護学演習	1				○		
	母性看護学実習	2				○		
	老年看護学	3				○		
	老年看護学演習	1				○		
	リハビリテーション看護学		1			○		
	老年看護学実習	3				○		
	地域保健看護学Ⅰ	1				○		地域看護学Ⅰ
	地域保健看護学Ⅱ	1				○		地域看護学Ⅱ
	地域保健看護学Ⅲ	2					○	地域看護学Ⅲ
	地域保健看護学演習	1					○	地域看護学演習
	地域保健看護学実習	3					○	地域看護学実習
	在宅看護学Ⅰ	1			○			
	在宅看護学Ⅱ	1				○		
	緩和ケア看護学		1				○	
	在宅看護学演習	1				○		
	在宅看護学実習	2				○		
	看護の統合と実践Ⅰ	2		○				
	看護の統合と実践Ⅱ	2					○	
	看護の統合と実践実習Ⅰ	2					○	看護の統合と実践実習
	看護の統合と実践実習Ⅱ	1					○	成人看護学実習Ⅱ
計		95	5					

保健衛生学科(看護学専攻)教育課程

平成23(2011)年度入学者

平成23(2011)年度入学生

授業科目		単 位 数		履 修 学 年				備 考 (旧カリ対応科目等)
		必修	選択	1年	2年	3年	4年	
専 門 基 礎 分 野	解剖学Ⅰ	2		○				} 解剖学
	解剖学Ⅱ	1			○			
	生理学	3			○			
	生化学	2			○			
	薬理学Ⅰ	1			○			
	薬理学Ⅱ	1			○			
	病理学	1			○			
	微生物学	1			○			
	栄養学	1			○			
	疫学	1					○	
	病態学	5			○			
	英文講読Ⅰ	1			○			
	英文講読Ⅱ	1					○	
	英文講読Ⅲ		1					○
専門基礎合同演習	1			○				
専 門 共 通 分 野	保健統計学	1					○	
	医療情報学	1			○			
	国際保健看護学	1					○	選択
	産業保健学	1					○	
	保健医療福祉制度論	2			○			4学年から2学年へ
	保健医療福祉制度論演習	1					○	
	卒業論文Ⅰ	1				○		
	卒業論文Ⅱ	2					○	
専 門 領 域 分 野	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1		○			
		基礎看護学Ⅱ	1			○		
		基礎看護学Ⅲ	1			○		
		基礎看護学演習Ⅰ	2			○		
		基礎看護学演習Ⅱ	1			○		
		基礎看護学実習Ⅰ	1		○			
		基礎看護学実習Ⅱ	2			○		
	成人看護学	成人看護学Ⅰ	2			○		
		成人看護学Ⅱ	2			○		
		成人看護学Ⅲ	1				○	
		成人看護学演習	1				○	
		成人看護学実習Ⅰ	3				○	
		成人看護学実習Ⅱ	1					○
	精神看護学	精神看護学	2			○		
		地域精神看護学	1				○	
		精神看護学演習	1				○	
		精神看護学実習	2				○	
		看護心理学		1	○			
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1			○		
		小児看護学Ⅱ	1				○	
		小児看護学演習Ⅰ	1			○		
		小児看護学演習Ⅱ	1				○	
		小児看護学実習	2				○	
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1				○	
		母性看護学Ⅱ	1				○	
		母性看護学Ⅲ	1				○	
		母性看護学演習	1				○	
		母性看護学実習	2				○	
		老年看護学	3				○	
	看 老 年 学	老年看護学演習	1				○	
		リハビリテーション看護学		1			○	
		老年看護学実習	3				○	
		地域看護学Ⅰ	1				○	
	地 域 看 護 学	地域看護学Ⅱ	1				○	
		地域看護学Ⅲ	2					○
		地域看護学演習	1					○
		地域看護学実習	3					○
		在宅看護学Ⅰ	1			○		
		在宅看護学Ⅱ	1				○	
	在 宅 看 護 学	緩和ケア看護学		1				○
		在宅看護学演習	1				○	
		在宅看護学実習	2				○	
		看護の統合と実践Ⅰ	2		○			
		看護の統合と実践Ⅱ	2					○
	実 践 的 統 合 的 看護学	看護の統合と実践実習	2					○
計		95	4					

平成16年4月1日制定

(趣旨)

第1条 この規則は、東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年制定。以下「履修規則」という。）第11条第3項に基づき、医学部における専門に関する教育科目（以下「専門科目」という。）の試験に関し、必要な事項を定める。

(試験の種類)

第2条 試験は、定期試験、科目試験、共用試験、追試験及び再試験とする。

(試験の方法)

第3条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口頭試験、実地試験のいずれかによって行う。

(定期試験)

第4条 定期試験とは、履修した授業科目について、定期に行う試験をいう。

- 2 定期試験は、当該授業科目の授業が終了した学期末に行う。
- 3 定期試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。
- 4 定期試験を受験することのできる者は、次のとおりとする。
 - (1) 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の3分の2以上履修した者
 - (2) 実 習 当該授業科目の授業時間数の4分の3以上履修した者
 - (3) 医学科第6学年の定期試験は、次の授業科目の単位をすべて取得し、かつ、臨床実習Ⅱ及び臨床実習Ⅲの実習評価が60点以上の者
臨床解剖学、臨床実習関連講義、CPE、先端医学、基礎臨床総合講義
- 5 試験の結果は、合否をもって公示する。

(科目試験)

第5条 科目試験とは、原則として履修した授業科目の最終日に行う試験をいい、試験の実施日時は、当該年度の授業時間割に明記し、受験資格並びに試験の結果は、前条第4項第1号、第2号及び第5項のとおりとする。

(共用試験)

- 第6条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（以下「CBT」という。）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（以下「OSCE」という。）をいい、当分の間医学科において行う。
- 2 CBTは第4学年の前期末、OSCEは第5学年の臨床実習Ⅰ終了後に行う。
 - 3 共用試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。
 - 4 共用試験を受験することのできる者は次のとおりとする。
 - (1) CBT 第4学年に在学する者
 - (2) OSCE 臨床実習Ⅰを終了した者
 - 5 試験の結果は、合否をもって公示する。

(追試験)

- 第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により定期試験、科目試験又は共用試験（以下「定期試験等」という。）を受験できなかった者に対して、受験できなかった授業科目又は共用試験について行う試験をいう。
- 2 追試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、当該定期試験等終了後5日以内に医学部長に願い出て、許可を受けなければならない。
 - 3 医学部長は、前項の申請について担当教員と協議のうえ、その可否を決定し、申請者に通知するものとする。
 - 4 試験の結果は、合否をもって公示する。

(再試験)

第8条 再試験とは、定期試験等を受験し、不合格となった授業科目がある者又は共用試験が不合格となった者に対し、当該授業科目又は共用試験について、改めて行う試験をいう。

2 再試験の時期は、次のとおりとする。

(1) 医 学 科 定期試験 第6学年の学年末

科目試験 原則として第3学年は学年末、第4学年は12月

共用試験 CBTは第4学年の12月、OSCEは第5学年の夏季休業中

(2) 保健衛生学科 原則として、次回の定期試験期間及び第4学年の学年末

3 再試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。

4 再試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書により試験期日の7日前までに医学部長に願い出なければならない。

5 試験の結果は、可否をもって公示する。

(学習の評価)

第9条 定期試験、科目試験及び追試験並びに履修規則第11条第1項ただし書きによる成績については、授業科目ごとに担当教員が100点満点で採点し、次のとおり学習の評価を行う。

成績区分	評価区分	単位認定
100～80点	優	合格
79～70点	良	
69～60点	可	
59～0点	不可	不合格

2 再試験の成績については、授業科目ごとに担当教員が採点する。ただし、成績は、60点を上限とする。

3 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の成績は、0点とする。

4 第1項及び第2項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。

5 共用試験の評価については、医学科教育委員会が別に定める。

(成績の報告)

第10条 担当教員は、定期試験、科目試験、追試験及び再試験について授業科目ごとに所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに医学部長に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長は、共用試験並びにそれに伴う追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに医学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第11条 試験において、不正行為があったときは、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号）第58条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、試験等に関し必要な事項は別に定める。

附 則

1 この規則は平成16年4月1日から施行する。

2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学医学部に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この規則の規定にかかわらずなお従前の例による。

東京医科歯科大学試験規則

平成 23 年 4 月 1 日
規則 第 号

（趣旨）

第 1 条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成 16 年規則第 217 号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 41 号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第 2 条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第 3 条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第 4 条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第 5 条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

（1）講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

（2）実習 当該授業科目の授業時間数の 4 分の 3 以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第 3 項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第 6 条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（C B T）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（O S C E）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

（追試験）

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）

第9条 本試験及び追試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

2 再試験の成績については、科目責任者が採点する。ただし成績は、60点を上限とする。

3 共用試験の成績については、前2項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第 1 1 条 試験において不正行為があったときは、学則第 5 8 条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第 1 2 条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 2 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成 1 6 年規則 2 0 2 号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成 1 6 年規則 2 1 4 号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成 2 3 年 3 月 3 1 日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 2 3 年 4 月 1 日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科試験内規

平成23年 2月16日
医学部保健衛生学科長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年4月1日規則第 号。以下「試験規則」という。）第8条第6項及び第12条に基づき、医学部保健衛生学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(再試験)

第2条 再試験の時期は、原則として後期終了後の定期試験実施期間後に予め設定した再試験期間内に実施するものとする。ただし、第4学年で履修した科目の再試験は、第4学年の年度末とする。

2 再試験の実施日時は、試験実施日2週間前までに公示する。

3 再試験を受験しようとする者は、所定の受験申請書により原則として試験期日7日前までに医学部長に願い出なければならない。

附 則

- 1 この内規は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学部の在学者となったもの（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

看護学専攻第3学年における臨地実習履修要件 平成23年度以降入学者に適用

平成12年11月 7日
 保健衛生学科教育委員会
 平成17年 3月15日改正
 保健衛生学科教育委員会
 平成20年12月24日改正
 保健衛生学科教育委員会
 平成23年 1月 5日改正
 保健衛生学科教育委員会

臨地実習のうち、別表に掲げるものは、病院等において実際の患者に接して行なわれるものであり、あらかじめ、それぞれの実習を行うに十分な基礎知識を持つことが必要であることから、当該臨地実習に関連する講義・演習の試験に合格したものでなければ、これを履修することができない。

(別表)

臨地実習名	関連する講義・演習科目名
基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ
成人看護学実習	成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学演習
精神看護学実習	精神看護学、地域精神看護学、精神看護学演習
小児看護学実習	小児看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学演習Ⅰ・Ⅱ
母性看護学実習	母性看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、母性看護学演習
老年看護学実習	老年看護学、老年看護学演習
在宅看護学実習	在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学演習

医学部保健衛生学科看護学専攻卒業論文実施要項

平成11年 7月14日承認
平成12年12月13日改正
保健衛生学科教育委員会
平成14年 2月13日改正
保健衛生学科運営会議

(趣 旨)

- 1 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻（以下「看護学専攻」という。）における「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の実施については、この要項に定めるところによる。

(授業目的)

- 2 看護・保健に関する研究を実践することにより、論文の読み方、研究の進め方、論文のまとめ方、口頭発表の仕方の基本を修得させることを目的とする。

(指導教員)

- 3 指導は、総合保健看護学専攻の教授、准教授及び講師以上（以下「指導教員」という。）が行う。
- 4 一人の指導教員が指導を行う学生数の上限は、原則として次のとおりとする。
 - (1) 教授一人に対し 学生4名
 - (2) 准教授一人に対し学生3名
 - (3) 講師一人に対し 学生2名
- 5 看護学専攻卒業研究小委員会（以下「委員会」という。）は、学生より提出された研究テーマ等を考慮し、指導教員を決定する。

(卒業論文)

- 6 卒業論文は、別紙により6ページ以内で作成し、提出期限までに学務部教務課に提出しなければならない。

(卒業論文発表会)

- 7 口頭発表の場として卒業論文発表会（以下「発表会」という。）を行う。
- 8 発表会は委員会が主催し、卒業論文委員（学生より選出）が開催する。
- 9 発表会の開催日時は、毎年6月末日までに掲示により連絡する。
- 10 発表時間は、1人5分間とし、質疑応答は2分間とする。なお、発表開始から4分経過時及び5分経過時に合図し、発表時間超過者については質疑応答時間で調整する。
- 11 発表会用にスライドを作成する場合は、1枚あたり10行未満の文章で、見やすく作成する。

(評価及び単位認定)

- 12 「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の評価及び単位認定は次のとおりとする。
 - (1) 「卒業論文Ⅰ」
指導教員が講義により評価し、総合保健看護学専攻主任が単位認定を行う。
 - (2) 「卒業論文Ⅱ」
指導教員が論文及び発表を8：2の比率で評価し、総合保健看護学専攻主任が単位認定を行う。
- 13 「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」の単位は、次に該当する者には認定しない。
 - (1) 「卒業論文Ⅰ」の出席が3分の2に満たない者
 - (2) 期限提出までに論文を提出できない者
 - (3) その他、卒論単位認定に支障があると判定された者

(評価基準)

- 14 論文の評価基準は、次のとおりとする。
 - (1) 論文に取り組む姿勢
 - (2) 論文内容
 - ① 研究目的
 - ② 研究方法
 - ③ 論文内容の論理性と明確性
 - ④ 考察の論理性と明確性

(実施)

- 15 この要項は、平成13年度3年次在学者より実施する。

卒 業 論 文 フ ォ ー ム

1 卒業論文の構成

以下のとおりとする。

- 1) はじめに
- 2) 方法 ※ 倫理的配慮あるいは倫理的手続きに関する記述を含む
- 3) 結果
- 4) 考察
- 5) 引用文献 (参考文献と分けて記載する)

2 引用文献の記述方法

書式は、「バンクーバー方式」または「AMA (American Medical Association) 方式」に準ずる。西暦の挿入位置等に若干異なるので注意する。英文の場合、大文字小文字、斜体に注意する。

＜バンクーバー方式＞

文献リストの記述方法

1. 田村園子. 諸外国の看護教育の動向. 国際看護学研究. 2012;90(9):1456-61.
2. Smidt AC, Lai JS, Cella D, Patel S, Mancini AJ, Chamlin SL. Development and validation of nursing care for adolescents with skin disease. Archives of Dermatology Nursing. 2010;146(8):865-9.

文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが¹⁰⁻¹²、実施している看護師は多かった。

＜AMA方式＞

文献リストの記述方法

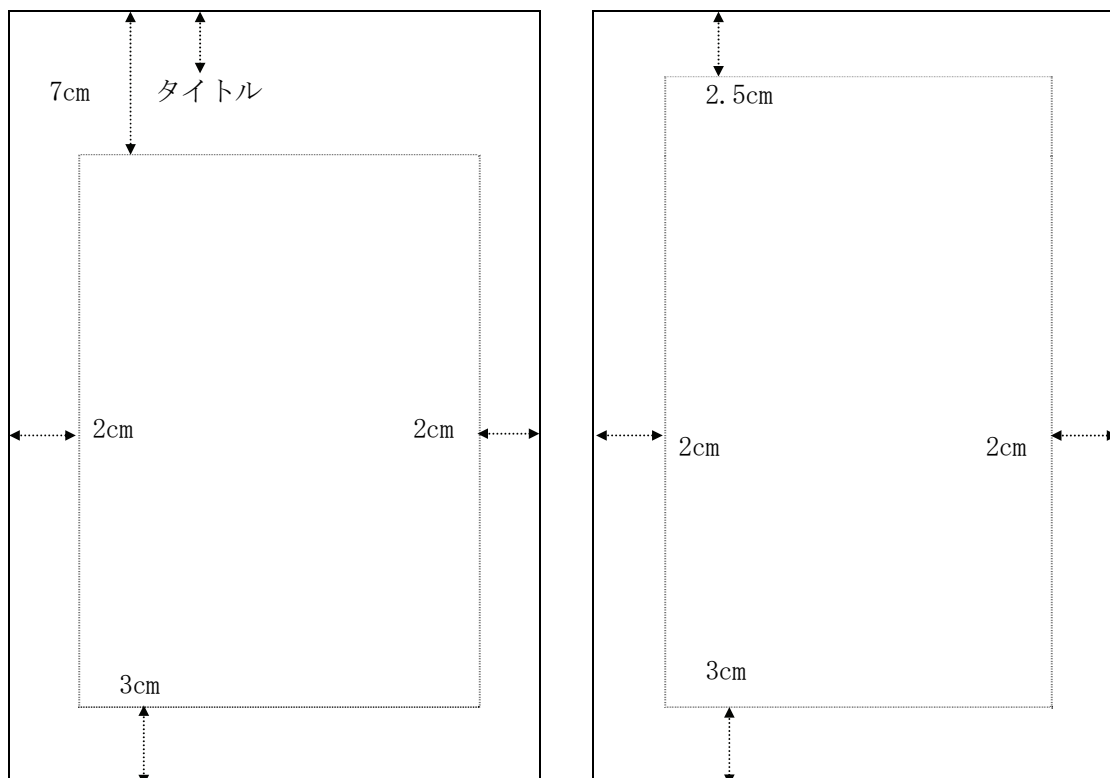
1. 黒田美枝子. 専門看護師に学ぶケアの極意. ナーシング. 2011;31(9):74-79.
2. Kinahan KE, Sharp LK, Seidel K, et al. Long-term survivors of breast cancer. *Journal of Clinical Oncology*. 2012;30(20):2466-2474.

文中引用例

ケアの有用性は証明されていないが¹⁰⁻¹²、実施している対象者は多かった。

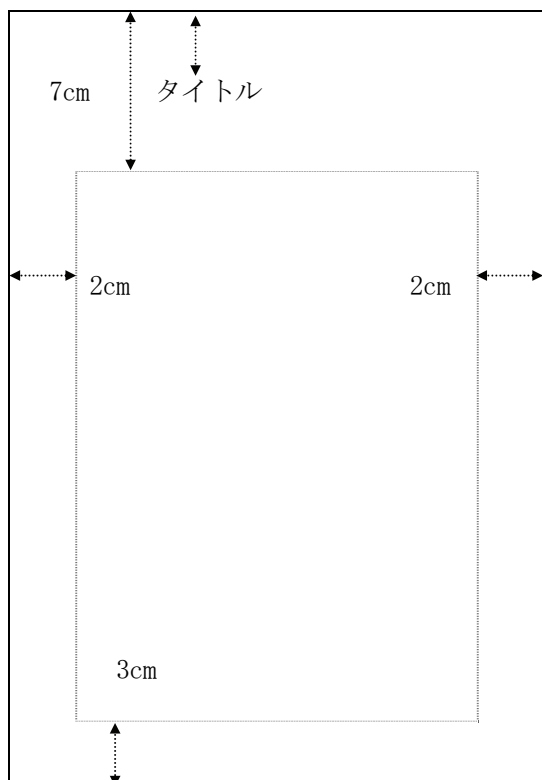
3 卒業論文の書式

- ・ A4用紙に6ページ以内とし、片面に印字する。
- ・ 字の大きさ及びフォントは、10～11ポイントで明朝体とする。ページ設定は2段組とし、文字数全角46, 行数38とする。
- ・ 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は認めない。
- ・ 全ページ余白は上2.5cm, 下3.0cm, 左右それぞれ2.0cmとする。
ただし、1ページ目は上2.5cmからタイトルを記載し、その下余白に、氏名・指導者名を記載する。
本文は7cmから書き始める。
- ・ 指導教員には大学院生は含まない。



4 卒業論文抄録の書式

- ・ A4用紙に1枚とする。
- ・ 字の大きさ，フォントおよびページ設定は卒業論文に準ずる。
- ・ タイトル，氏名，指導教員名を上7cmの余白部分に書き，以下目的，方法，結果，考察を記入する。
- ・ 全ページ余白は上2.5cm，下3.0cm，左右それぞれ2.0cmとする。
- ・ 提出後の差し替え（誤字・脱字を含む）は認めない。



産業保健の根幹を成す、産業の場で看護職が行う五管理について、その概要と業務の具体的事項を述べる。

- ・ 産業の場における看護職の五管理について
 - 1. 産業保健と五管理
 - 2. 作業環境管理
 - 3. 作業管理
 - 4. 健康管理
 - 5. 労働衛生教育
 - 6. 総括管理
 - 7. まとめ
 - 8. 参考文献

以下省略

※作成要領

1. レポート本文はワープロ打ちとする。
2. フォーマットはA4版・MS明朝体・10.5サイズとし、横44文字、縦32行で印字する。
3. すべてのページの1行目右上に氏名を記載し、最終行下欄にページ番号を付す。
※レポート本文のページ数、図、表、写真等の使用・貼付等については、担当教員の指示に従う。
4. 表題紙は、別様とする。
5. 書き出しは2行目2コマ目から始める。
6. 最後に引用文献及び参考文献の記載
※書式は、「お茶の水医学雑誌」に準ずる。

<書き方例>

引用文献

論文の場合

- 1) 宮崎美砂子, 春山早苗: 最新地域看護学. 各論2. 日本看護協会出版会
; 2006: 81-88.

著書の一部の場合

- 2) 鈴木太郎, 山田華子: 糖尿病性神経障害, 小島次郎編 糖尿病, 大学出版, 東京,
1986. pp975-982.

